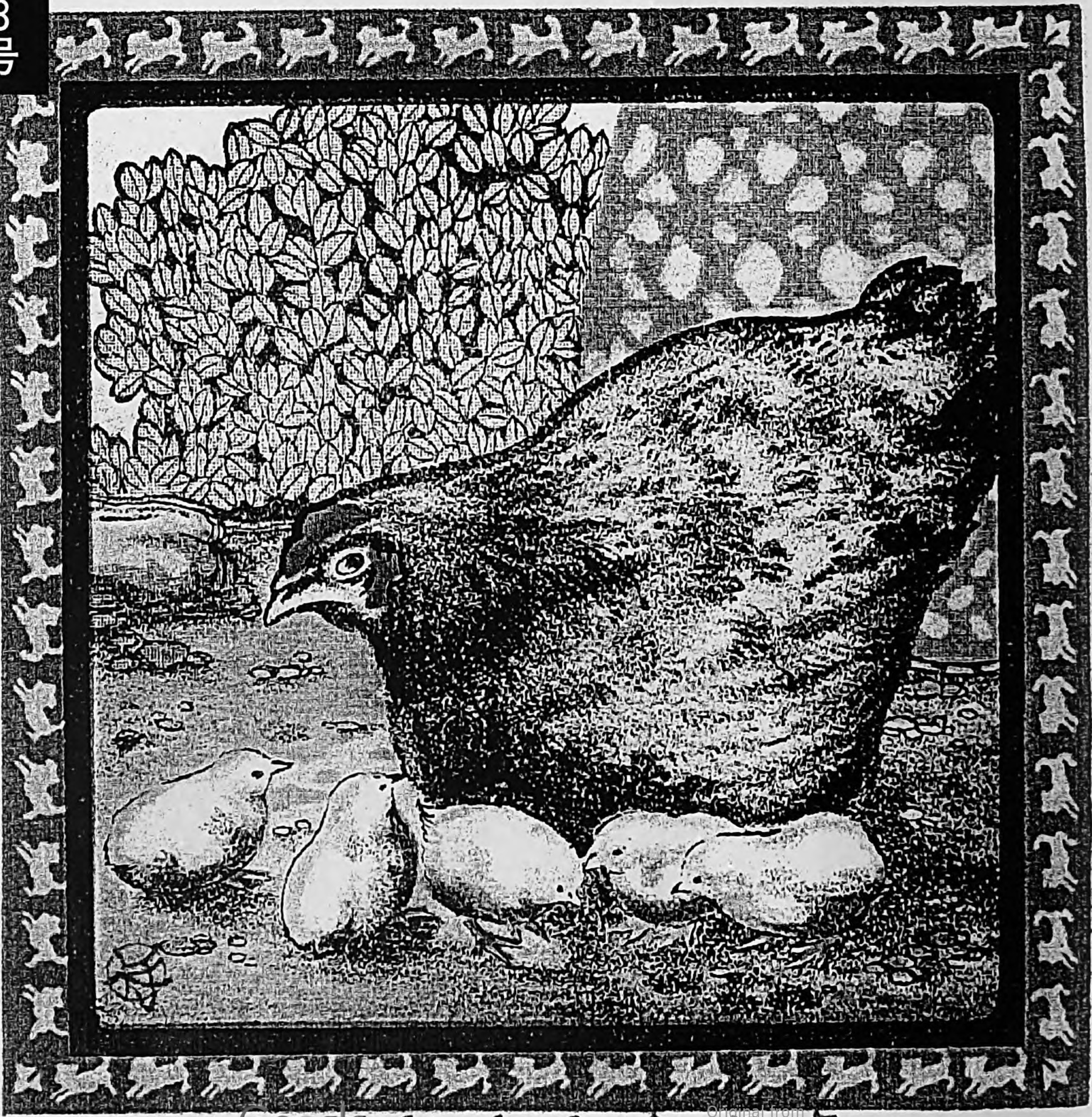
大正十一年七月廿七日印刷納本 大正八年十一月二十九日第三種郵便物認可
大正十一年八月一日發行（毎月一回一日發行）

婦女の友

5巻8号

第五巻　八月　第八號



婦友會中央部發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

若葉光る

緑繁り行く頃よ
草深き小徑行けば
福助夏足袋の
輕やかなる穿心地

爽かな絹寒冷紗裏

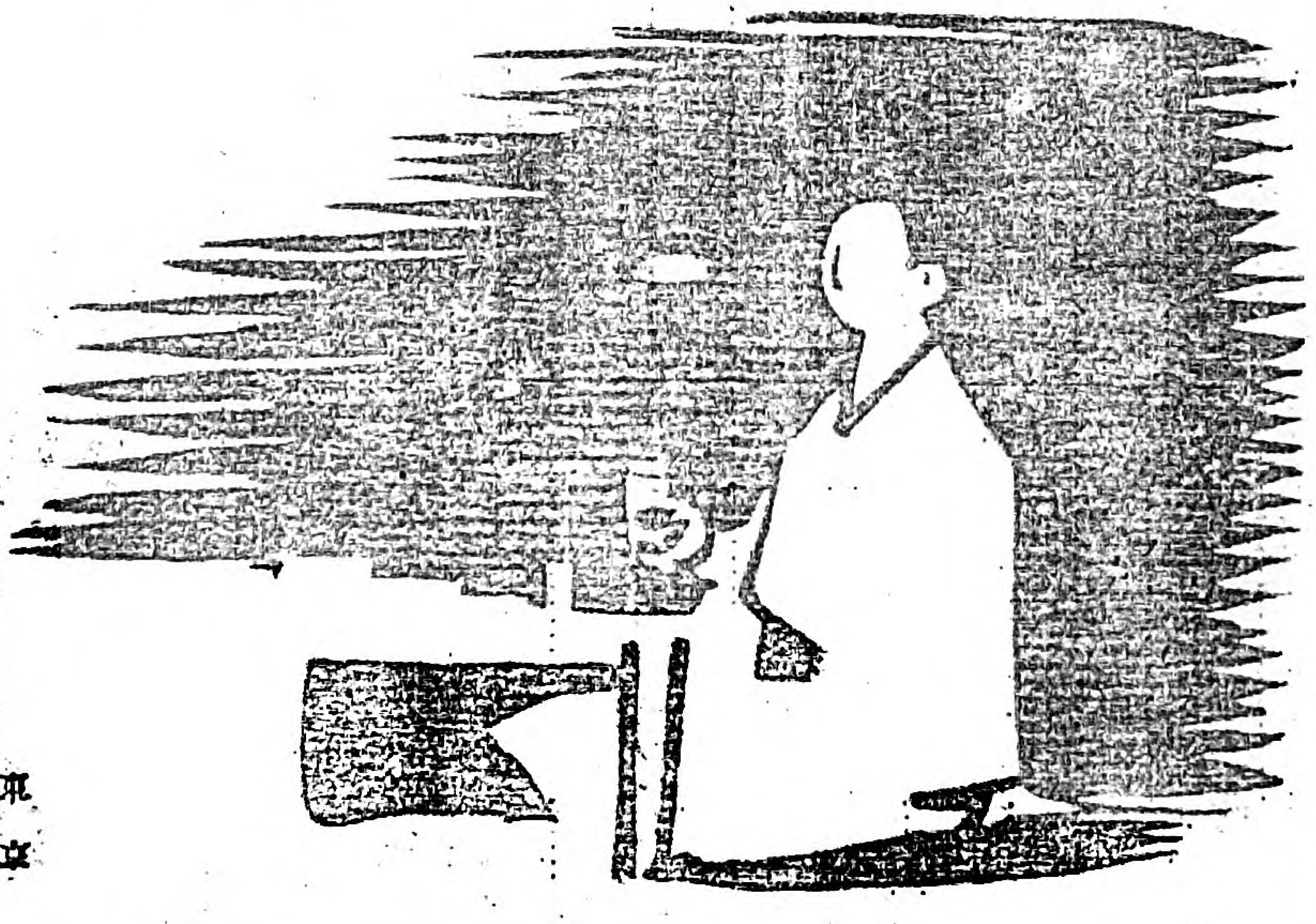
名實共ニ日本一

福助夏足袋

夏の夕暮

軒の風鈴に釣り忍打水に通ふ涼味
瀟洒した夕べのお料理……
冷奴、さしみ、川魚のあらひ、水貝、
酢の物、鱠、和え物など味の素の
一匙一入風味を増します。……

味の素



味の素本舗　鈴木商店

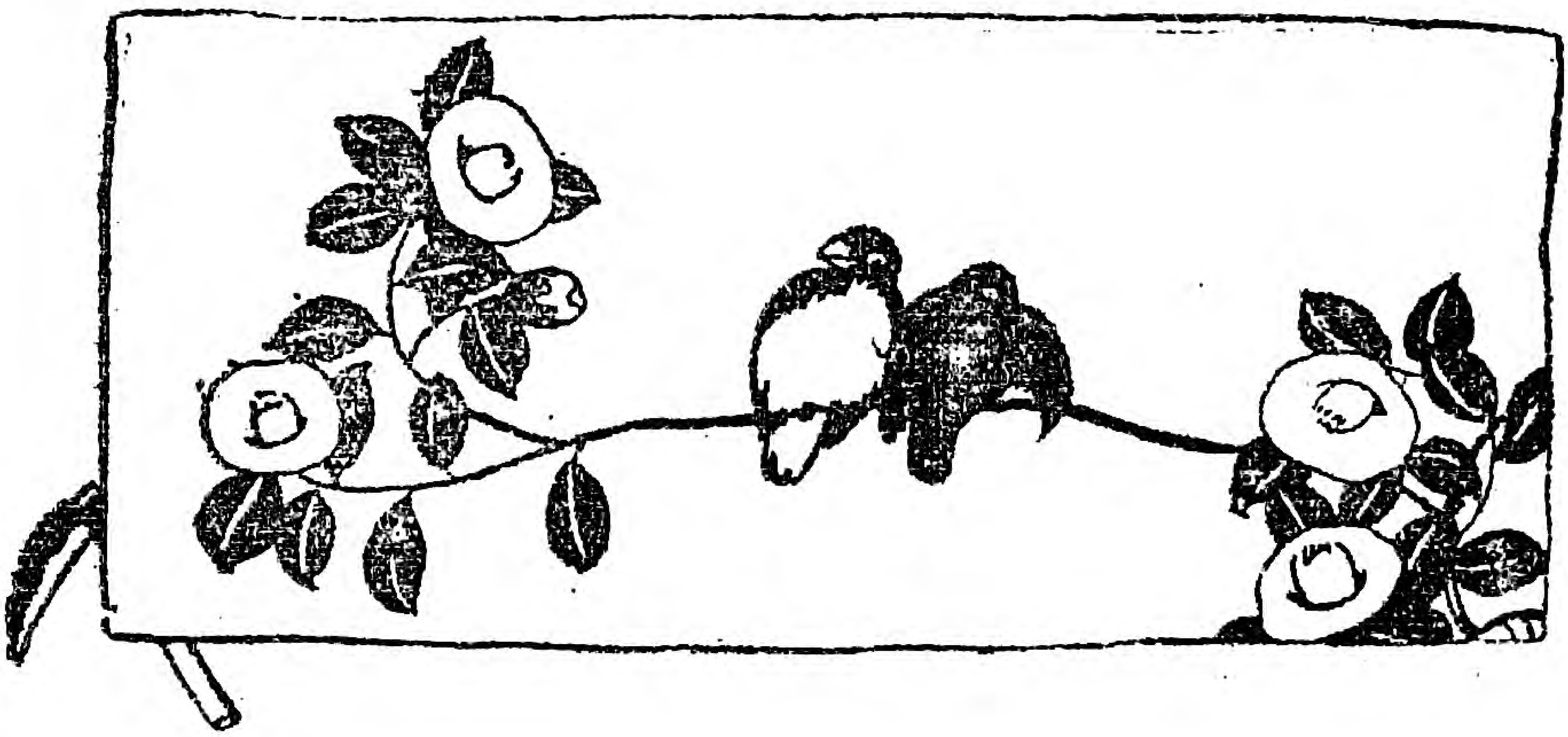
東京　大阪　名古屋　上海

處女の友

第五巻 第八號 目次

大正十一年八月一日發行

○表紙 秋の露……田代紫紅筆
○口繪 み関の姉さ 敬老の貴さ 浜ち方町長女分 敬老の貴さ
◎記事◎
▽巻頭 千代よろづ代……一
▽女子の生命……本會理事 山脇房子……二
▽處女文壇……六四
▽いのりのトンネル……婦人矯風會禁酒部長 守屋東……五
▽處女俳壇 處女歌壇……六六
▽商人アクショーノフ……三重子……八
▽誌友だより……七二
▽新と舊……本會理事 増子懷永……一五
▽考へ物 ▽編輯だより……七六
▽米國人より……一七



▽第二回全國處女會指導者講習會の要項……一八
▽少女會を設立せよ……山中淺一郎……二〇
▽雜記帖より……二四
▽日用品の見分け方……二五
▽八月の處女暦……二七
▽學びの園……二九
▽處女會中央部と地方との連絡……三四
▽處女會中央部だより……三六
▽辛酉會だより……三六
▽眞岡木綿の身上話……ひろの……三六
▽奪はれし愛に答ふ……三七
▽お話三つ……常春……四〇
▽蛛蜘の先祖になつた乙女……白露……四七
▽曲金應用の涼しい手提げ……大妻コタカ……五三
▽故天野藤男氏紀念事業……五六
▽日本教育者協會夏期講習……五七
▽大妻技藝學校第八回夏期講習會……五八
▽地方通信……五九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

絞り染は

貴女の家庭を經濟にし、
貴女の家庭を平和にし、
貴女の氣品を高むる
家庭必須の技藝であります

主なる營業品目

豆絞印　家庭染料各種
同　特許絞り器具一切
同　和洋洗濯器具、石鹸、糊劑
同　特許金銀砂子箔各種
同　其他女子工藝材料

美しき弊社の營業品目錄御申越し次第進呈致します

家庭絞り染は實益、趣味、簡易、經濟的技藝として至る處に歡迎されて居ります、殊に各地の婦人會其他

色々の婦人團體では會の事業として奬勵し且つ會員の藝術的感念を高むる一法として望外の賞賛を受けて居ります。

右の技藝講習御希望の御方には規則書申越次第進呈致します。尚、學校、婦人會、處女會其他婦人團體等の講習申込には講師出張親しく教授の法もあります

絞り染の元祖

株式會社　桐山商店

大阪店、大阪市南區鹽町通堺筋東入
電話船場二五六〇・三五二八番
振替大阪第二一六五二番

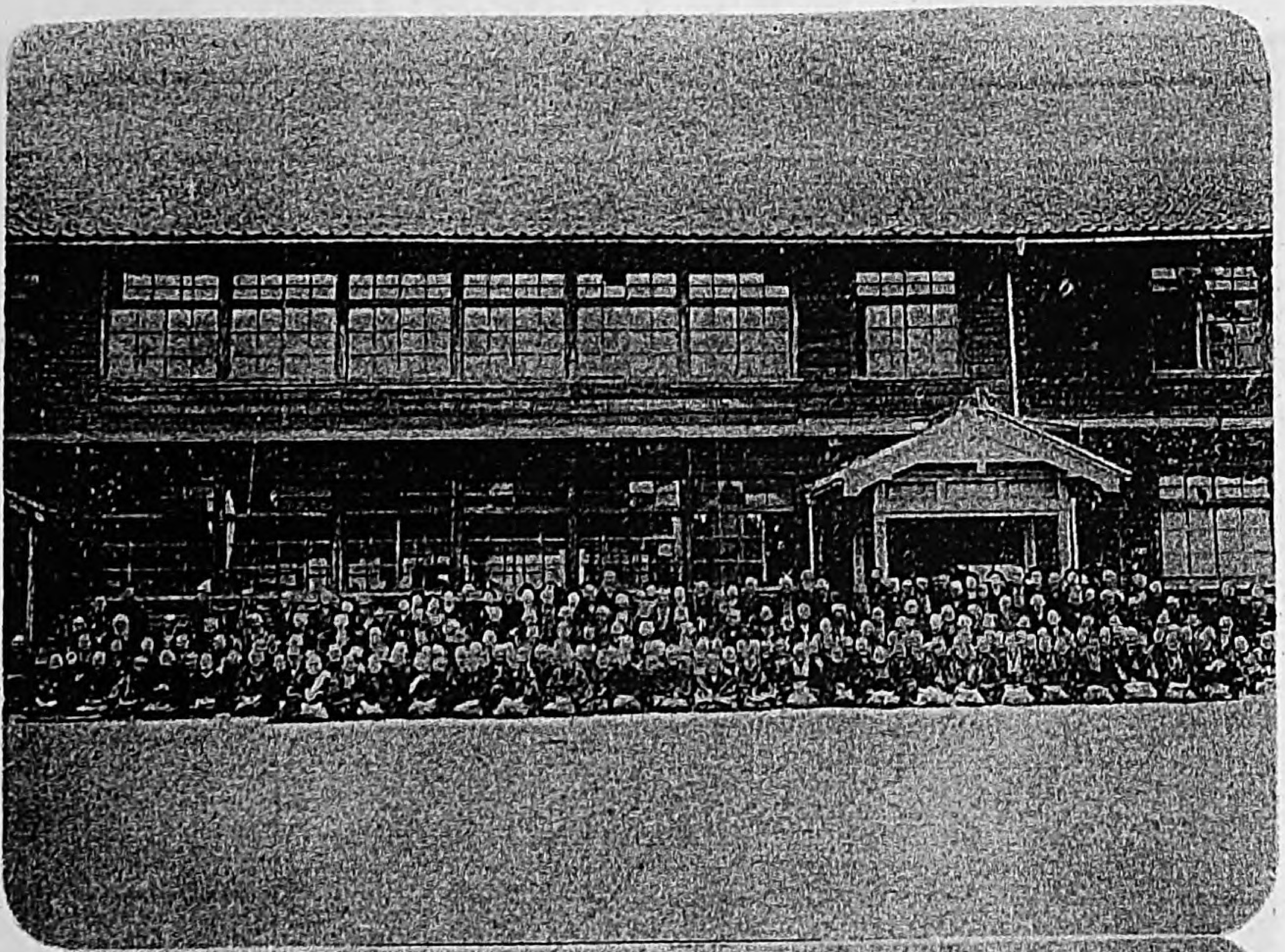
東京店、東京市麹町區富士見町二ノ三二
電話九段一九九四番
振替東京第三四六一三番

お徳用御用達
ヒゲタ醤油
銚子醤油株式會社

み國の輝き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

敬老の貴さ



福井縣武生町處女會の敬老會

靜岡縣富士郡加島村處女會の敬老會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一番趣味があり有益な

暑中の讀物

高橋眞次郎校訂　富田雄夫著

實用染色工藝

洋裝菊判　總布製全一冊
定價貳圓卅錢　書留送料十八錢

▲近來盛んに流行してゐる染色の方法か著者が教授との經驗と實務とに基いて專ら實用を旨として說明したもので女學校家事科の好指針であり、一般家庭、普通染業者等術指導の研究者には缺くべからざる好著である。

粟井くま子女史著

實用ミシン裁縫全書

洋裝菊判　總布製全一冊
定價金貳圓　書留送料十八錢

▲本書は和洋裁縫の骨髓である裁方に就て特に力を用ひ一々鮮明な製圖を示して出來るだけ叮嚀に指導してありますから現代の急務である衣服改善を促進するには好箇の指導書として他に類を見ない良書であります。

共立女子職業學校教師　伊藤文子　小川鏡子　高田久子共著

裁縫おさいく物（附實物小物）

洋本菊判和裝
定價壹圓八拾錢　書留送料十八錢

伊藤文子　小川鏡子　高田久子共著

續裁縫おさいく物

洋本菊判和裝
定價貳圓廿錢　書留送料十八錢

女子普及會編

續次裁縫おさいく物（おもちや集）

洋本菊判和裝
定價貳圓廿錢　書留送料十八錢

▲正編は小袋、飾置物、飾紐、巾着、手提袋其他七十三種、續編は小袋、針刺、貼付ペン挿、玩具、壁掛其他八十三種に亘り別に面倒な道具を用ひずに誰にも裁縫の心得あるものは容易に出來る樣に、叮嚀に指導してあるおさいくものです。何れも實物大の原形圖に幾多の插圖を加へてありますから直ぐに應用が出來ます。殊に續次編のおもちや集には家庭に於て廢物となり易い小切類によつて技巧な美術的實用品を作成する方法を敎へてあります。

東京日本橋

大倉書店

電話本局二四〇四・四一四番
振替口座番號東京二三八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

家庭……のために！

色白くなる

ハーク過酸化石鹸

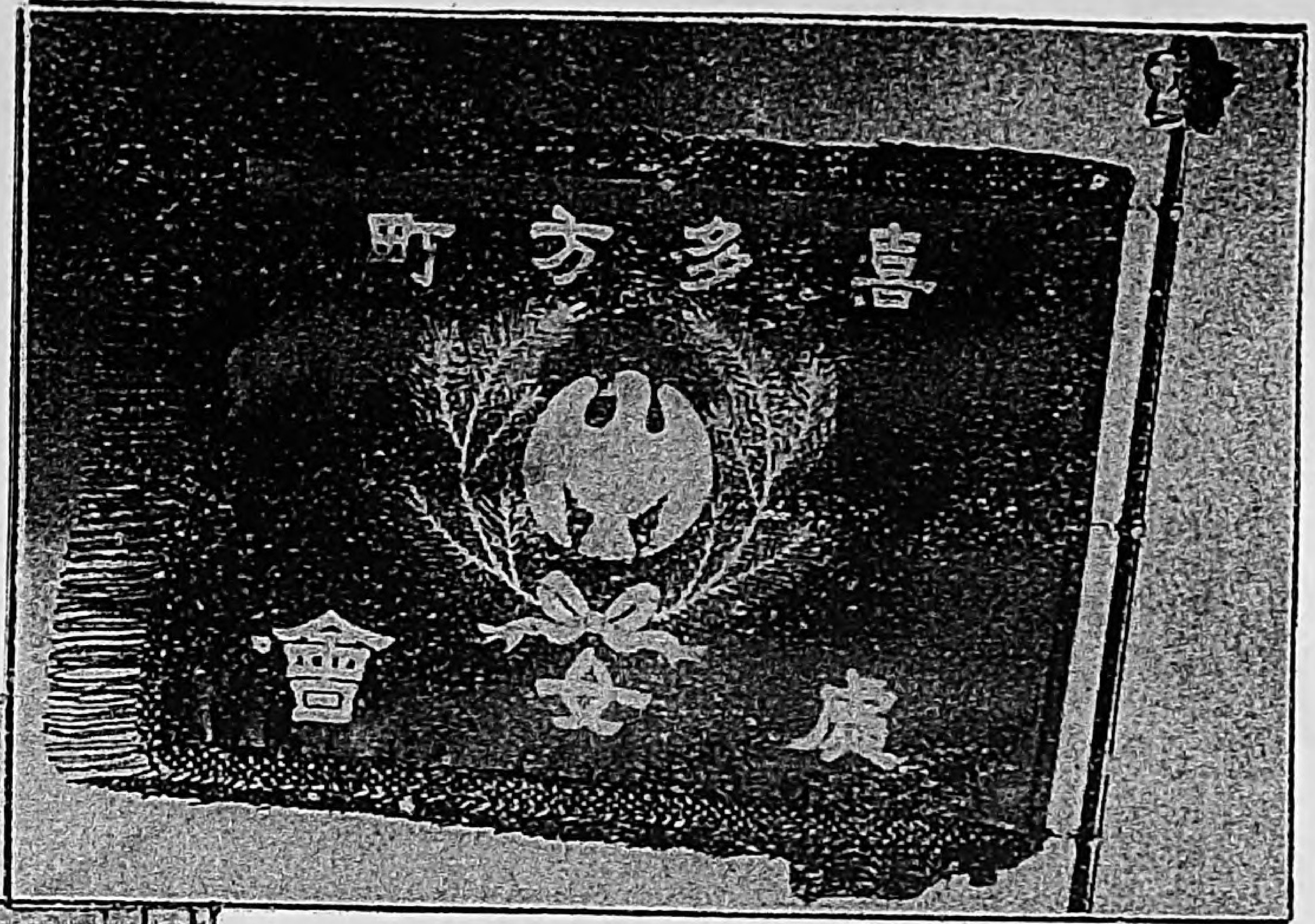
過酸化水素應用の化粧石鹸です

（全國化粧品店及藥店ニアリ）

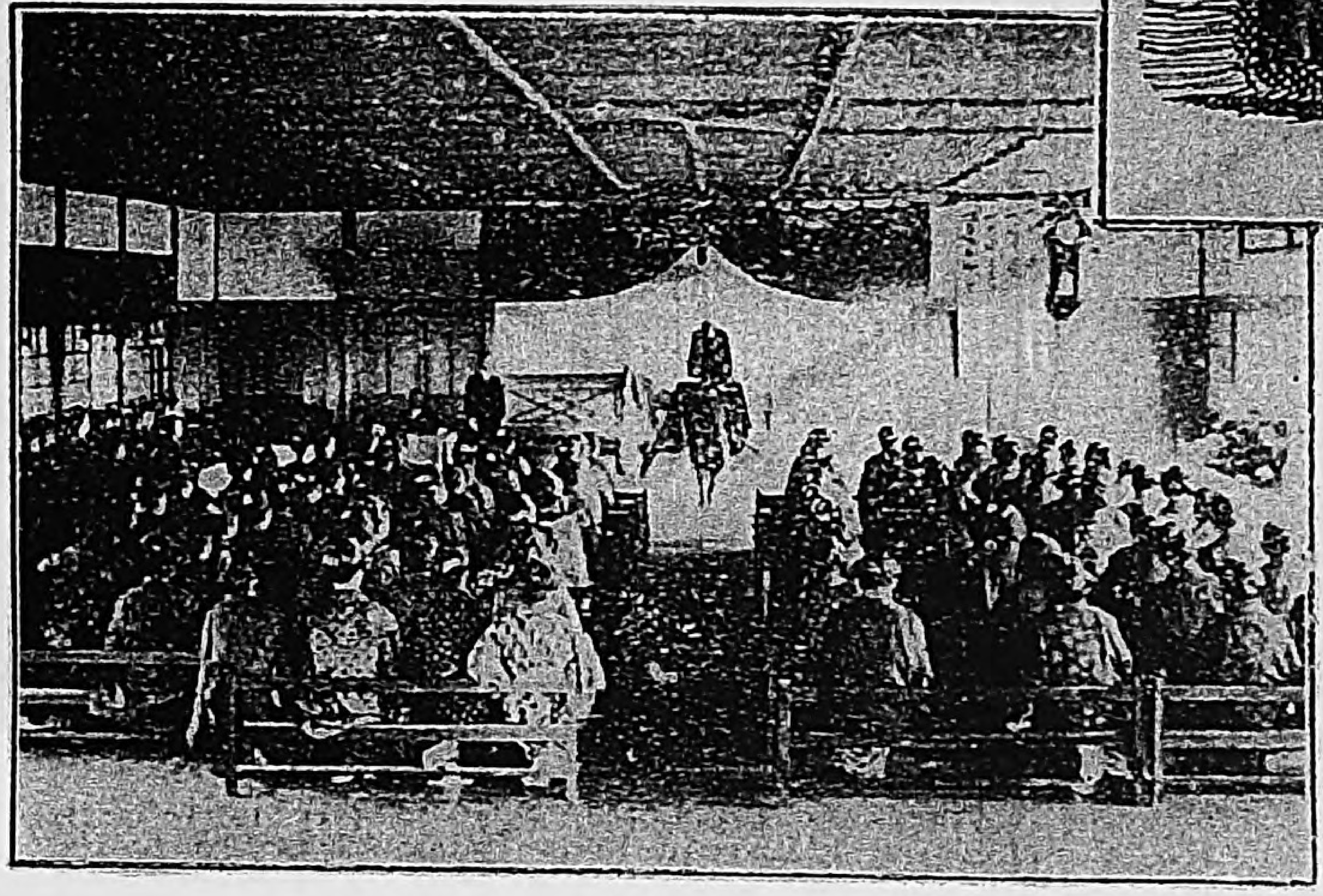
發賣元　東京室町　泰昌製藥株式會社

關西代理店　大阪道修町　武田長兵衛商店

喜多方町處女會



上圖は山本久榮女史が喜多方處女會に寄贈されたものであります。女史はその父君が會津の戰爭に參加されたので亡き父君の思ひ出の土地といふので講演出張の後に寄贈された眞心のこもつたものです。

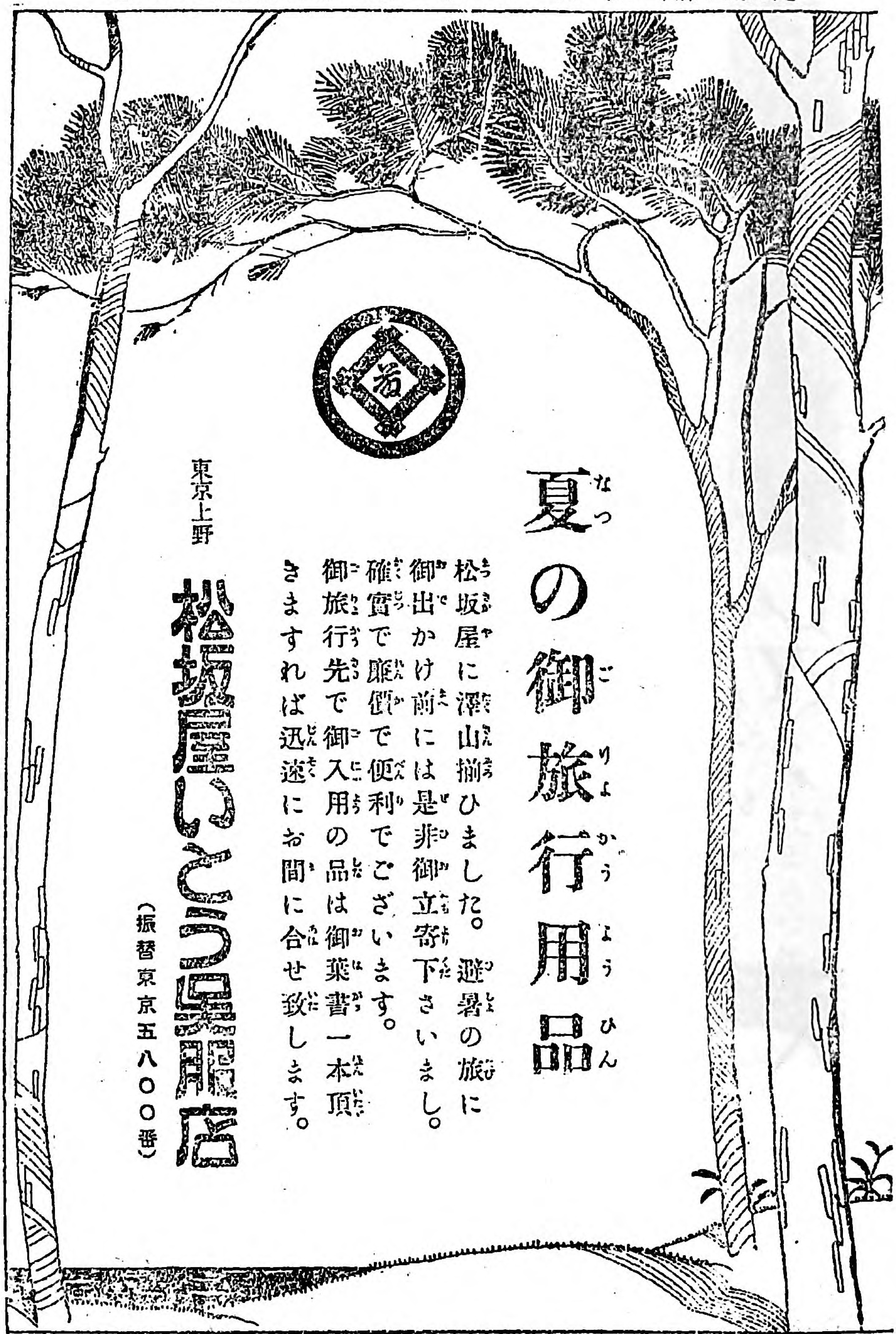


福島縣耶麻郡喜多方町處女會の總會

敬老の貴さ

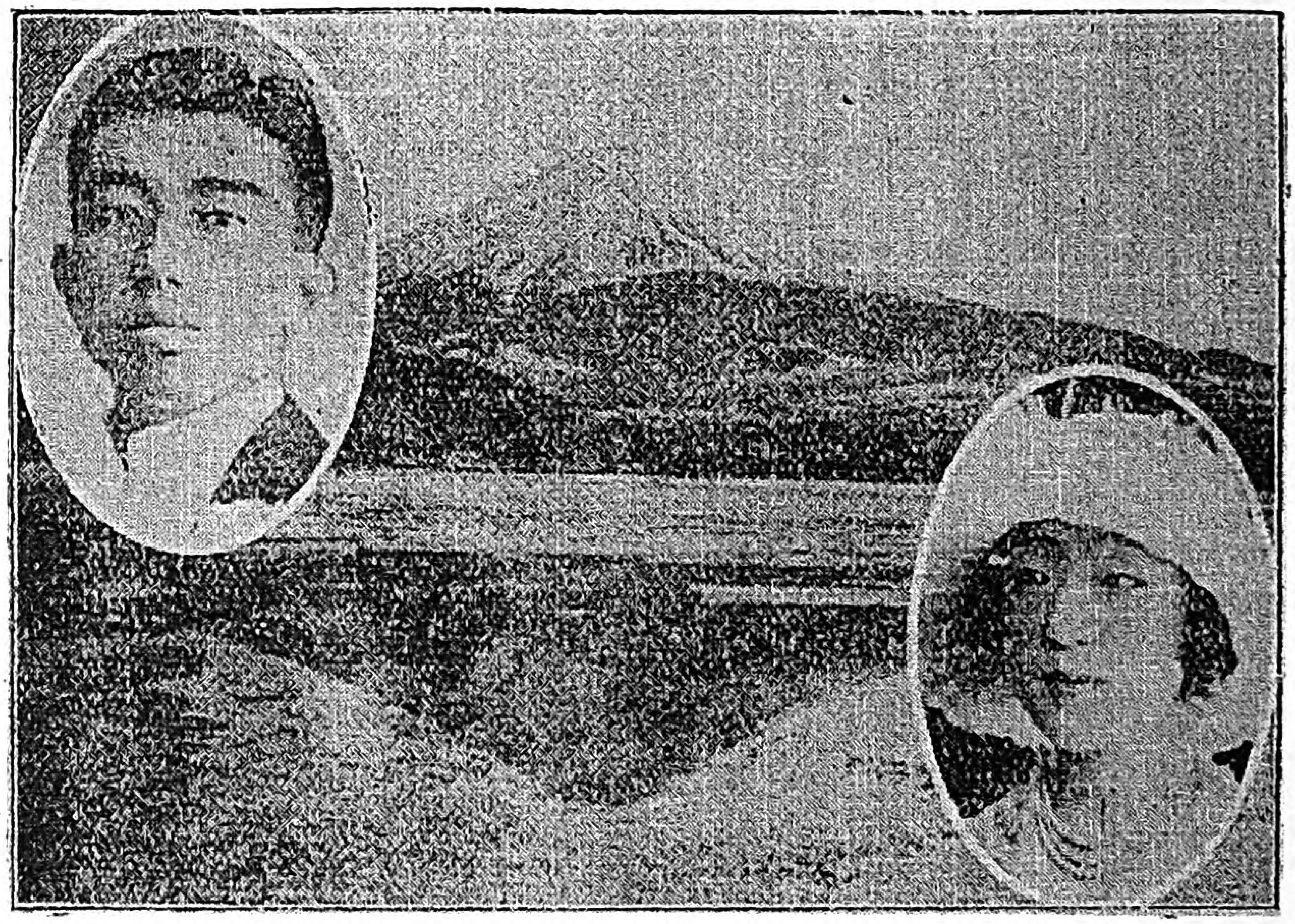
福島縣東白川郡宮本處女會の敬老會です。昨年の秋栗拾ひをして得た金で實行したのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

布もいためず、手もあれず、
すこしで能く汚れのおちる
ライオン洗棒石鹸
絹物でも、木綿物でも、毛織物でも、
思ふやうにお洗濯ができます。
●定價 棒形 大 四十四錢 小 二十二錢
三號形 十二錢
ライオン石鹸株式會社
東京本所向島須崎町
小賣部日本橋區馬喰町二
TRADE MARK



處女の友　八月號

千代よろづ代

何といふお目出度い輝やかしいことでございませう。兼て噂せられて居りました通り、我六千萬赤子の渇仰の的とならせらるゝ攝政宮殿下と聰明貞淑の御聞え高き久邇宮邦彦王第一王女良子女王殿下との御婚儀は去る六月二十日を以て勅許になりました。

雲の宮居の御喜びは申すも畏し、下萬民は聲をそろへて讃仰し奉り、わけても青年處女の歡喜は一しほであります。

玆に良子女王殿下の御歌を奉誦して、全國處女會員と共に皇室並びに國家の千代よろづよの榮えをいのりませう。

すそ野のみかすかに見ゆる富士の山
たかねはいまやみゆきふるらむ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

女子の生命

本會理事　山脇房子

青年男女の貞操

六月の末の事でございました、東京市内の官省、學校に於ける社會教育に從事する方々が多勢お集りになりました際にいろ〳〵の問題に就いて研究、協議を重ねましたが、其中で處女會員に關する最も重大な問題は處女の貞操といふ事で、それに就いてはなか〳〵盛んに論議されました。

列席者の多くは地方婦人は從來貞操觀念が亂れて、青年男女の品行は地方人の若い人の方が惡いといふ事を申されました。日頃地方婦人の味方として、善き娘の一人にても多かれかしといのる私としては、かういふお話を聞いては實に嘆かはしい事に思ひました。さうしてどうかして地方の青年男女に今少し貞操の眞如何に貴ぶべきものであるかといふ事を知らせて、眞に人間社會を清い美しいものとしたいと思ひ、いろいろと協議し、研究しました。

當日お集りの人は皆眞面目に處女、青年の指導に就いて研究を積まれた方々でしたのでいろ〳〵と意見がありましたが、結局は青年男女の自覺にまたねばならぬといふ事になりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

貞操は人生の花

君に忠、親に孝、といふ事は尋常一年に入れば先づ第一に敎へられますが、これとてもいかに師長に當る人が千萬言を費しても、其本人が全くさうであると痛切に感じて、實行しなければ何の役にも立ちません、それと同樣に貞操問題についても、いかに指導の任に當る者が操を貴べと叫びましたとて、青年處女の腦裡に深く深く刻み込まれた貞操觀念の强さがなければどうする事も出來ません。それで節操といふものは側から强ひるものでなく、自分の心から、なる程固く守るべきものであると考へるやうにならなければなりません。

人の貴さ

人の貴さは人格の美しさにあります、その人格は人の世に處して行く上に最も大切なもので、人はこの人格をみがくがためにいろ〱の慾情を抑へて、人格の向上進歩をはかつてゐるものであります。
若しも人にこの人格の貴さがなくて思ふがまゝに動き、したいまゝに慾望をとげて行くやうな我まゝでありましたら、人としての價値は全く失せて殆んど禽獸に均しいものとなります。

鳥や犬猫のやうに、一定の夫もなく妻もなく心のまゝに一時的の交りをして、次から次に轉々として行く狀態が人間世界にあつたらどんなものでありませう人生の貴さもなく、世の美しさもなく、淸い愛もなく、暗闇のやうな世界となりませう。

人生の貴さは生涯に唯一人の男女が精神的に結びついて、愛し合ひ信じ合ひ、全く自己の半身として淸く交り、家庭を形づくつてこそ、人生の幸福もよろこびも湧いて來るのであります。これこそ人にのみ惠まれた一夫一婦の貴さ有難さでありませう。

文明人の男女

人智が進むと若い男女にも貞操に關する自覺が出來て、一般に貞操の重んぜらるゝのは文明人に多いやうであります。

私の知人にイギリスの人がありますが、この方は婚約後十年も互ひに貞操を守つて居られました。周圍の人はそれを氣の毒に思つて、何故早く同棲なさらぬかとすゝめますと、まだ自分は充分に準備が出來て居ない、結婚するならば、幾分なりとも貯蓄が出來て、子供を立派に育て、幸福な家庭生活が出來るやうになつてからにしやうと申しましたが、これなどは實に夫婦として精神的の條項を前にして肉體的の關係を後にした美しいお手本であると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

學生時代から

日本人は昔から婦人の節操に就いては嚴しく言はれたもので、昔の士族の家庭などてはとりわけやかましく操を守る事を重んぜられたもので、貞操を亂されんとする場合には全く生命を捨てゝまでも守り通したものであります。ところが近頃は外國のよい思想ばかりでなく、惡い思想にもかぶれて、男女の節操といふ事があまり重く見られないやうに思はれます。

それでさまぐ\の誘惑も多く、從つて地方から勉強に來る若い男子は學生中から妻を持つて、親も當人もこれの方が無難であると思ふ程であります。

それでは結婚前に少しもそれに對する物質精神ともに準備がなく、生活の費用が不足なれば親から出して貰ふといふやうな不用意な有様であります。これはつまり青年男女が誘惑に勝ち得ず、情慾に對する抑制がない爲にかういふ事になると思ひます。

若い男女が充分に自覺して、結婚前の貞操を重んじ一時的の情慾を抑へるだけの修養が出來て居ますれば親にもこんな不安もさせず、家庭生活の基礎が出來た上に、安全な、幸福な結婚生活が出來ると思ひます。

西洋でも男女の貞操がその子孫に非常に影響すると言はれて居ると申しますが、實際一夫一婦の清い生活に生れ、育てられた子孫は優良で、不品行な兩親を持つた子孫は虚弱であつたり、低能であつたり、不良少年になつたり實に恐ろしい結果を見ます。

結婚後の幸不幸

アイヌや生蕃の女などには反つて貞操觀念が强く、娘時代に他の男子と交りをするなどゝいふ事は殆んどなく、萬一、不品行な娘があつた場合には村の人がどんなにでも制裁を加へてよい事になつて居ると聞きました。

かうして娘時代の節操によつて如何に結婚後の生活に幸不幸の別を生ずるかといふ事は、結婚生活に入つた人の話しも感ずる事で、女子が結婚してあゝ自分は結婚前の品行が立派であつたと覺つた時、また良人に結婚前の節操を知つて貰つた時、夫婦の愛は泉の如く湧いて、家庭生活の幸福はこゝに源をなすのであります。結婚後は勿論の事、どうぞ結婚前に於いても、すべての娘が操を正しくあれと希みます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いのりトンネル

婦人矯風會禁酒部長　守屋東

守屋東女史は矢島楫子女史の片腕として、婦人矯風の禁酒部長で、婦人の中で最も熱心に禁酒運動をなして居られます。昨年九月廿日萬國婦人平和同盟會に出席の矢島女史と同伴で米國に行かれ、今年一月廿一日に歸朝せられました。

禁酒の工事

日本と支那との問題としいつもやかましく言はるゝのは滿鐵でありますが、その滿鐵の沿道に橋頭といふ停車場があります。この橋頭といふ驛の側に大へん大きなトンネルがありまして、それを福金トンネルと申します。

その福金トンネルは一名祈りのトンネルと申しますさうで、それには美しい理由があるさうで、私は、丁度そのトンネルの工事に從事した方々にお目にかゝりまして委しくお話を聞いて參りました。

福金トンネルといふのは、滿洲鐵道が、以前の狹い軌道から、廣い軌道に變るに就いて、其場所にどうしてもトンネルを造らねばならなくなつて、明治四十三年から工事を始めたさうです。そして福金トンネルは滿鐵の中で最も長いトンネルで、その工事は矯風會の滿洲支部長をして居らるゝ飯田さんといふ方の御主人が主として引受けられたのであります。

飯田さんは熱心な信仰家で、又熱心な禁酒家であります。それに飯田さんと共に、その工事に主となつて骨を折られた寺田さん、世津谷さんも同じやうに熱心な信仰家で、禁酒家でありました。

ところでこの三人の方はこの工事を初める前に、先づお互に心を一致して、禁酒主義を通し、禁酒の工事をしやうではないかと約束されまして、人夫も皆禁酒主義で通させやうとしました。

料理屋を困らせた飯田さん

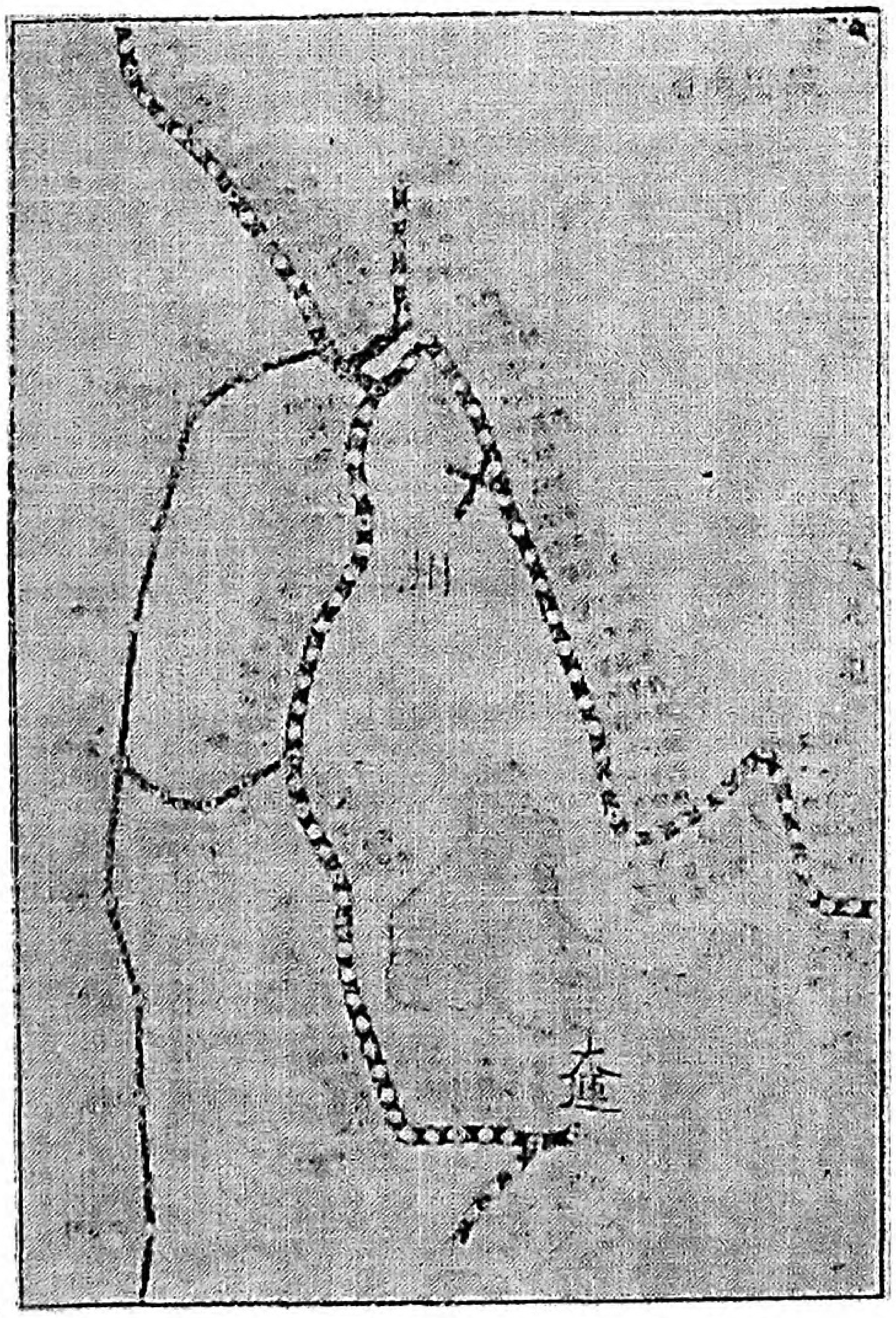
橋頭といふ所は以前はまことに淋しい一寒村で、人口もまことに少なうございました。ところがこの工事が初まつてから多くの土工が入り込んで賑やかになりましたが、前にも申しましたやうに、禁酒の人ばかり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

で、神に祈りをさゝげつゝ働きますので、普通ならば酒に酔ふて暴れたり、喧嘩をしたりするやうな工夫の集りでも、少しも酒気もなく喧嘩もなく、それは〳〵穏やかに着々と工事が進行してまゐりました。

それに就いてはいろ〳〵な美談もありますがその一二を擧げて見ますと、この工事が初まりましたので多くの土方、人夫が入り込んで、定めて料理屋が繁昌するであらうと思つて、早速一儲けしやうとした連中が續々と入り込んで料理屋を開業しました。

ところが案外にも禁酒主義でいのりの工事をする人夫らは一向足向けもしませんので、これは的がはづれたと氣を揉んだ料理屋は、先づ中心人物の飯田さんにとり入つて甘くやつて見やうと思つて、贈り物を盛んに持つて行つたり、お料理を仕立てゝ屆けたりしましたが飯田さんは一度もお受けになりませんでした。



前科十七犯の工夫の改心

今一つは人夫として最後に入り込んだ一人の男は、前科十七犯の何とも仕方のない男でしたが、丹那トンネルの工事に從つて、この男も禁酒ないたしました。聞くも恐ろしい前科十七犯などの男がどうして眞面目に禁酒して働くやうになつたかと申しますとこれにも一つの美談があります。

この男はそれまでに十六回程妻をかへたさうですが、その男が罪を犯して牢に入りますと、多くの女は愛想をつかして、夫を捨てゝ逃げてしまひます。それで一度牢に入ると妻に去られて、出て來ては又新らしい妻を持つ、さうして牢に入る度毎に妻をとりかへて、遂に十六回も妻をとりかへるやうになつたさうであります。

この十六回目に迎へた彼の妻はこの罪人でも、やはり自分の夫として、操を守り出獄するまで夫を待つて居ました。この時に「あゝ自分のやうな惡人でも妻は妻としての務をして、立派に出獄を待つて居てくれたか」としみ〳〵と感謝の念が湧いて來て、さすがの惡人も善人に立かへつたと申し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ます。

實に婦人の貴き美しさはこゝにあるので、假令夫が悪い事をしても見捨てず、一度夫とよび妻と呼ばれた以上はあくまでも操を守り、その夫に美しい愛情を捧げますと、いかに悪い男でも、愛あり涙ある女の眞心には改心するものであります。

實にこの男の妻はその美しい純潔な愛情によつて、その夫を善人に立かへらせました。唯一人の男を愛する女の眞心によつて男の心を動かし得たのであります

自分の周圍は自分の力で

處女時代には希望に燃え、憧れに醉ふてゐます。自分の置かれた周圍の外は、何でも美しさうに、好さゝうに思はれのならないものであります。結婚しても、唯美しい樂しい事のみ想像して居ますと案外にも表に對する裏といふものがあつて、さうよい事ばかりではありません、その時にあゝつまらない、自分は何といふ不遇だらうと悲觀ばかりせずに、自分の村は自分が居るから自分の力でよくして見せる、自分の家は自分が入つたからよくして見せるといふ信念を以て、その短所を繕ふて行く位の意氣込みで欲しいと思ひます。

今各地に居らるゝ處女たちが皆その心掛で眞面目になられたら、やがてその村もその處女會も立派になつて、あの村は模範村である、あの處女會は模範の處女會であるといはるゝやうになると、處女として權威のあるものと思ひます。

皆さんはやがて一家の主婦となるべき人てす。夫となる人がすべてに立派で、少しも缺點のない人といふわけには參りますまい。それで自分の力であくまでも夫の美點を發揮し、夫が立派であるやうに仕向けなければなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

商人アクショーノフ

□三重子□

私はさきにトルストイ小話文庫から「小鬼とパンきれ」を御紹介致しましたが、今又同じ文庫の中からアクショーノフの小話を御紹介致します、これは昇曙夢さんの譯で「神は眞實を見給ふされど待ち給ふ」と題したもの、トルストイの無抵抗主義を示したものでなか〱味ひのあるものです。

アクショーノフは頗特色の縮毛を持つた、顔のきれいな快活な男で、唄が好きであつた若い時分から大酒を飲み、飲むと暴れるといふ風があつたが、結婚してからはすつかり酒を止めて、ほんの時たま飲む位に過ぎませんでした。

此のアクショーノフはウラデミルといふ町に住み二つの店と一つの住宅とを持つてゐた富有の商人でしたが、ある夏のこと商用で、ニージニイといふ町に出かけやうとした、すると其の妻は妙なことを言ひ出しました「お前さん今日立つことはよして下さい、私は何だかいやな夢を見ましたから」するとアクショーノフは「何故そんなことをいふ、俺が市へ行くのが怖いのかい」と申します「何が怖いのか判らないがお前さんが市から歸つて來て帽子をとると、頭が眞白になつてゐる夢を見たので何だかいやでたまりません」と答へました、するとアクショーノフは笑つて「それは大儲けする前兆だ、まあ見ておいで、うまくやつて素晴らしいお土産を持つて歸るから」といつて出かけました。

途中は知り合ひの商人と一緒で、凡そ道の半分も行つた頃に二人で宿屋に泊り、一緒に食事はしましたが別々の部屋に休みました、ロシャの夏は日が長くて夜が短く首府のあたりでは十時頃に日が暮れるかと思ふと、二時にはもう夜があけるといつた様なわけです、長く寢てゐられない性分のアクショーノフは、夙く起きて涼しいうちに出かけることにして、つれには挨拶もしないでたちました。

四十露里といへば日本の十里ほどですが、凡十里も行つて晝食の爲に宿に入つて休んでゐますと、三頭馬車が一台やつて來て一來の役人と二人の兵士が中から

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

出ました、そしてお前は何といふ者だ、何所から來たかと訊ねますから、アクショーノフはくはしく答へました。ロシアの事ですから役人の勢が強く威張りちらすのは不思議ありません、それでいろ〳〵ご機嫌をとつてお茶やお菓子をすゝめましたが、云ふには手も觸れずに根ほり葉ほりしつこく訊ねます「お前は昨夜何所で泊つた、一人で泊つたか連れはなかつたか、今朝連れの商人に會つたか、何故早く宿をたつたか」とたたみかけて訊ねますから、不思議に思ひながらも一々詳しく答へました。

役人は「お前と一緒に泊つた商人が殺されてゐたから一應調べるのだ、所持品を出せ」といつて兵士に調べさせると、袋の中から血のついた大な洋刀が出ましたすると「これは誰のか覺えがあらう」とつきつけました。アクショーノフは餘りに意外のことで身體はふるへる喉はひつついて聲は出ない、やうやくのことで「私は……私は存じません……私は……小刀は……私は……私のぢやありません……」と申しましたけれども役人は「朝見ると商人は斬り殺されてゐた。貴樣の外にそんなことをするものはない、部屋はうちから鎖されてゐたし、貴樣の外に誰もゐなかつた、それに此の通り血糊のついた小刀も出て來たではないか、貴樣の顏色でもちやんと判る白狀しろ、幾許とつたのだ」ときめてかゝるので彼は愈閉口致しました。色々事實を辯明しても取り上げられず、とう〳〵縛つて馬車に乘せられました。そして裁判所ではリザンの商人を殺して二萬留を盜んだといふことゝなつて仕舞ひました。

彼の妻は、ひどく心配して監獄へ尋ねて行き、色々話してなげき、夢見の惡かつたことなどもいつて愚痴をこぼしました。そして「私はお前さんの妻です、どうか私にだけは本當のことをいつて下さい、本當にあんなことをしたのですか」を訊ねられてアクショーノフは彼に「お前まで俺を疑つてるのか」といつてさめ〴〵泣きました。監獄では面會時間の期限があるからもう話しすることも出來ずに別れ、彼は重き笞刑をうけた上にシベリヤへ追ひやられました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

世の中には神も佛もないのかと歎きながら、二十六年といふ長の年月をシベリヤの監獄に暮した彼は、頭も白くなれば鬚も白くのび元の元氣は全くなくなり、腰をまげて徐に歩く丈で、餘り口もきかぬ笑ふこともなく絶えず神に祈りを捧げてゐました。彼の樂みは監獄の食堂へ行くのと聖書を讀んだり讃美歌をうたふだけでしたが、其の考はやはり前のやうに立派なものでした、かうした彼は典獄からは愛せられ仲間の囚人からは敬せられ「お爺さん」とか「後生願ひ」とか呼ばれ何か事があると總代に推されて典獄にかけあつたり、仲間の仲裁をしたりするやうになりました。

監獄には絶えず新しい囚人が送り込まれる、すると舊い囚人は寄つてたかつて新入りに娑婆の樣子を訊ぬるのが常でした、それも其の筈新聞一枚見ることの出來ない人逹ですから。こんど來た囚人のうちにセミヨノフといつて六十ばかりの老人がゐたので、しかもそれがウラディミルから來たのだと聞いては、流石に無口のアクショーノフもだまつては居られず「じやあ、あすこに、アクショーノフといふ商人があつたやうだが無事かね」と訊ねたすると「あゝあれか、あれは金持ちの商人でね、親父は無實の罪でシベリヤに居る筈だ、あの親父の罪のねえこたあ、我等が罪人だといふことゝ同じやうに分りきつてらあね、だが、お爺さん、お前さんはどうして此處へ來てるだね」といつた調子でアクショーノフに訊ねる、すると「自分の犯した罪でさ二十六年も此の監獄で働いてゐる」と答へました。只夫れ丈では滿足が出來ないから、その罪といふのはと聞きたがる、けれども「自暴け藥といふやつだ」位で多くも語ないが、供の囚人が傳へ聞いて居たことを話した、するとセミヨノフはちらりとアクショーノフの顏を見て、ぽんと自分の膝をうち「やあ、不思議だなあ！　全く不思議だよ！　お爺さん、お前さんも年が寄つたねえ！」と叫んだ。

これを聞いて一同は驚いた、そして何處でアクショーノフを見たかと訊ねたがそれには答へずに「皆の衆こんな所で出會すんて、不思議な事もあるものだなあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

といひました。すると「ハヽアあの商人を殺した本當の犯人は此の男だな」といふ考がアクショーノフの頭に浮んだ、そこで色々訊ねて見ると浮か〳〵と話し出したが、夫れではお前が眞の犯人かといふやうに問ひ詰められると、口を緘して他をいふのであつたが、アルショーノフには、それを十分に推斷することが出來ました、すると彼の眼には二十六年前のことが目の前にあり〳〵と見えて來る、妻子と別れる時の樣子から話し聲まで聞える、二十六年間に互に苦しみが一々蘇つて來る「あゝあの惡漢のお蔭で……」と考へる、何とかして復讐してやりたい、此の儘では胸がおさまらない、そうでもないと心の平和になるやうに祈る、夜は平和になつてもセミノフの顏を見るとまたむら〳〵復讐したいといけ氣分になる、幾日も幾夜も苦しんだあげく、或る夜のことであつた皆が寢靜まつた後に、彼が監房の中を歩いてゐると寢臺の下に土のちらばつたのがあつた、彼は見ぬふりをして行き過ぎやうとすると、セミヨノフが飛び出して「自分は毎晩かうして壁の下を堀つて拔け穴をこしらへて居るのだ、土は長靴の中に入れて、仕事に出る時途中ですてるのだ」といふことを語り、そして「爺さん、默つてゐてくんねえよ、お前もつれて逃げるから、だが、若しお前が口外したら、その儘にはしておかない、お前も打殺して了ふよ」といひました。アクショーノフに取つては復讐でありましたが、どうしましたでせう。

「俺は出たくもなければ、殺されても何とも思はないお前は最う疾うに俺を殺したのだから、お前の事をいふといはないとは、只神樣の御心に從ふだけだ」といつて取り合はなかつた、間もなくセミヨノフは長靴の中から土を捨てゝゐる處を監守に見つけられ、監房のうちは隈なく取調べられることになりました。拔け穴は發見されて、囚人は一々取調べられる、先づ第一にアクショーノフが呼ばれて「爺さん、お前は正直だから、神樣の前で俺に云つてくれ、誰がこんな事を爲たんだ」と典獄から訊ねられましたのは正直の災難「正直にいつて了へばセミヨノフはひどく罰せられる。罰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

せられたからつて自分が樂になるのではない、かばつてやれば殺されることになるが」などと考へました。典獄はしきりに「さあ、何うだ、爺さん、正直に言へ誰が穴を掘つたんだ」と疊みかけましたが、アクショーノフは「典獄樣、俺は言へません、神樣は俺に言ふことをお許しにならないのです、何うなりとも俺をお仕置きなさい、あなたのお望み通りに」といつていくら訊ねられても、其の外のことは申しません。アクショーノフはいゝつらの皮、散々打れましたが、何もいはなかつたので穴を掘つた者は判らずに了ひました。翌る日の晩セミヨノフはアクショーノフの寢床の傍へ行つて頻りと詫び言をしました「どうか私を許して呉れ、商人を殺したのはこの私です お前の袋の中に小刀を入れたのも私です私はお前も一緒に殺す積りだつたが、戸外に物音がしたので殺せなかつた、それで小刀を袋の中に入れて窓から拔け出したんだ、何うか私を許して呉れ、私が商人を殺したは自分だと自首する、すれば お前は家へ歸れる」「お前が自首するのは譯もねえ事だが、俺はひどく迷惑する、俺は今になつて何處へ行つたらいゝんだえ、家内は死ぬ、子供達は俺を忘れてゐる、俺は何處へも行き所がねえんだよ……」斯ういはれてセミヨノフはたまらなくなつた、良心の苛責に堪えず、おい〳〵ないて泣き出した、アクショーノフも泣き出した。

アクショーノフの心は緩んだ、大層樂になつた然もなくなれば、家ことも思はず、監獄を出たいなどゝは更に思はず、只臨終の時ばかり待つてゐた、セミヨノフも色々考へた結果自首したがアクショーノフの放免が決定した時、彼はもう死んでゐた。

世間にはアクショーノフの樣な不幸の人は澤山あるセミヨノフの樣にして得意がつてゐる人も尠くない、世の中は甚だ不公平です、トルストイの主張は何處にあるのでせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新と舊

本會理事　増子懷永

世の中に於て、あれは舊い、これは新しいといふ聲は、誰しも常に聞く所である。さうして、多くの人は其所謂舊式を棄てゝ、新式に就きたがつてゐる。これは果して其當を得てゐる考であらうか。私はかゝることは比較的のものであつて、決して絶對的のものでなく、さうして、舊いものはすべて棄て去り、新しいものは悉く採り上げるに限るといふべきものではあるまいと思ふ。

始と終

我々は先づ我々が舊いと思ふこと、及び古くより行はれ來つたものに對して新しい息を吹き込み、又はこれに新しい裝をさせて、これを今日に復活せしめなければならぬ。

固より舊い者が皆復活されるといふわけはないが、現在殆んと無意義に過ぎてゐるものが、實は古から十分に意義を備へてゐることならば、これに新しい生命を附與するといふことを必要とする。例へば、五穀の豐熟を悅んでこれを神明に奉謝する新嘗祭は國民の大祭日であるに拘らず、其播種の始めに當り、一歳の風雨順にして垂穗の秋を見んことを禱るべき二月十七日の祈年祭は、由來久しき嚴肅なる祭儀であるに拘らず今では殆んど神社限りの式典なるかの如く看過されて世の視聽を聳かない。古語に「始あらざることなし、克く終あること鮮し」といふが、これでは其反對に終ばかりあつて、始はまるで認められずにある。作、不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

作といふことが常に國民の念頭を離れず、米價が何時も物價の中心ともなる我國に於ては、其始を愼みて人事の限りを盡し神の御恩を仰ぐといふことが、我國體の上から觀て重要な意義でなければならぬ。

舊いものゝ復活

古くから行はれたもので棄てゝ顧みられないものゝあるのは、單にそれが不便不利であるなどいふよりは其が一時不用に歸したり、又は其目的がいつのまにか忘れられたりするための事もある。例へば傳書鳩の如きは近來復た新なる研究の下に始められ、平和博覧會の一呼物となつたほどであるが、あれは無線電信や無線電話が發明される前までは盛に利用されたのに、無線裝置の完成につれて一時閑却されてしまつた。然るに歐洲戰爭の經驗で、電流の感受性から考へて、其送電が味方の通信をも敵にさとられる掛念が起つて、從た傳書鳩の飼養を再びするやうになつたのである。

かやうに我々は其古きものといへども、價値ある品はこれを尋ね出して、これに新しい智識を應用し、日々これを新にする覺悟がなくてはならぬ。彼の草根木皮と嘲けられた舊時代漢法醫の藥劑が我國はいふに及ばず、泰西醫界の研究する所となつて、其生命を新にした樣に、棄てられた者、顧みられぬ者の中から、我々は更に新しい者をぬき出して、これを活現させる必要がある。

科學的新研究

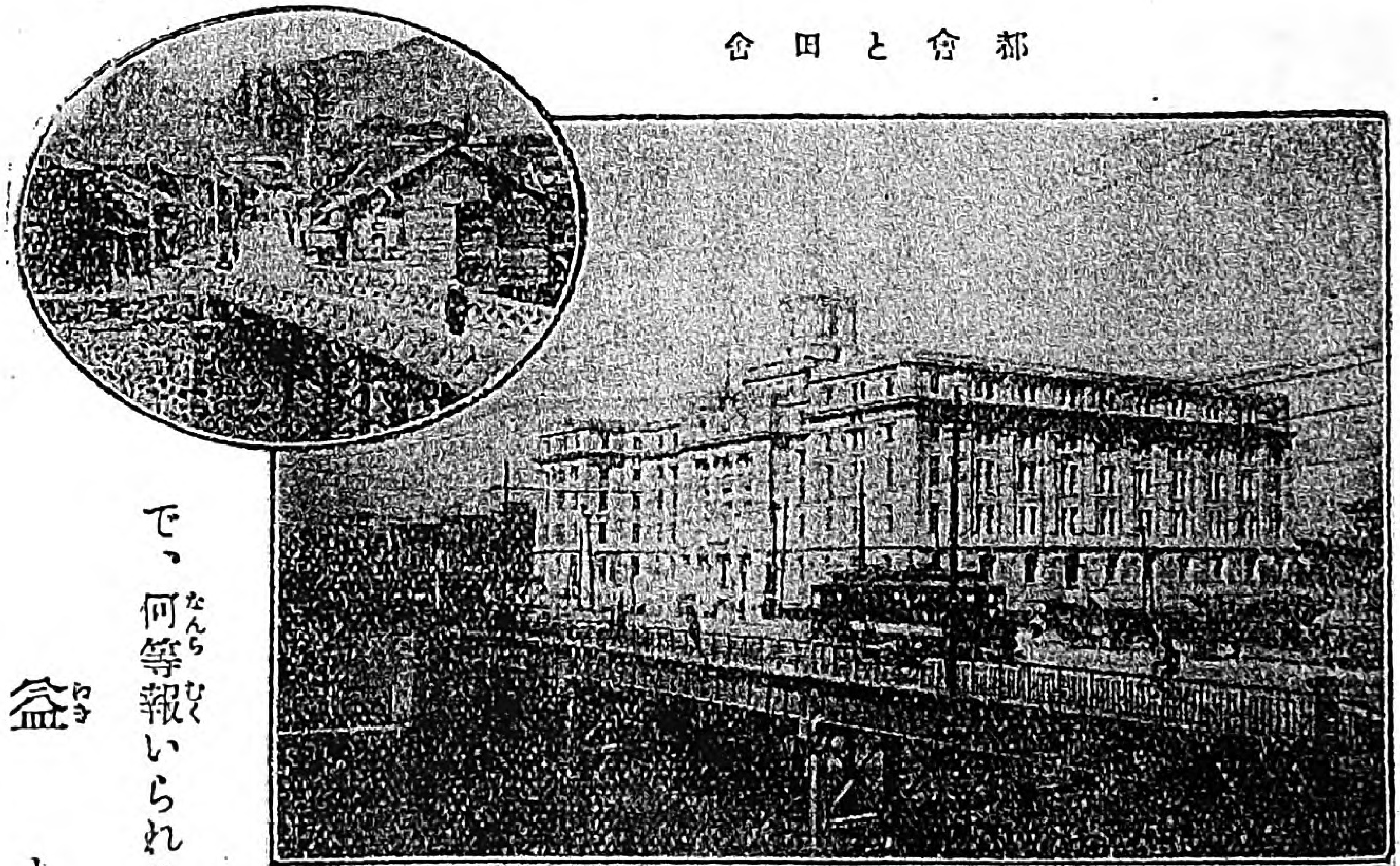
此等は單に古いものから新しい事を攝取する場合であるが、其と同時に實際新に興り新に傳つた者を收受せねばならぬ。即ち科學的研究の下に生ずる例へばアインスタインの相對性原理といふ樣なことが、從來のニユートンの萬有引力説を覆滅するものとしたらば、吾人は其眞理の命ずる所に從はねばならぬ。我々が自然を征服するといふことは容易でない。けれども自然現象を研究して其眞相を闡明する者に對しては、異議なくこれを受け容れることを必要とする。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

思想上の新舊

さりながら、新しいことの中には、社會の利益を進めるでもなく却て吾等の國體及び民習と相反してゐるものが澤山ある。其を必せずして何もかも歡迎し、やたらに新しがるのは危險至極である。單に說き方を異にし、手段を異にするばかりで、新古の別を立てようとするのは、あまりに無理解である。

例へば社會主義といふても幾種もあることであるが、其中の一派などは德を以て人を化することを終局の理想としてゐる。けれども試に支那歷史を繙いて見ると、彼に在ては既に三千年前に無爲而化を標榜してゐる。つまり爲政者の目的は古今變らぬことで、今更事新しく論せずとも自ら一貫した道は存してゐるのである



都會と田舍

故に新文明新思想の吸收といふことも、吾等國民の位置を考へてからでなくてはならぬ。建國の基礎を異にし、祖先を異にし、歷史を異にし、國民性を異にする者が何等の批判なしにすべてを受け納めることのできぬのは固より明かであるが、同化すべき力もなく渾一すべき覺悟もなく、漫然外來のものを輸入するのは、ほんの一時の附燒刃で、何等報いられる所なくして終るのである。

益と害

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

啻に其のみでない。益ありと思ふて收受したことが、其の餘弊の伴ふ場合も尠からずある。例へば産兒制限といふ主義が唱へられて、子に對する完全なる愛育、婦人の向上解放、人口及び食糧問題の解決のために必要であると推奬すると、又そこには、天分に背く享樂や、天理に戻る惡用や、又は生理上の障害などが續出する弊に堪へぬ。完しと思ふ所に隙があつたり、美なりと信ずる姿にも陰影があり勝ちものである。

今の先輩が靑年を見て、あれは國民性に背反する危險思想だといふのに對して、靑年の方からは先輩こそ時勢を辨へぬ危險思想であるといふのも、同じわけであつて、かうなると誰か烏の雌雄を知らんやといひたいほどになる。

眞に新なるもの

して見れば、我々が眞に新しいと稱すべきものは、天地の眞理に參すべき科學的硏究から割り出されたる基準に立脚し、これを世に施す上に於ては、深く從來の發達に顧み、其現情を參酌し、決して一時の流行を追ひ、己れを廣めんがために人を惑はすやうな事をしてはならぬ。さうして地を異にするに於て泰西の文化を喜ぶならば、時の隔るに就ても經驗の永き尊さを辨へ眞のためには古今の別なく善のためには彼是の分ちなきを信條として立つべきである。

島根縣佐世村處女會々訓

つよく　強い娘とは心も身體も強い娘のことです内にしつかりとした鐵のやうな心を持ち外は柔和でなくてはなりませぬ

やさしく　優しい娘とは思ひやりの深い娘のことですお年寄を敬ひ弟妹を愛し生物をかあいがる廣い温い心持を持つ婦人とならればいけません

まじめに　まじめな娘とは自分の地位自分に滿足して正直に精を出す娘のことです最後の勝利はまじめです

はたらけ　働く娘とは文字の通り家のため世の中の人のために骨身を惜まずつとめる娘のことでほめられようとか人に知られようとかいふために働くのは本當の働ではありません世の中を仕合せにするために隱れて働く人が本當に尊いのです

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國女教員大會

全國女教員大會は七月一日より三日間神田區一ッ橋通帝國教育會に開會緊急動議として

地久節を國民の祝日として取扱はるゝ樣其筋に建議すること

を可決し

文部省諮問案に關し委員長淺野てる子(名古屋)より調査報告あり之に對し數氏より意見の陳述ありて結局左記の答申案及決議案を可決す

△文部省諮問案　小學校女兒の個性尊重に關し女教員會の特に注意すべき點如何

答申案

一、女兒全體に通ずる個性教育上特に注意すべき要項は

一、女兒は名譽心、虛榮心等の爲に心情の發露赤裸々でない從つてその眞相の觀察を誤らない樣特に注意すべきこと。

二、女兒は愛情に富むも敏感小心で動もすれば感情に走り易いものであるから教授上訓練上漫りに干涉壓迫を加へず成るべく其の長所を自然に發展せしむる樣特に注意すべきことに決す

全國小學校女教員會設立に關する件

決議案

全國小學校女教員會規則草案

第一條　本會は全國小學校女教員の協同團結に依り其自覺を促し教育上の研究調査をなし其能率を昂進せしめ併せて地位の向上を圖るを以て目的とす

第二條　本會の事業左の如し

一、會議の開催二、機關雜誌の發行三、教育上須要事項の研究調査四、圖書の出版五、講演會講習會の開催六、教育上の意見發表七、婦人問題の研究其他

第三條　會費は百名以下の團體にありては一ヶ年以上百名を增す每に金五圓を加算納入す

第四條　會長は帝國教育會長を推戴す

第五條　總會は每年一回之を開き會員百名以下一名以上百名を增す每に一名の代議員を出席せしむること(其他は略す)

なほ設立手續として

(一)事務所を帝國教育會內に設け

(二)市郡區小學校女教員團體其他に加盟を勸誘すること(三)大正十二年秋季を期し創立總會を開くこと

次に女教員會創立委員として

水谷年惠、田中なを、木內きやう、後長すみ、渡邊みつ(以上東京)山本ヒデ(大阪)石川ふさ(神奈川)今村千代(長崎)杉浦ミエ(埼玉)吉田じやう(名古屋)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

米國人より

過般我が國に來られました、米國海軍卿のデンビー氏は我が日本國民に對して左の通りの御挨拶をされました。米國人の觀たる日本として參考にならうと思ひます。

『余は數十年前に觀た美しき日本に再び來訪して欣快に堪へず現在の日本帝國の偉大と勢力とを觀ては此國が世界文明國の伍班に列したるは實に近世の事なるを信ずるは困難である米國民として余は日本が鎖國攘夷の舊慣を脱せるは實に米國の勸誘に基けることを回想するを愉快とすペルリ、タウンセント・ハリスの兩名は日本をば吾人との條約關係に誘導したる者として我歷史に賞讚せられてゐることは實に六十八年前の事にして其當時生存せる數百萬の國民は今尚ほ日米兩國に生存してゐるが日本が其當時に於る進步も亦驚くべきものがあつた吾々は兩國の親交に於て

太平洋をば太平の海たらしむ

可く力めねばならぬ屹度吾人はそれに成功するであらう六十八年間には吾人の忍耐を試みる可き多少の波瀾はあつたけれど吾人の親交關係は何等の妨碍を受けなかつた思ふに

華府に於てサインされた

條約は更に吾々の友情關係を繼續し強めるであらう我が國民も亦取極めを歡迎して居る是等の條約は國民間の出來事に就て近世の思想傾向を表示するものである言葉の花少くとも勞力の實多きを欲するは現代の流行である蓋し華府會議は非常な成功で且米國民も左樣考へて居る。

日本の態度は全世界が賞讚

して居る列強は今や次の如く考へて居る——卽ち正義と其れを强行する決心が人々の心底に置かれざる限り戰爭に對して國際公法が何等の保護を與へないと言ふ事を——吾人は凡ての國民の間に國

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日本人に

際的誠實に就て同様の觀念を督勵せねばならぬ個人及國民に取つても正直といふ事は最大の金言である私はアナポリス大學の一八八一年の卒業生と共に貴國の海軍大將瓜生男の金縄に依つて茲に於て友情を分つを得ることを光榮とすると同時に大將の案内を親切に補ふたる慇懃なる

貴國政府に對して深謝する

次第である今迄としても斯る事情に依つて催された同級親睦會は無かつた吾々は貴國滯在中宜しく啓崇して頂けるであらう吾々の貴國訪問は日米両國民の利益を齎すに至る事を特に熱望する次第である又た吾々は貴國に對して米國民の眞實の希望と熱烈な友情を傳へんとする我々は日本の發展繁榮を望むと共に日米両國間の諒解が更に増さん事を望む

米國と日本

米國と日本は非常に世界の問題となつて居ますあの果てしもない太平洋の大海原を隔てゝ、英、米、日と世界の三大國に並べられた、日本と米國が向ひ合つて居ると云ふ事は、世界の問題であります。歴史の古い日本と新興國の米國はお互ひに長所もあれば短所もあります、彼の長所をとつて我國の短所を補ふ事は、ます〳〵國を立派にする基でありませう。日本人は今後米國と親密にして世界平和の中心點に根強く楔を打ちこまねばなりません。米國と日本とが睦まじくして長短相補ふて行く事はいよ〳〵この世界を美しくして行く基でありませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

第二回全國處女會指導者講習會要項

一、期間　大正十一年十月三日より同月九日迄七日間（内一日宮城拜觀其他見學の豫定）

一、會場　東京市神田區一ツ橋通リ帝國教育會内

一、講習員　講習員の選定は各總督府、廳、府縣に依囑し其各管内に付男女折半にて六名以内と定む
選定せられたる講習員の職名、住所、氏名等は九月五日までに達するやう夫々報告を受くること

一、會費　講習員は會費を要せず但し旅費宿泊料等は自辨とす

一、宿舍　各講習員に於て隨意選定せらるゝこと但し處女會中央部は神田區美土代町二丁目二番地美土代館を（東京驛より人力車賃普通三十錢）指定旅宿とし合宿にて一泊料（晝食を除く）金參圓と定めたるを以て希望の講習員は九月拾五日迄に各自中央部に通知ありたきこと

一、講習科目及講師（いろは順）

未定　樞密顧問官 本會評議員　一木喜德郎

人體美　前東京女子高等師範學校教授　二階堂とくよ

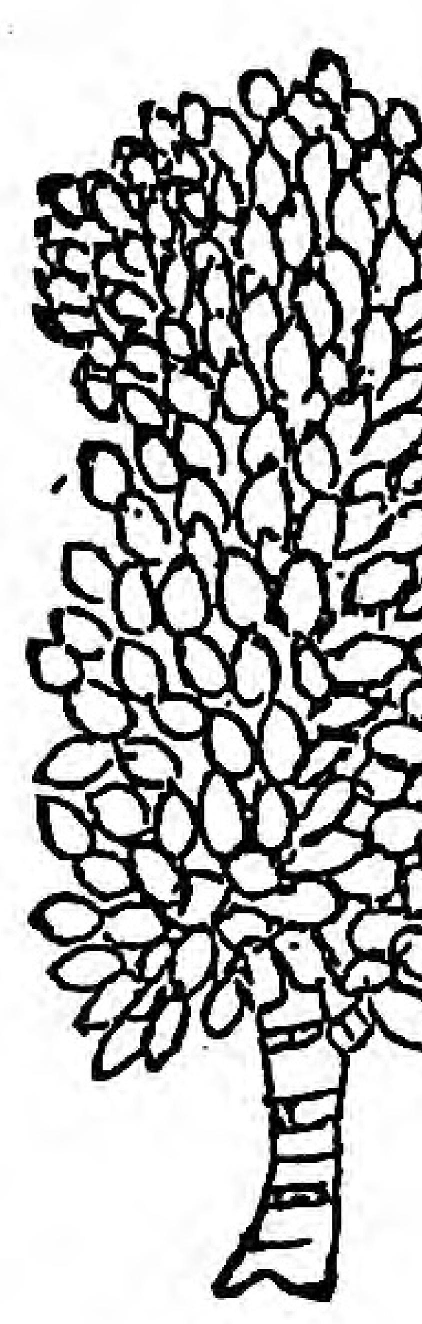
婦人と法律　東京帝國大學教授 本會評議員　穗積重遠

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

社會事業に關する訓練	内務書記官 本會評議員	大野綠一郎
東西婦人の長所短所を述べ一般女子教育の方針に及ぶ	東京女子高等師範學校教授 本會理事	大江スミ
結婚に關する衞生上の注意	東京女子醫學專門學校長 本會理事	吉岡彌生
女子青年期の心理	東洋大學教授 本會評議員	高島平三郎
未定	内務省社會局長 本會理事	田子一民
優生學	東京帝國大學教授 本會評議員	永井潜
處女會に於ける補習教育の實例	文部省社會教育課長 本會理事	乘杉嘉壽
歐米に於ける處女の美風	伯爵	二荒芳德
處女の娛樂としての音樂	早稻田大學教授	小林愛雄

一、講習員心得書　各官廳より講習員の氏名報告ありたる時は中央部より本人にあて夫々直接に心得書を郵送すべし但し同文を以て九月號「處女の友」に發表すべきを以て萬一不着の向きは就て一覽せられたし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



少女會を設立せよ

山中淺一郎

□歐洲戰爭の數年前、バーデン。パウエル將軍の開始した、ボーイ、スカウトの運動は、此の頃になりすばらしい勢で盛んになつてまいりました。最近內務省の全國男女少年團の調査報告を見ますと、團體數千六百六十五、團員數二十萬一千五百九十九人の多數に達して居ります。

□此の多數の團體、團員の中に女の少年團卽ち少女會が左の府縣に設立せられてゐるのを見逃す事は出來ません、卽ち、長崎一、滋賀四、長野十、山形十、廣島三、德島四、山口三、愛媛十一、福岡二、大分一、熊本二、鹿兒島六十九、沖繩一。

△玆に於て私共は深く考へざるを得ないのであります、靑年團と少年團處女會と少女會、此の間に離れる事の出來ない連鎖があるのではないでせうか。目下少年團の運動が盛んになつて來たと同時に、少女會の運動も盛んになる機運に向いて來たといふ事はほんとに喜ばしい現象で御座います。

□處女會が姉ならば少女會は妹であります。よりよい處女會にする爲めに、少女會が必要であります。これはよりよい人類を作る爲めに、先づ立派な肉體の持主にならねばならぬと、同じ理屈であります。

□近頃思想の流れが惡化してまいりました。國民道德も地に墮ち、それが純な少年少女の心の中にまでも流れ込んで、不良少年、不良少女とが出來てきた事は、國民敎育上、眞に由々しい問題であります。

□一昨年に於ける犯罪少年の統計に依りますと、東京と神奈川で五千人、大阪、京都、神戸で八千人、それに不良少年を加へると少なからざる數にのぼるので御座います。又同年の東京區裁判所の統計に依りますと犯罪少年百人に對し、起訴したのが六人半、殘る九十三人半は起訴猶豫となつて居ります、起訴され、公判

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

で實刑を受けたのが二十九人四分で、執行猶豫が七十人六分となり、執行猶豫を受けた者で、猶豫した効果のあつたのが百人中に二十三人四分て、無効なのが七十七人六分となります、それで實刑を受けたものは幼年監獄に、執行猶豫者は感化院に、不良少年は矯正院に收容されるのであります。

△右の統計に依つて、少し心ある人は容易ならざる事とお考へになるだらうと思はれます、多年の宿題でありました少年法が漸く今期の議會を通過いたしまして、近く實施される筈でありますが、此の少年法の內容は寛厳の差こそあれ、眞の目的は教養保護にあるのでありますが、私しはどうかして此處にかゝらぬやう、可愛いゝ子供の爲めに考へたいものだと思つゝ居るのであります。

□『子供のあるところに眞實の家庭がある』『二十世紀は子供の世紀』だと云つて居りますが、親の最高の義務として、子供は保護しなければならないのであります。文明が進み、社會生活が複雜になればなる程不良少年少女を增加せしめるやうになつて行きます、此の現象は單に日本ばかりでなく、英國でも、佛蘭西でも、米國でも凡て同じであるといふ事てあります。

△茲に於て私しは、不良少年や不良少女の豫防として、よりよい少年少女よりよい少年少女をよりよい者にする爲めに、青年團に弟分の少年團があるが如く、處女會にも妹分の少女會を是非ほしいと思ふものであります。私しは少女會を設立せよ。と絶叫するものであります。

△青年團の目的は善良なる公民、健全なる國民の素質作るにあります。少年團の目的も茲にあるとするならば、處女會の目的も、少女會の目的も茲にあるのではないでせうか。英國の少年團は、戰後近き將來に於て、層一層奮勵努力すべき機會の來らん事を豫期して、活動してゐるといふ事は注目すべき事だらうと思ひます。

□そこで參考の爲めに英國の少女團(ガール・ガイド)の年齢を見ますると大要左の三期に區別されております。梟組(ブラウニー)十一歳以下、補導組(ガイド)十一歳より十六歳まで、年長組(シーニア・ガイド)十六歳以上、指導者は十八歳以上といふ事になつて居ります。

□今我國で少女會を組織する年齢はと考へたときに私しは、十歳から小學校卒業までの年齢がよいと思ふのであります。それで十歳以下はどうするかといふに、それは子供會に入れ小學校卒業後は處女會に入れるといふ様にしたならばよからうと思ふので御座います。

□指導者は勿論處女會員の方がならなければならないのでありますが、私しは主として少女會の指導には小

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

學校の女教員諸君にやつて貰つて男教員は之れを補佐するといふ程度にしたいと思ひます。顧問には村長、小學校長、其の他の有志を推薦する事が適當と思はれます。

△それから役員で御座いますが、これは二つの方法があるだろうと思はれます、卽ち會員中から選出するものと、全く會員中から選出しないで、處女會員があるとか、小學校の職員等が之れに當るのとであります。前者のやうな少年生活を尊重した方法がよいか、後者のやうな選定方がよいか、これには一長一短ある事と思ひますので、よく研究しなければならない、大きな問題であろうと考へられます。

□設立區域は、一市區、一市區の一部、工場、教會、學校、寺院等の範圍、一町村、一町村の一部といふやうに種々ある事でせうが、小學校の通學區域を設立の區域とする事が一番よい方法で、次には町村の一部卽ち大字單位がよからうと思はれます、そして町村の聯合少女會を組織して縱の連絡をとる事も亦よい方法ではないでせうか。兎に角訓練といふ方面からいへば小區域がより以上に好結果が多いので御座います。

□施設としては(一)知的方面、講話見學、展覽會、簡易圖書館、揭示教育、自然物研究會、雜誌同覽、禮儀作法の練習、(二)德育的方面、神社佛閣の參拜、街路危險物の排除、名士の展墓、落書抹消、老幼者保護、唱歌、神社佛閣境內の掃除、共同自習、小使帳の檢閱、螟虫卵塊採集、イナゴ採、戰歿軍人墳墓供花、言葉遣の矯正、時計調査、一日一善、一善週間、日用品の廉賣、家禽調查、共同貯金、(三)體育的方面、體操教練、遠足、庭球、靜座、(四)娛樂的方面、お伽會、談話會學藝會、運動會、幻燈會、ピンポン、カルタ、等であります。

□世界大戰爭は幾多の優秀なる國士を奪ひました、これから先は平和の戰爭であります、平和の戰爭の勝利者となるのには、よりよい人間を造らねばなりませんよりよい人間を造るのには學校教育だけでは什うしても滿足する事が出來ません、學校教育と家庭教育との間に一つの教育機關がなくてはならぬと考へられます少年ならば、ボーイ、スカウト、少女ならば、ガール、ガイドが卽ち此の中間に位する教育機關ではないでせうか、少年の希望の盛に燃ゆる中に正しい人格教育を施し、教科書教育の及ばぬところを補足して、善良なる國民、有爲の公民を養成する事にお互は努力しなければならないと思つて居ります。

□今や靑年團の弟分たるボーイ、スカウト、の世界的運動を見て、處女會の妹分たる少女會、卽ちガール、ガイドを盛んにせよ、設立せよと、叫ばざるを得ないのであります。(了)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

雜記帖より

雜巾がけと健康

英國では雜巾がけを主なる仕事として居る女中が、他の人に比べて、非常に丈夫であるといふので「雜巾がけと健康とはどんな關係があるか」といふ事が近頃醫學者の研究問題となりました。之に就いてトムソン博士は「即ち之等の女中が健康なのは他にも原因があらうが、其主なる原因は雜巾がけをする際に於ける姿勢であつて、此姿勢は四足獸と同一の狀態なのでありますす。一體人間は直立して居る爲に胸腔內にある諸器官の重量が橫隔膜の表面にかゝつて居る。之が種々の疾病を起す原因になるのであります。夫が四足獸のやうに四つ匍ひになると、胸腔の內臟は勿論、腹部の內臟は靭帶で支へられないで、腹壁內全體によりて、支へられる事になる。之が彼等を健康にするので、四足獸が吾々のやうな病氣に罹らぬのも、其體の常時の狀態に起因するのである」と申して居られます。

不景氣と傳染病

不景氣になると傳染病患者は大變少なくなるさうです。之は景氣が良くなると自然心持が緩む爲め、贅澤になり、不節制になり、深夜の外出、飲食が祟つて、傳染病が多くなります。之に反して不景氣になりますと、節制を守り、衛生に注意する樣になるので傳染病が減るのでありませう。即ち傳染病患者の增減は景氣、不景氣の標準のやうなもので、世間の景氣を豫言するものであります。之は要するに景氣の良否で人間の口のたしなみが違ふからで、其證據には景氣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の良い時の病人は、皆チブスや赤痢のやうな口から入る病氣が多うございます。

吃逆の原因

吃逆は胸と腹との境にある横隔膜の痙攣でありますそれで之を有つて居ない鳥や蛇、蛙、魚には吃逆が起らない。吃逆を止めるには息をぐつと吸込んで肺臟を膨らまし、横隔膜を腹部の方に押し附けて、發作的に起る痙攣を強く抑へると止まるものであります。併し病的に起るものに對しては比較的効果が少いやうです吃逆は子供の時に、寒い折に起るものですから、斯やうな場合には着物を厚くすれば直ぐ止ります。

防臭劑の造り方

暑くなりますと、ます〳〵便所の臭氣が激しくなりまして、色々な虫も湧きますから、一日隔き位に防臭劑を撒く方がよろしうございます。防臭劑は石油乳劑がよいやうです。作り方は石油四匁五分、温湯四匁五分、シャボン拇指大の塊を水九合に溶かして瓶に入れます。これを撒く時は、一時に澤山出さないやうに、瓶の口にコルクをはめて、コルクの中央に小さい穴を開け、長さ一寸五分位の竹を挿入れて出すやうにすればよろしうございます。

海濱の温度

海濱で晝夜によつて起る寒暖の變化が少いのは海水が他の物體に比して温まる事も遲く、冷ゆる事も遲いからであります。即ち日中は太陽から熱を吸收しても氣温はその割合に昇らず、夜中は徐々に熱を放ちますから、温度は著しく下りません。こんな風に自然に温度が調和されて居ますので、海濱は病弱な人のためによいのであります。

髮のよごれ

夏は一しほ頭髮が汚れますが石鹸や洗粉で洗ふと、あまり度々になると毛の脂肪分がぬけて悪くなります。それで髮のために非常によいのは、ひじきのゆで汁で洗ふ事です。ひじきを普通にゆで、その黑い汁で洗ふとつやが出ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日用品の見分け方

ジヤガイモ

苛味があつてはいけません、傷があつてはいけません、形整ひ肌滑らかにして色よきものがよろし

米

赤米のないもの、艶あるもの、堅きもの、砂なきものを選ばなければなりません。

牛乳

親指の爪の上に一滴落し、玉が出來れば脂肪多きものです。古くなりますと塊が多うございます。嗅いで嫌な色がするのは使はぬやうに、

醤油

先づ色の濃厚なものを選びなさい、杯に入れ同量以上の熱湯を注いで味を見ますと

一、鹹辛いものは劣等

二、味のよいのは上等

嗅いで辛子の香あれば防腐の方法を講じたるもの、黴しやすいのは劣等の調味料を含む。

酢

酢は甘味のない濁のない瓶の栓をとり息を吹き込み鼻をツンと刺し、少しも他の臭みのないものを選ぶこと。

卵

たまごは水に直立して浮くものがよろしうございます。よくあかりにすかして見て、濁つて居るのは惡うございます。殻のよごれて居るのは腐りやすく、殻のザラ〱して居るのは新らしうございます。

肉類

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

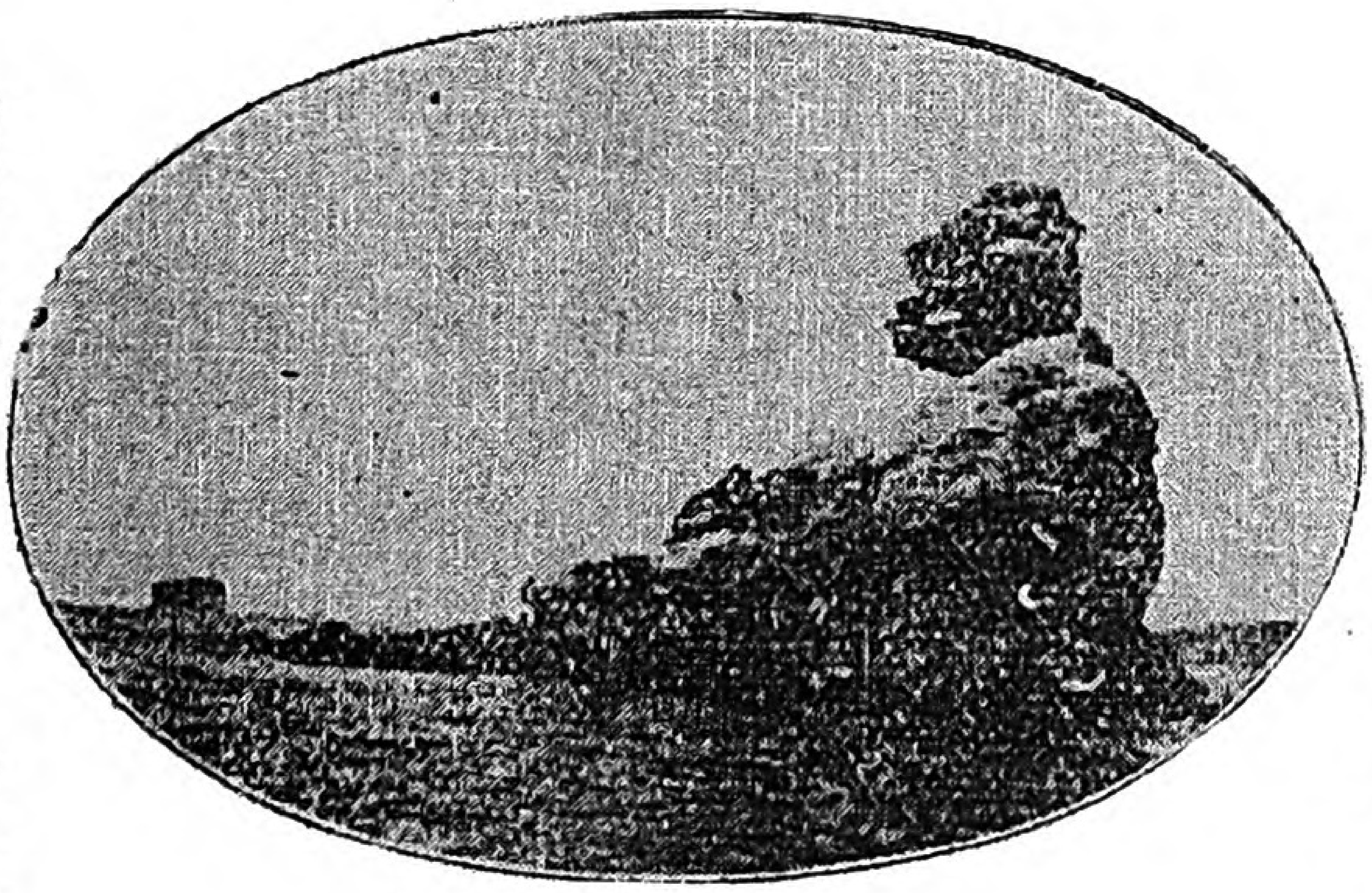
肉類の新鮮なのは色が鮮やかなものですが味はよくありません。少し曇りのあるのが良く、筋多く筋肉ひきしまつて居るのは堅うございます。

魚

魚は先づ眼の澄んで居るもの、鰓を開いて臭味のないもの、新らしいものは肉が堅くありません。極めて古いものも亦堅くありません。ピンとして形がくづれぬ位の程度のものまでは食べても差支へありません。

木綿と絹

木綿の糸は火に燃えます。絹糸はヂリ〱と音を立てゝ燃え上らす玉を作ります、横糸と縦糸とを火に入れて試せばまざりものであるか又は本物であるかわかります。



松島仁王島

石鹸

裸に空中に晒し、水滴を生ずれば化粧上に悪うございます。舌端に味ひ、鹽味なきものがようしうございます。今日の石鹸には殆んど不純物はありません。唯麥粉を混合してあるばかりです。

御飯の腐らぬ法

御飯の腐るのはおはちの洗ひ方一つであります。まづ御飯がすんで、おはちがあいたら、あり合せの鐵瓶からでも沸立つたお湯をつぎ込んで、おはちの内部一面に行わたらせ、後は普通に水で洗ひます。するといつでもおはちの内部がからりとして腐りやすい麥飯でも安全であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

八月の處女暦

舊暦 六月八日より 七月八日まで

季節

（八日）立秋、大暑から十六日目になつて居まして、此の日から秋になると申しますが、殘暑はなかなかきびしく、土用中より暑い事があります（廿四日）處暑、立秋から十五日目でいよいよ暑氣の止む時であります。

行事

諸々方々に神神のお祭の多い月であります。農村では麥の收穫、養蠶、田植等夏の農事が一先づ整理が出來たといふので、農祭、氏神祭などが行はれます。盂蘭盆も一月送り、舊暦等此の月に行ふ地方が多うございます。卅一日は天長節でありますから、國民こぞつて天皇陛下の萬歲をお祝ひ申し上げませう。虫干、晴れ渡つたよい天氣の日を選んで衣類、家具、書物などの土用干をしなければなりません。

衛生

桃、梨、西瓜、眞桑瓜等、あまりたくさん頂きますと身體にさわりますから、家内中の方が食ひ過ぎないやうに注意をして、小さい弟さんや妹さんなど暑さの餘り氷や水を飲み過さぬやう氣をつけておあげなさい學校に行く弟さんや妹さんは暑中休暇で氣がゆるむのと暑さのために不規律な生活をするやうになりますから、よく注意をして、身體と精神の健全なる發達とにおつくし下さい。

趣味

夏の趣味は早起にあると思ひます、溫泉場の遊樂、海水浴場の快濟いづれも夏のよろこびにちがひありませんが、これらは日頃塵の巷にあくせくと生存競爭にもまれて居る都會人の逃げ場所であつて、自然美につゝまれた田園生活をする人には必要がないと思ひます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

それで農村處女の夏の趣味は早起きであります。早起を以て夏の趣味とし、庭の草、畑の野菜に水をやり、すく〳〵とのびて行くそれらの植物が乾き切つた土を通して水を吹ひ込む樣を見るのは、幾百の金を費した遊興よりも貴い樂しみが湧いて來るのであります。植物を愛する心は田園處女にます〳〵植えつけ度いと思ひます。

八月の食品

野菜類＝南瓜、冬瓜、越瓜、西瓜、枝豆、玉蜀黍、茄子、胡瓜、ずいき、

魚類＝鮎、鰺、こち、鰻、鰹、かます、いぼ鯛、

一寸したお客のお膳

叔父さんとか叔母さんとかお出になつた時極くあつさりとお夕飯をさし上げるといふ場合に次のやうな獻立で御馳走なしてごらんなさい。

◎獻立◎

酢の物｛鰺胡瓜巻　青ちそ　わさび　甘酢

皿｛かく〳〵鶏肉　衣かけ　酢醤油

椀｛〆玉子　そうめん　あられ椎茸　冷ずまし

小丼｛枝豆青煮　あはび　味噌煮

漬物｛玉菜　紅生姜

料理の仕方

酢の物

胡瓜は中位のもの二本兩端を切りおとし、二寸位の長さに切り、横に薄く種の處までかつら剝きと云ふのに致します、皮の部分は切り捨て、ざつと卷き、鹽大匙一杯を五勺程の水で洗つた鹽水につけておきます。暫くするとしんなりとして來ますから、其處で鹽水を切り、酢の中につけます。鰺は中位大きさのもの二尾頭を落し、腹をあけて腸を出し、水洗ひしてから三枚におろし、鰺の身のみえなくなる程厚鹽を兩面からあて、三十分間經つてから水洗ひして、布巾で拭ひ、酢の中につけます。廿分間程つけましたら小骨を拔き、皮を剝き、縱に二つに切り、更に胡瓜の長さ程に切ります。其處で胡瓜を俎の上に擴げ、手前の端の方へ鰺を二切程のせ、鰺を心にして端からくる〳〵と確くまきます。卷き上げたら兩端を平らに切り、そして

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

斜かひに切り、切り口を上向きに致します。

靑ぢそ＝十枚程の靑ぢそを水洗ひし、重ねて端から細く繊に切り、水につけて置きます。

甘酢＝味淋三勺に砂糖を少し多く鹽梅し、煮ないでもよいのであります。

これだけを體裁よく小皿に盛りわさびおろしを一摘み程前に置いて出します。

皿

馬鈴薯の皮を剝き、適宜の大きさに切り、鹽中匙一杯程加へた沸湯の中に入れて茹てます。軟かになつたらば茹湯をしたみ捨て、手早く裏漉にかけ、胡椒少々で加減しておきます。鷄肉卅匁は挽肉にして求めるか又は細かに能々叩き、味淋一勺、砂糖小匙半杯、醤油一勺を鍋に入れ、沸立つた中に入れ、汁のなくなるまで煮ておろしておきます。馬鈴薯を少しとり饅頭の皮の様に拵へ、中に挽肉を餡の様に掬ひ入れ、小さいだん子のやうに作ります。それにメリケン粉をつけ、玉子を塗り、パン粉をまぶしつけ、沸立つた胡麻油の中に入れてザッと揚げます。それにつけ醤油を添へて出します。

椀

鍋に玉子をかきませおき、砂糖醤油にて薄味をつけ火にかけてかきませながら煮ます。あまりぼろ〳〵にならぬうちに急いでふきんにつゝんでしぼります。之を適宜に庖刀して椀に盛り、ゆでたそうめんをつけ合せにしてすまし汁を三分四角に切つた椎茸を入れて、煮て冷しおき、前の椀につぎ入れます。

小丼

あはび大一個を藁のたはしでこすつて能く洗ひ、飯杓子様のもので殼をはがし、沸立つた湯の中に入れて茹でます、一時間程茹でゝ取り出し、三分幅、一寸長さ一分厚さ位の大きさに切り、鍋に味淋三勺を入れて火にかけ、一旦煮切つた中にあはびを入れ、鰹節煮出汁二勺、醤油一勺を加へ搔き交ぜながら、さつと煮て、あはびを掬ひ上げ、殘りの汁の中へ味噌大匙一杯程をよく〳〵擂り裏漉したのを入れ、焦げつかさぬ様、搔

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

きませ乍ら煮詰めます。味噌がぼて／＼になりました時再びあはびを入れてかきませ下ろして丼に盛ります

枝豆は枝から離し、沸立つた湯の中に入れ、鹽小匙一杯程を加へて茹で、軟かになつたらば笊にあげ、水をかけて冷まし、殼からはじき出し、味噌煮を盛つた上にバラ／＼と撒りかけて出します。

漬　物

玉菜を一枚一枚はがして洗ひ、たんざく形に切つて水を切り、鹽をふりかけ、一日置いて、それを洗つて皿に盛り、紅生姜をつけ合せて醬油をかけて出します

米のとぎ汁と茶がらのつかひ方

米のとぎ汁と茶がらはなか／＼有効に使ふ事が出來ます。先づ米の二度目のとぎ汁で味噌汁をこしらへると、白味噌の樣な味がしておいしいばかりでなく、これを食べると平常便秘に苦しむ人でも一回づゝつうじがあります。

また濃い汁を稍熱い位に温めて、髮を洗ふとよく垢が落ちてつやもよくなりますのみならず、とぎ水を洗濯水に用ゆると白い物は見ちがへるほどきれいになるものです。

茶がらで油物を盛つた食器を洗ふと臭味もぬけ、キラ／＼もとれます、また乾かしたものは枕に入れるとそばがらの代用になり、これで食物を貯へてある戸棚や臭氣のある室内をいぶすと、臭氣も濕氣もなくなつてしまひます。なほ上等の茶がらは一度使つて後にまた乾かして使ふと番茶よりよく、又これを便所の壺に入れて置くと、臭氣をとめ、ウヂのわくのを防ぎます。

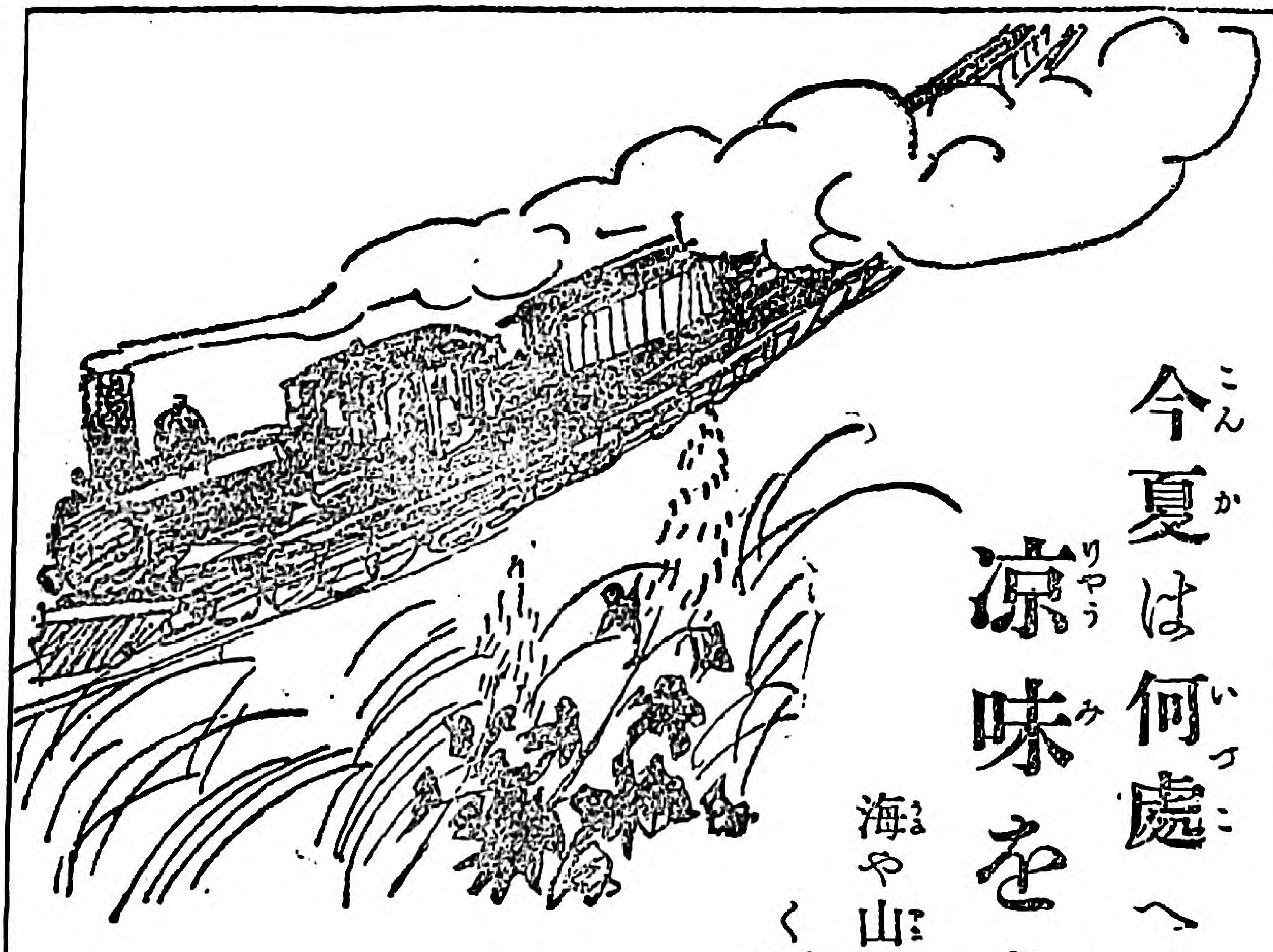
吉岡理事の御服喪

本會理事吉岡彌生女史の御良人吉岡荒太氏は長々御病氣の處養生不相叶七月六日御死去になり、同八日午後三時芝增上寺にて葬式を行はれました。

處女會中央部は同女史に對し深く哀悼の意を表し、全國處女會員一同心よりお悔み申し上げませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



今夏は何處へ……
涼味を求めて……

海や山へ御旅行に必要な品々が悉く三越に取揃へて御座います

水筒、罐詰、寫眞機は一階に、バスケット、信玄袋、鞄は三階に、旅行の案内書、地圖、海水着、登山用具は四階に其他旅行に必要で便利で低廉な品が澤山新着して居ります

……八月一日は棚卸で休業◆八月の定休日は十日と廿五日……

三越呉服店

◆東京駿河町◆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

學びの園（國歌解釋）　空明生

大海原（文學博士　坪内雄藏）

大なるかな、大海原。
朝に夕に、どう／＼と、
動き、轟き、夜もすがら、
大浪小浪寄せ返る。
いづこに打たぬ浪を見ん。
いつ浪の音を聞かざらん。

語釋

大海原　原は廣き處にて大きな廣々とした海といふこと

どう／＼　潮の音をあらはした詞

轟き　鳴り響くこと

夜もすがら　夜通し

寄せ返る　寄せたり又退いたりする

通釋

海といふものは眞に大きいではありませんか。朝夕となく、潮が動き、潮が鳴り、夜通し大きな浪や小さな浪が寄せては山の如く、退いては谷の如くなる。どこに浪の打たぬ處があらうか。どこに浪の音の聞えぬところがあらうか。

大なるかな、大海原。
世界の山々ことごとく、
崩すとも、海は埋まるまじ。
世界の川々絶間なく、
注げども、海はとこしへに、
不增不減の瑠璃の色。

語釋

とこしへに　永く久しく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

不増不滅　増しも減りもせず

瑠璃の色　紺色のさえたもの

通釋

海といふものは眞に大きいではありませんか。世界中の山を皆崩してしまつても廣い〳〵海は埋めきれますまい。世界中の川がどれもこれも絶えず海に注ぎ入ても、海の水かさは増しも減りもせずに、もとの通り、紺色を湛へて漂ふてゐる。

長閑けき様は海にあり。
風凪ぎはてし春の沖に、
朧にうつる月見れば、
あらぶる心もなぎぬべし。
松島かげの朝ぼらけ、
蓬萊山もよそならず。

語釋

長閑　ゆつたりしてゐる

凪ぐ　風が吹きやむ

朧　うす曇りの月

なぐ　靜まる

朝ぼらけ　夜の明け方

蓬萊山　支那にて仙人が住むと稱する山

通釋

海をながめると、いかにもゆつたりしてゐる。春の日風の吹きやんだ沖合にぼんやりとうつる月を見ると、我々のあら〳〵しい心も靜まつて行く。松の茂れる島の海にうつる曉がたの景色は、仙人の住まふと稱する蓬萊山もこゝであらうかと思はれる程である。

凄じさ、はた海にあり。
春秋二季の大あれに、
はやて起つて浪立てば、
甲鐵艦も木の葉とたゞよひ、
大高じほの逆卷けば、
村々流れて跡もなし。

語釋

凄じさ　ものすごし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

はた　これはまたといふ詞を略したもの

はやて　烈しく吹き起る風

甲鐵艦　鐵で包裝した軍艦

木の葉とたゞよふ　「木の葉」はコノハと讀む。たゞよふは一所に止らぬこと

大高じほ　海潮の高く滿ち來りて陸に上るもの普通にいふツナミのこと

逆卷く　波が湧きあがる

通釋

海の有樣は一面に於て又眞にものすごいこともある。烈しく吹き起る暴風のために、浪が高く立ちあがると、甲鐵艦のやうに抑さうとしても動かぬほどのものが木の葉の如くひら／＼と浪にゆられ、又つなみとなつて浪が湧き立つ時には、忽ち陸によせ來つて、どの村もこの村も海の中に流されて、跡形なくなつてしまう。

山は崩れ、川は涸れ、
國興亡し、人變り、
陸には古今の別あれど、
海原のみは、開闢の、
神代の姿そのまゝに、
動き、響き、寄せ返る。

語釋

涸る　水の乾ること

開闢　天地の開けはじめ

通釋

山は崩れることもあり、川は水の無くなることもあり、國は興るのもあれば、亡びるのもあり、人は生きては死に、死んでは生きて、陸上には古と今とよほどちがつた處があるけれども、廣々した海はかりは、天地の開けはじめた大昔の神代の有樣そのまゝで、今も變らずに動き、鳴り響き、さうしてうち寄せたり、まき返つたりしてゐる。

海の歌　源實朝

箱根路を我が越えくれば伊豆の海や沖の小島に波の寄る見ゆ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部と地方との連絡

一、講習、講演の委囑に應ずること

一、處女會の通信、寫眞及び指導者の寄稿を歡迎すること

一、讀者の身上相談に應答すること

中央部公告

増子理事は八月下旬より九月上旬まで東海道を米原に赴き北陸線を廻りて新潟に出で宮城福島等を經て各地を遍歴する豫定です、依て沿道諸所の處女會に於て講話御希望の向は八月十日迄に御申出あらば日割の許す限り御便宜を圖りたいと存じます。

處女會中央部だより

六月十二日夜赤坂なる婦人教育會に於て理事會を開き、各理事出席。(一)事業遂行に伴ふ經營。(二)講習會開催の概定。(三)處女の友の發展などに就て協議し、愈ゝ基礎を鞏固にして活動することゝなり、増子理事を推して本部の常務及び雜誌の發行を主幹することに定め、滿足裡に會を撤した。

六月中旬増子理事は府下向島寺島小島ゴム工業株式會社に出張講演をされました。

婦人生活改善同盟會の中村久榮女史は七月初め靜岡縣駿東郡小山町小學校の處女會に出張、講演をされました。

辛酉會だより

内務文部兩省、東京府東京市の社會事業關係者、及び青年館、處女會の聯合組織なる辛酉會は六月廿六日東京府廳内に開催し、一同晩餐を共にしたる後、處女會施設事業の改善につき甲論乙駁各自腹臓なき意見を交換し深更まで盡くる所を知らなかつたが、次回續行することとし、惜しき別を告げた。偶ゝ上京せられた處女會評議員山本瀧之助氏も加はれて來會者二十名。

尚當日處女會中央部よりは、山脇房子、吉岡彌生、嘉悅孝子大江すみ子、市守よみ子、三輪田元道、福島四郎、増子懐永の諸理事が出席されました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

眞岡木綿の身上話

ひろの

私は常陸國眞岡で浴衣地に仕上げられました。それは大正四年の夏の事、それから多くの仲間と共に荷造りされて、東京の上野驛に送られました。

東京では江戸川のほとりなるある大きな呉服店にかざられて、水の流れの靜かなる川端に散歩する人々に素見され乍ら幾日かを過しましたが、一人の娘さんの手に渡りました。娘さんは電話交換局に勤め、父もなく、母と弟と三人暮しの淋しい家のために毎日よく働いてゐました。その母親は子供たちの生長を樂しみに他家の賃仕事などしながらかつ〴〵と暮して居ましたが上の娘さんが高等小學校を出るとすぐ電話局に出て、母親の苦勞を幾分なりとも輕くしやうと申しましたので、快く勤めに出しました。

娘さんが勤めに出るやうになつてから、一ケ年と三ケ月暑い暑い七月末でありました。娘さんは今年の盆に少しばかり餘分のお手當を頂きましたので、それをすぐ母親に見せ、亡き父親の佛壇に供へました。

「お父さんお喜び下さい娘が毎日働いてお手當を頂くやうになりました。」

と手を合せて拜んだ後で、母親は娘に向つて

「これはお前が月々働いたので頂いたのだからお前の着物を買つておいて」

と申しました。ところが娘は頭を振つて

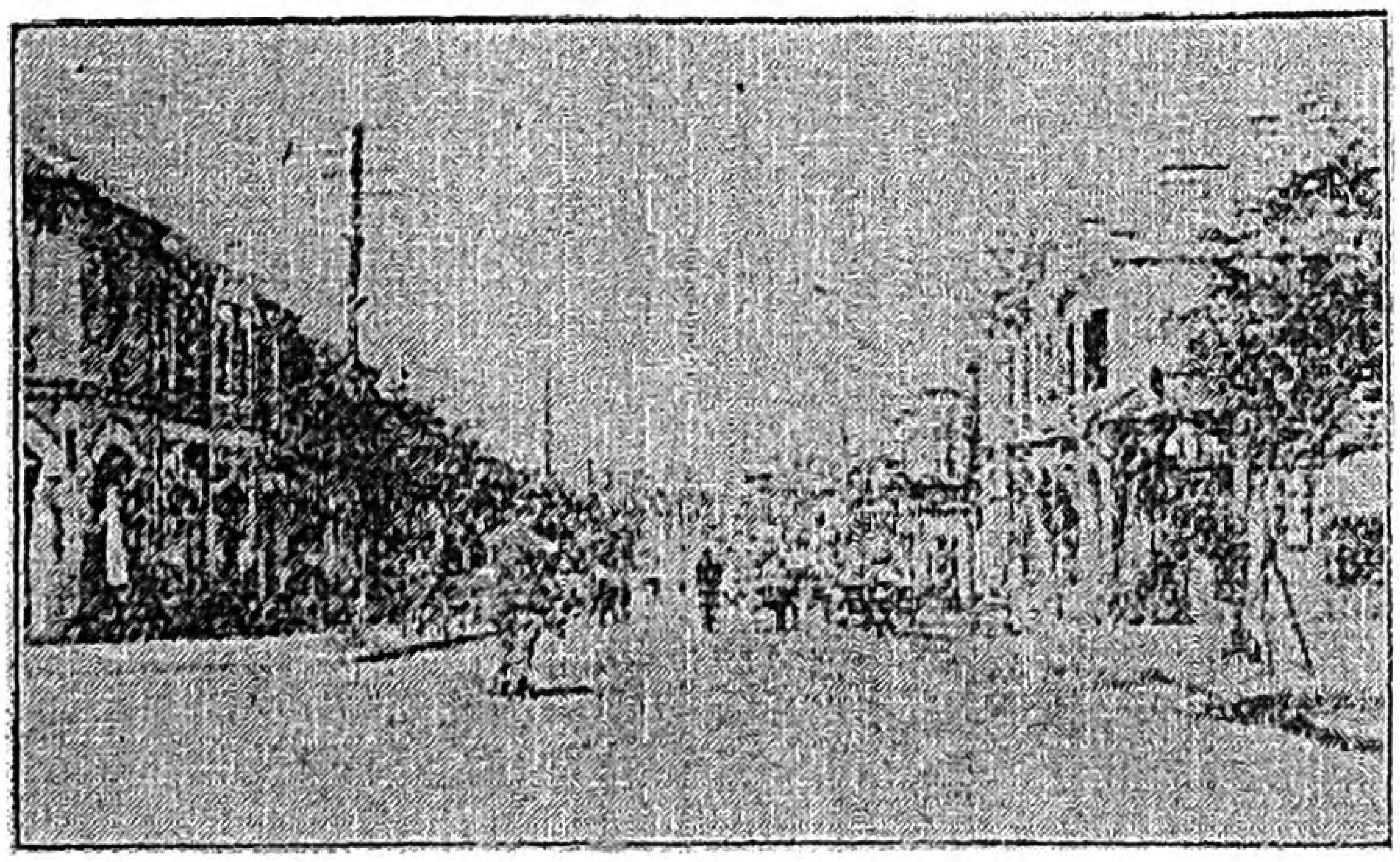
「いゝえ私が毎日働く事の出來るのはお母様のおかげですから、何かお母樣のものを買はなくてはなりません。それと弟にも何か買つてやり度いと思ひます」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

と言ひました。母親と娘はしばらく譲り合つて居ましたが、それでは洗ひざらしにする浴衣でもいゝから三人共に新らしく買ふ事にしやうといふ事になつて、牛込の寓居から江戸川端の○屋呉服店に参りました。

其時に母親には藍地のしもふりを、弟には白地絣を、そして娘のためには私が一圓五十錢で買はれました。私は白地にすゝき、なでしこの模様でありました。それから娘さんの着物に仕立てられて、毎日電話局に通ひました。忙がしい一日の働きを終へて歸るとすぐ私は娘さんの肌をはなれて衣紋竹に吊され、夕飯がすんで、汗の乾いた頃にはちやんときれいに疊んでしまはれました。

さういふ風に叮嚀に扱はれた私は割合に丈夫で、二三年は夏毎に娘さんのお供をして、電話局に通ひましたが、何しろ汗になつて働く娘さんの事ですから私もたまりません、肩のあたりや袖のあたりは少し黄ばんで、洗ひ晒された後は色がはげて、すゝきの模様もなでしこも影を薄めてしまひました。



青島山東町

それで娘さんは思案の結果、休日を利用して私をむやみやたらに麻糸でしばりました。私は一體どうなることかと思つて居ましたら、鍋に入れられて二三時間ぐら〳〵と煮立てられました暑い暑いと苦しんだ二三時間の後に私は水でさらされて、秋風涼しい物干臺にひら〳〵と飜つて居ます、その時には私の以前の形は全く失せて、眞紅な布となつてゐました。それが乾くとすぐに、又私は麻糸で大きくしばられて再び鍋に入れられて、ぐら〳〵と煮立せられました。

以前の通り水でさらされて物干臺に干された時は、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

眞黑になつて居ました。

全く乾いてしまふと、今度は麻糸を一々とかれて、黑地の間々から、赤と白の美しいしぼり模樣が出て見ちがへるやうに美しくなりました。

娘さんも大喜び、私もうれしうございました、それから私は母親の手で蒲團に仕立てられました、ほんとに立派な蒲團になりました。

四五年の間はふとんとして、夜毎夜毎に母子三人の平和な家庭の美しい眠りを守り、木枯吹きすさぶ、冬の夜は、炬燵ふとんとして、賃仕事に凍る母親の手足を暖め、母と姉とに愛されて、苦勞も知らずに學校に勉强する幼い弟の手足をも暖めました。

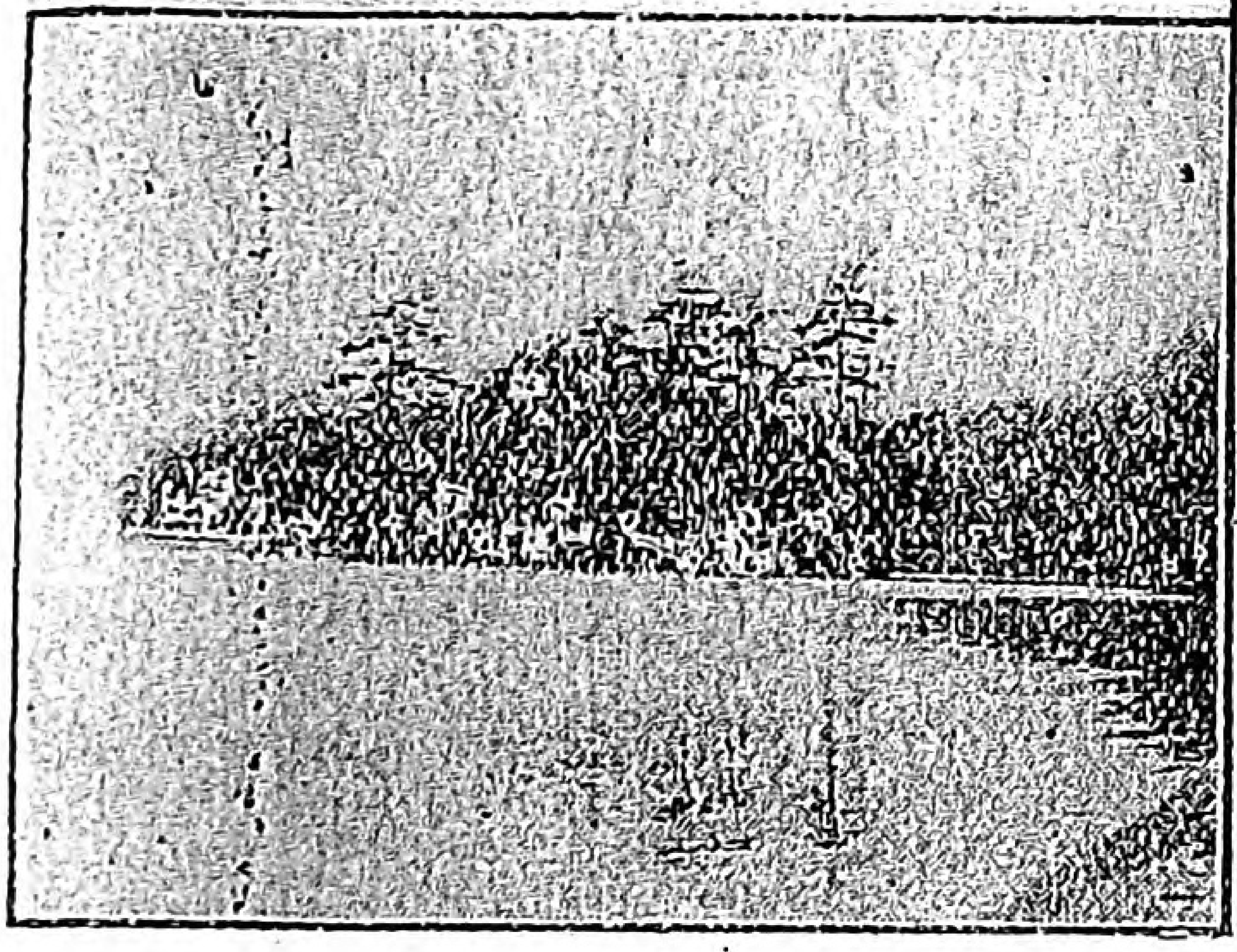
冬の夜の雪ふる音を靜かに聞き乍ら針を運ぶ母と娘それから一心に勉强をして居る弟、この三人がそれぞれに仕事を終るまで、私はやはらかな温みを持つて、三人の來るのを待つて居ますと、一番先に弟が勉强をすませて入ります、それから針箱を片づける音がすると母と娘が入つて來ます。そして母子三人は暫く世間話をして床に就きます、かうした穩やかな睦まじい家の人のために働く私も幸福者と思つてよろこんでゐました。

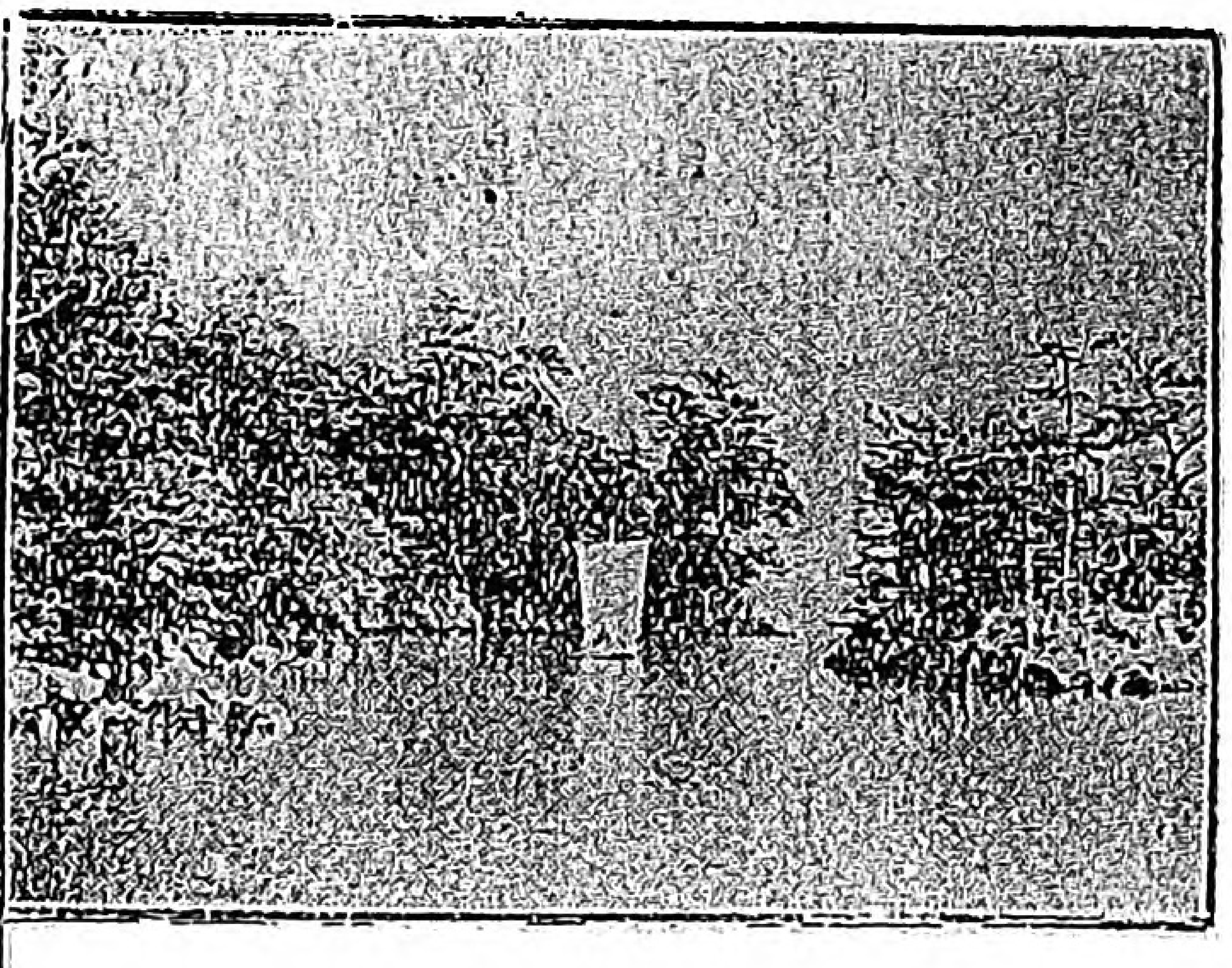
その内に私の地質もだん／＼痛み、染め直しの色もやけて來ましたので、先日娘さんは、私をすつかり綿から離してしまつて、やぶけた處から切つて雜巾にさしてしまひました。

長い間御奉公した此の世に去るのも程遠からぬ事と思ふと、言ひ知れぬ淋しさが湧いて來ますが、この睦まじい家のためにつくし、最後には雜巾となつて、この美しい家をみがくばかりでなく、この親子三人の心の曇りをも拭きとつて、行末の幸をいのる事も私として誠に意味深い事と思ひますので、晩年を南無阿彌陀佛と後生願ひながら拭き掃除に働いて居ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

十和田湖の恵比須大黒島





十和田湖の蓬莱島

奪はれし愛に答ふ

本誌主筆

四方の若葉みどり濃き下蔭に、色とり／＼のパラソル動くシーズンとはなりました。今日此頃の田園の景は又棄て難い風情です。

おなつかしい先生。私はまだ一面識もない本當に未知の者です。唯毎月處女の友誌上にて先生のやさしい記事を拜見いたしては、とうからお慕ひ申して居りました少女ですけれども、拙き筆の運びの恥しさにつひ／＼お便りも致しませんでした。私は處女の友を愛讀して早や一ヶ年餘にもなります。そして何時も／＼無智な此身をよきにお導き下さる先生方に深く／＼感謝致して居ります。

先生。私は本當に無智な少女ですけれども、處女の友に依てどんなに慰められる事でせう。あゝ慕はしき先生よ。どうぞ御聞き下さいませ。私は悲しい心の惱みに日々悶えて居ります。始めてお便りを書く先生にこんな煩悶を告白する事は失禮とは知りつゝも、友もなく寂しい私はうちとけて語り合ふ樂みもございません。私は決して不幸な身の上なのではありません。寧ろ幸福な身なのです。父母兄弟姉妹も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

居ります。そして物質上に於ても決して不滿もありませんのですけれど、唯々精神上の煩悶を小さい少女のハートに祕めて置くには、餘りに悲しいやるせないものです。お慕ひ申す先生なれば何事も祕めず告白致します。そして先生の御指導をお願ひ申します。

思ひ出せばわけもなく涙が頰を流れます。失戀といひませうか、恐ろしい男子の誘惑に囚はれました。そして今は悲しい心の痛手に泣いてゐます。あゝ顧れば過去の私は餘りに無自覺な意志の弱い少女でした。

純な無邪氣な心を抱いて唯勉强にのみ心を奪はれてゐた頃、高等小學を卒はる時分、私は女學校入學に志してひたすら勉學に餘念なく、校長先生、及受持先生などは、親切に何くれとなく御世話下さいまして、私の希望を喜んで下さいました。當時受持先生は師範卒業の若い元氣な師の君でした。そして尙高等師範入學を希望して日々勉强して居られました。

其頃です。私はやさしい師の君とのみお慕ひ申してゐた方から思ひがけなく熱烈な戀をされました。あゝ私は何といふ弱き心の持主だつたのでせう。師として思ふ心は何時しか戀と變りました。

小學を卒へて私は近くの女學校に通ふやうになりました。そして小さい胸に華かな未來を夢みつゝゐるうち師の君は又他の敎へ子を戀してゐたのでした。眞實な愛、淸き戀とのみ思つてゐた私の心は、何時しか裏切られてゐたのでした。

あゝ何といふ愚な私でせう。其事實を知つた私は心も狂はんばかりでした。幾度か自殺をさへ考へた程でした。悲しい心の悶えを一人小さな胸に祕めてゐた自分の生活は、何といふ呪はしい運命でせう。純なハートに一度思ひこんだ少女の心は變りもせぬのにと、幾夜泣き明かしたことでせう。惱ましき思を誰に語らふすべもなく、今日まで恨と呪とに燃ゆる心を推し鎭めて居りましたけれど、あゝ先生よ。……戀する此身の罪を呪ひつゝ……けれども師の君は昨年四月、第二の敎へ子を妻にもとめて、村人の非難の下に此地を去りました。轉任のやむなきに至りました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あゝ先生。こゝまで書いてもう書く勇氣もありません。唯々世間見ずの無自覺な、そして意志の薄弱だつた此身を悔ゆるのみです。どうぞ笑つて下さい。叱つて下さい。そして何より以上お導き下さい。恥もかまはずお便りする私の心を憐れと思召して下さい。平和な心に返る日を樂みに待つてゐるのみです。

かくばかり僞多き世なりとは知らぬ我身の愚さに泣く

悲しさを一人こらへて部屋に來れば落る涙のいとゞまされり

つく／＼と涙催す春の宵明かき月影雲にかくれぬ

わがまゝの我とはなりぬ母上にいさかふことの多くなりつゝ

さらば先生。永へに幸あらんことを祈りつゝ筆を擱きます

打明けての御物語に、筆者も思はず知らず引込まれるやうに感じました。けれどもあなたも亦世の常の惱みを繰返されるとしか思はれません。なぜあなたほどの理想がありながら、世にいふ前車の轍をふまれたのでせうか。そしてあなたは少女の陷り易き風とはいひながら、師弟の關係には何等の顧慮もなく、餘りに惱々しく戀に醉はれたものですね。

其はともかくとするも、あなたは何故にそんなに悶えられるのでせう。考へても御覽なさい。よしんばあなたの戀が純潔でありませうとも、其は唯あなたのみの人格によるだけの事であつて、あなたの愛人の心根は實に唾棄すべきものではありませんか。うら若き女子を弄ばうといふ考、移り氣の多い當世流の輕薄才子、さては村人の指彈を受けつゝもなほ無恥ならんとする其人、それがあなたの理想の男子として慕はるゝに足る方ですか。將た敎へ子の師としてそんな無節操な人があなたの生涯を托すべき夫でせうか。あなたは戀に盲なる餘りに、殆んど理性の判斷を失はれてゐるやうです。かゝるきづなは斷然おたちきりなさい。もはや理も非もありません。あなたはあなたの無自覺と意志の薄弱なのとを悔ゆる間に、なぜ其執着から離れてしまはれぬのですか。あやまれる過去を懺悔することは、總ての煩惱から脫れ出づることに由て、始めて其意義があるのです。

お察しするところ、あなたは其文才に於ても、其見識に於ても、見るべき技倆をお持ちのやうです。あなたはあらぬ悶えに苦まるゝことなく、あなたの其學殖の上に立つて、未だ學校生活で居らるゝならば、宜しく其本分に立ち戾つて、深く悔い深く改め、速にそんな邪念を去り、あなたの所謂平和な心に歸つて、新なる生を求めらるゝ事を祈ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お話し三つ

常春

孔子は、道は近きにあり、反りてこれを遠きに求むと申しました。全く其の通りで、道を學ぶといふ事は遠いところに在るのではありません、足許に在るのであります、心に在るのであります。

ある所に、五郎八といふ獨身者で呑氣に暮してゐる男がありました。ある晩の事、五郎八がぐう／＼高鼾で寢て居りますと、直ぐ隣家から火が出ました。

シーンとしてゐる夜の空氣を破つてチャンチャンと響く警鐘は什麼に村人の夢を驚かした事でせう。

『ソレ火事だ、火事だ』と呼ばはり乍ら大勢の人が火事場に來て見ると、それはそれは大變な騒で御座います、それてゐるのに、隣りの五郎八は何とマア、呑氣な男だらうと一同呆れて居りました。戸が閉つてゐて物音一つ聞えません。

『五郎八が此の騒ぎを知らないとは何たる事か』と一人の男が戸を蹴破つて中に這入ると、その物音にびつくり目を覺まし、

『ナンダ、ナンダ』と裸のまゝ飛び出しました。

「オイ、五郎八、何を狼狽へる、隣りが火事だ、早く始末をしろ」といへば

「何ッ、隣りが火事だ、そりや大變だ」と、その人の手から提灯をもぎとつて、家の中を駈け廻つて居ります、合點の行かないその振舞に

「五郎八、何をしてゐるのだ」と尋ねると、

「ランプが消えてゐてはどうする事も出來ないからマッチを搜すのだ」

と答へまして、まだ駈け廻つて居ります。

明るい提灯を手にして居ながら、マッチを搜すとは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

何といふ、狼狽へた五郎八でせう。提灯を手にして駈け廻つてゐる五郎八を多くの人は笑ふでせう。然し乍ら世の中の多くの人は此の五郎八のやうではなからうかと私しは思ひます。明るい提灯が手元にあるのに、それを知らない、天から與へられた本心、それを知らない、それに從へば直ちに道に協ふものを、道を遠方に求むる者は、五郎八の愚に近い行爲ではないでせうか。

◆

古歌に

　誰れも皆人は裸で尊かれ
　　それが生れのまゝの元値ぞ

私しは、此の歌を思ひ出す每に、古い昔しの、希臘の哲學者、ダイオゼニネスを思ひ出します。ダイオゼニネスは、大儒派の泰斗で、同派の哲學者等は、富貴財産を求めず、金錢に手を觸れる事さへ卑しいものとしませんでした。そして淸貧に甘んじ、乞食のやうな生活をして居りました、中でもダイオゼニネスの生活は振つたものでした。身には只一枚の大風呂敷を纏ひ年中、跣足で歩き廻り、夜になると大きな甕をゴロリと横にして其の中にもぐつて寢ました。唯一の財産は、此の大甕と、外に水呑椀が一つあるばかりでありま

或る日の事、郊外をうろついてゐると、一人の可愛らしい子供が、綺麗な小川で兩手に水を掬ひながら、呑んで居ります、これを見たダイオゼニネスは

『オ、そうだ、俺れはあの小さな子供よりも馬鹿だつた、あゝして呑めば、椀も何もいらぬ』と大切にしてゐた水呑椀を捨てゝ了ひました。

每日此麼乞食のやうな生活はして居りますけれども、大哲學者の事でありますから、その名は全國に響き渡りまして、何時しか、歷山大王の耳に這入りました、大王は、波斯征伐に行く途中、甕のお家に住んでゐるダイオゼネスを、わざ〳〵お訪れになりまして、いろ〳〵のお話しをなした末に

『お前は、何か朕に望む事はないか、あれば遠慮無く申し出ずるがよい』と申されました、そして此の變り者、何を所望するであらうと待つて居りますと、

『王樣、私しは、何も望む事はありません、然し只一つあります、王樣、王樣がそこにお立ち遊ばすと、太

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

陽の光線が來ないので、私しは寒くて寒くて仕方がありません、どうぞ、どちらかへお寄り遊ばすやうに、これが私しの所望で……』と平氣な顔をして王様を見上げました。これを聞いた、大王は
『アヽ、朕が歴山でなかつたら、ダイオゼネスになつたであらう』と、嘆息を洩したさうであります。
又或る日のこと、眞晝間、アゼンの町を提灯を提げて歩るいて居りました。ところが
『先生、此の眞晝間提灯を提げて何で御座いますか』
と尋ねる者があります。
『俺は、人間を捜してゐるんだ、眞實の人間を尋ねて居るんだ』と答へたそうであります。
此の世の中には人は澤山居ります、然し眞實の人間は少なう御座います、私し共は、何を措いても、先づ眞實の人間とならなければなりません。古歌に

人多き人の中にも人ぞなき
人となれ人人と爲せ人

といふのが御座います。

◆

アリストートルといふ人は云ひました。『虚言者は眞實を語るも信せられず』と、平生、嘘ばかり言つてゐると、眞實の事も信じられません、
『妾し此の間日光へ行つて來てよ、そりや面白かつたわ、眞赤な神橋、千古を語る杉並木……』と眞實に日光に行つて來た話しでも、眞實に信じて聞いて呉れません。西洋の或る所に、羊を飼つて置く牧場かありまして、そこに新らしく傭入れた子僧がありました。子僧は毎日羊の番をしてゐるのが仕事で御座いました或る日の事、餘り退屈で仕方がないものだから、一つ惡戯をやつてやらうと考へまして、
『大變だッ、狼が來た、狼だッ、狼だッ』と叫びました、さうすると近所に仕事をして居た百姓達が、
『それッ、大變だッ』と、手に手に、鍬や、鎌や、棒などを持つて駈けつけて見ると、狼などの姿は見えず羊は三々五々若草を食ひ乍ら彼方此方に遊んで居りまして子僧はニタ〳〵笑つて居ります。
『狼はどうした』と子僧に聞くと
『俺れは知らない』とすまし込んでゐる。
『それぢや、嘘だな、子僧、俺達を擔ぎやがつたな』
と大勢の人は歸つて了ひました。子僧はこれは面白い毎日やつてやらうと惡い考へを起しました、そして其

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の翌日も、其の翌日も『狼だッ、狼だッ』と叫んで百姓達を欺しました。

さうすると、或る日の事、今度は眞實の狼が襲つてまひりました。羊は悲しい聲をたてゝ、彼方此方に逃げ惑ひます、子僧は泣き出しました、そして一生懸命泣き聲で

『大變だッ、狼だッ、狼だッ』と叫びましたが、邊りに仕事をして居る百姓達は

『又、子僧はじめたな』

『さう毎日擔がれてたまるものか』

『眞實にさうだ、俺達の仕事の方が大事だ』と子僧がいくら大きな聲で

『狼だッ、狼だッ、助けて呉れい！』と叫んでも一人も集まつて參りません、可愛さうに羊は狼の爲めに大半食はれて了ひました、そして仕舞には泣聲をたてゝ『助けて、助けて』と叫んでゐる子僧に躍りかゝつて噛み殺して了ひました。嘘を言つた罰は覿面。子僧が初めから嘘を云つて居なかつたなら此麼事にはならなかつたらうにと思はれます。私し共は日常生活に此の嘘だけは言はぬ事にしたいと思ふのであります。

『嘘も方便』などゝいふ諺がありますが、餘り感心した諺ではありません、嘘の無い生活、そこから眞實の生活が生れるのではないでせうか。

『今日一日嘘を云はぬ事』と一日一善などにありますが、一日だけではない、一年、いや、一生嘘を云はぬ事に心掛けねばなりません。

かぞへ歌

加藤　榮子

一つとや　人には親切つくしませう
他人の陰口言はぬ様

二つとや　二人の親には孝行して
みだりにつかふな金錢を

三つとや　操は女の第一よ
互に固く守りませう

四つとや　四方山緑の農村に
住へる乙女が鑑たるぞ

五つとや　いかな事にもさわがずに
みだれし姿を見せぬ様

六つとや　無理なる願ひを父母にして
はでな身なりを致すなよ

七つとや　なんぎな人を哀れ見て
眞心こめていたはれよ

八つとや　やさしき心を持ちませう
着物はぼろでもいとわずに

九つとや　こまりて果てるな何事も
一心こめて進みませう

十とや　としより子供をなぐさめて
家内和樂のもとなれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

蜘蛛の先祖になつた乙女

白露

少女アラクネー

昔小亞細亞のリヂャといふ國にアラクネーといふ娘がありました。アラクネーは染物屋の娘で大變姿形が美しいばかりでなく、手先の技も器用なので、リヂャの國中で名高くなりました。

羊毛をつむがせても、機を織らせても、縫取りをさせてもアラクネーの手際に及ぶものは國中で一人もないといふのでたちまち評判になりました。

アラクネーの噂はつぎからつぎに擴がつて、小亞細亞の國々から遙々見物に來る者が斷間なく、遂に森や泉の神女達までも集つて來て、その見事な手際に見とれて、永い夏の日も立ち暮した程でありました。

細い緯が目にもとまらないやうにす早く動かされ、その下から光澤のある織物が出來ますと、針の運びもいと早く、鳥だの、花だの、蝶だの其他この世の中を彩る樣々の美しい形が時の間に數々出來て行きますのを、目を圓くして見て居ました。

リヂャの乙女アラクネーの評判は程なくオリムポスの山上にも達して工藝の女神パラス、アテーネの耳にも入りました。そしてアラクネーの技巧は女神にも劣らないと聞いて、女神は心を焦々させました。

「よし、それならばその少女の手際を見極めてやらう」と女神はよほよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ぼな老女の姿に身を窶して、杖に縋りながら、見物の中に交つて、アラクネーの機の前に來ました。

女神との問答

士の中からすら〳〵と咲き出す野の花のやうに、針を持つたアラクネーの指の下から、色々な花模樣が浮び出して行くのを見て、神女らは唯驚きの目を見張るばかりでありました。殊に愛ろこの少女の不思議な技巧を目の當りに見ては女神も心の底からびどく感嘆しましました。

かうして少女の指の間から、する〳〵と展びて行く機の模樣に、じつと目を注いで居た見物の一人が、思はず感嘆の聲を洩して、

「この人は屹度アテーネの神樣から祕傳を授かつたに相違ない」

と言つたのが、アラクネーの耳に入つた時、少女は上目づかひに、ちらりと見物の方を見て、口元に冷笑を浮べながら

「わたしの技は、誰にも敎はつたのではありません、噓だと思ふなら、アテーネの女神をつれて來て、わたしと技競べをさせて御覽なさい、若しわたしが負けたらどんな罰でも受けませう」

と申しました。アテーネは一寸顏を曇らせましたが何氣なく前に進んで

「私は年の功で自分にも覺えがあるから言ふのだが、あんまり高慢はしない方がいゝ。それも人間同志ならまだいゝが、アテーネの女神に向つて張合ふやうな口は利くものではありません。お前がどれ程腕がよくつても女神には勝てるものでない、惡いことは言はないから、今言つた言葉を取消して、あの慈悲深い女神にお詫びをなさい」

と申して、それとなくたしなめましたが、飽くまで自分の技に思ひ上つた少女の耳には、老女の忠告も通りませんでした。

「わたしは何もお詫びをするやうな惡いことはしませんよ」

とアラクネーは機の上から目を離して、老女の方へ顏を向けながら「お婆さんは山の方からでも來なすつたのでせう、この町の人なら、そんなことを言ふ筈はない、勝てるか勝てないかやらして見るがいゝわ」

と申しました。女神はこの答にむつとしたやうに

「呆れた事を言ふ人だ！」といつて、じつと少女の顏を見上げました。神樣と爭つたら、どんな事になるか、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

よく考へてものをお言ひなさい」

「そんな小言は、他へ行つて言ふがいゝわ！」とアラクネーは鼻の先で笑ひながら言ひました、「わたしは考へなしにものを言つた事はありません、アテーネの前だつて、これだけのことは言つて見せる」と言つて、吃驚して目を圓くしてゐる神女らの顏を見渡しながら、「毎日爰へ來て、わたしの仕事を見て居る神女達に聞いても分るが、決して自慢ではないが、仕事のことなら、わたしはアテーネにだつて負けないつもりです、あの方がうんと言ふなら、いつでもお相手になつて見せる、さうすればわたしの言ふことが、噓か、本當か、すぐ分るでせう。」

と申した時に、老女の姿は忽ち變つて、呆氣に取られた神女らの目の前に、アテーネの女神の神々しい姿が、すつくと立上つた。

「アテーネは爰に居ます！」

かう言つた女神の目のうちには、嗔怒の火が燃えて居ました。

神女らは跪いて女神を拜み、他の人々も女神の威に打たれて、思はず地にひれ伏しましたが、アラクネーばかりは機を下りやうともしませんでした。

けれども內心ではいくらか不安になつたのでせう、顏が赤くなりました、やがて薔薇色に染つた頰の色が、だん／＼と褪れて、元の白さに戻つた時、少女は低いけれども、確かりした聲で

「わたしは噓は言ひません。仕事にかけてはどんな女にでも、女神にでも決してひけは取らないつもりです。これがわたくしの自慢だと思し召すなら、染物屋の娘と技を競べて御覽なさい わたくしの負けになつたらどんな罰でも受けます」

と申しました。

女神のお怒り

その時アテーネの瞳は暗くなりました、少しの猶豫もなく、女神は少女の側に座を占めました。細い經糸が、する／＼と展べられて、二臺の機が、見る間に橫木へ着けられました、經が上下に分れた間から、先端の尖つた細長い梭が飛び違つて、緯を通して行くと、細かい齒のついた筬が、一つ／＼に叩きつけて織物の目を詰めて行きます。

二人は上着の帶を引しめて、巧みに手を働かせました。そのうちに美しい虹色の絹が出來上つて、二人の針を持つた手は急がしく働いて、絹の上に思ひ／＼の模樣を作り出しました。

アテーネの絹には、この女神が海神ポサイドンと、アテーネ市の所有を爭つた折の光景が描き出されました。十二の神樣の中央に、大神ゼウ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

スは、天地の主宰者に相應はしい威嚴を帶びて、玉座に着き、その前面に、一方には海の司ポサイドンが、三叉戟を執つて立つて居ます。今丁度戟を揮つて大地を打つた所で、その目の前に一頭の馬が地の底から躍り出して居ました。他の一方には、女神自身が兜を被り、楯を執つて立上りました。その頭上には、一本の橄欖が枝葉を擴げて、深緑の葉の間には、一面に青磁色の果をつけて居ます。そして眩しい夏の日を遮つた樹陰に、一羽の蝶がひら／＼と翼を動かして飛び廻つて居る有樣が、夢のやうに現はされました。

かういふ莊嚴な場面を現はした中央の圖をかこんで、四方の隅々には力弱い人間の力で神の威嚴を犯さうとしたもの丶運命から免れさせやうといふ女神の慈悲を示したものでありました。

是等の形象が一つ／＼に女神の白い指の下から、生命のあるもの丶やうに躍り出した時、見る人々の心はその美しい如實な表現に引寄せられて、たゞうつとりと見入つて居ました。アラクネーも自分の機から目を移して、ちらりと相手の畫面を眺めた時女神の創造した美しい世界に殆んど魂を吸入まれるばかりになりました。

アラクネーの手際

けれどもアラクネーは、心を勵まして、自分の仕事に心を寄せました細い指の動くにつれて、絹の面に現はれて行く圖を見ると、其處には白鳥を抱いて居る少女レダの姿もありました。黄金の雨に打たれてうつとりとしてゐる王女ダナエの姿もありました。それから白い牡牛の背に乘つて、海を渡つて行くエウローパの姿もありました。白鳥も黄金の雨も白い牡牛がみんなゼウス神の變形で無邪氣な少女らを欺くための一時の手段でありました。

中にも牡牛の角にしつかりとつかまつて、片手は風に飜へる上衣の襞を握りながら、膨れ上る波の上に、おど／＼した目を落してゐるエウローパの姿は、比べるものもないやうに美しうございました。そしてこの可憐な少年を運ぶ神聖な牡牛も、牡牛の游いで行く大洋の波も、目の前に活きて躍つてゐるやうでありました

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女神と少女の技はどちらがよいとも申されませんでした。色といひ、形といひ、構圖といひ、どちらが優つたとも言へない代りに、どちらが劣つたとも言へませんでした。

機の上から少女の仕事に目を向けた女神は不愉快に思はれました。驚く程によく出來てゐますが、そこには少女の僭越と不信とが、火のやうに現はれてゐます。女神はその畫面の不思議な美に打たれて、覺えず胸を躍らしましたが、それと同時に、神に對する侮辱を憤らずにはゐられませんでした。

この瞬間女神の怒りは表に現れて女神の手に持つた梭は、忽ち飛んでアラクネーの機を打ちました。と見る間に美しい畫面はばら〳〵と裂けてその後には只斑色のぼろが殘るばかりでありました。それでもまだ滿足出來ず、女神は更に黄楊の梭を振上げて、僭越の罰を受けよとばかりに、少女の額を打ちました。

その場に居合せた神女らは女神の憤怒に度を失つて、こそ〳〵と森や泉へ逃げ歸りました。アラクネーは土に塗れて、暫くは顔をもあげ得ませんでした。

彼女はこの場合にもまだ自分の花々しい天才を誇つてゐました。けれども最早神に對して爭ふことの無効なことを知りましたので、不圖機の横木から一節の綱が地に垂れてゐるのを見た彼女は、手早くその一端を手に取つて、首の周圍に結びつけました。

少女が機の綱で縊れやうとして居るのを見ると、女神は徐かに手を伸ばして、綱の結目をゆるめながら、少女に向つて宣告を下しました。

「生きといで！」と凛として女神の聲が響き渡りました。「罪ある者よ！お前はいつまでも生きて、この通りに吊下つておいで！そして神に手向つた者にはどんな罰があるか、後の世までの見せしめになるやうに、お前もお前の子孫も、かうして生きておいで！」

かう言つた時に、アラクネーの美しい身體は、見る〳〵萎びて、灰色に縮みあがり、眞直な手足は、鈎のやうに曲つて、機の横木から垂れ下りました。

この時からあの怖ろしい姿をした蜘蛛といふものが、この世に生れました。そして今でも自分の紡いだ精巧な絲の端に吊下りながら、餘念もなくその仕事を續けて居ます。

「神々の黄昏」が來て、女神アテーネの名は、オリムポスの諸神と一緒に多數の民衆の記憶から消えて行きました。今となつてもあの驕慢なリヂヤの少女が死んでも棄てまいとした藝術の誇は、永久にその子孫に傳はつて、世界の果てから果まで擴まつてゆきました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

曲金應用の涼しい手提げ

大妻高等女學校長　大妻コタカ

若葉青葉の梢を訪ふ涼しい風、水の碧、何れも初夏の氣分は心ゆくばかり溢ふれる頃となりました。それで御婦人方のお持物も自然と見るから、涼しげな、瀟洒なものがふさはしいと存じます。

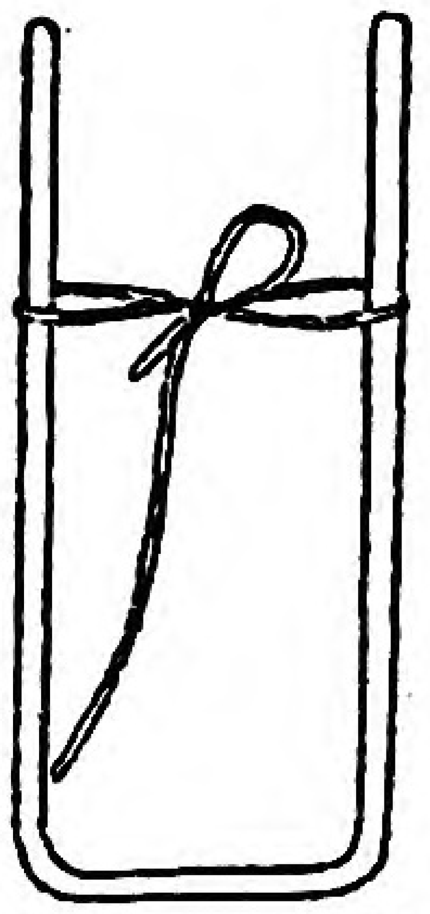
これは曲金を應用して作りましたもので、絲の色は隨意でございますが、裏布を中に入れますと、目が荒いので地色が透きますから、裏の地色と、表の絲の色との配合に注意致さねばなりません。

材料

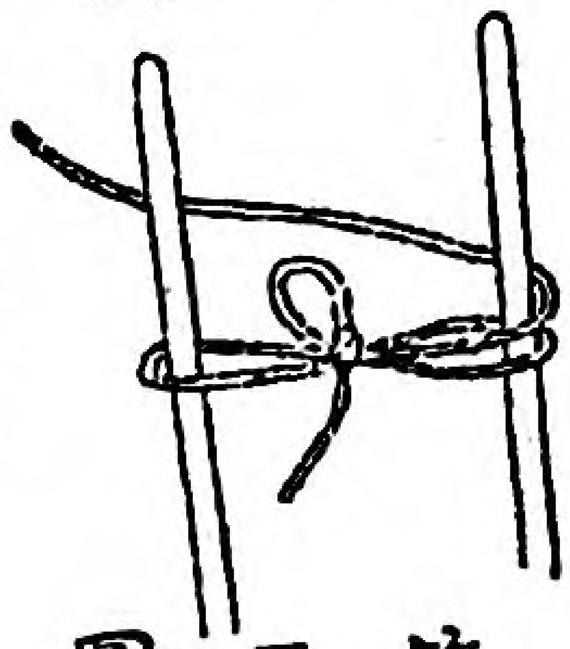
少し細目のあな絲約七匁(黑、白)裏布、白絹を同寸。絹の紐二尺五寸。

編み方

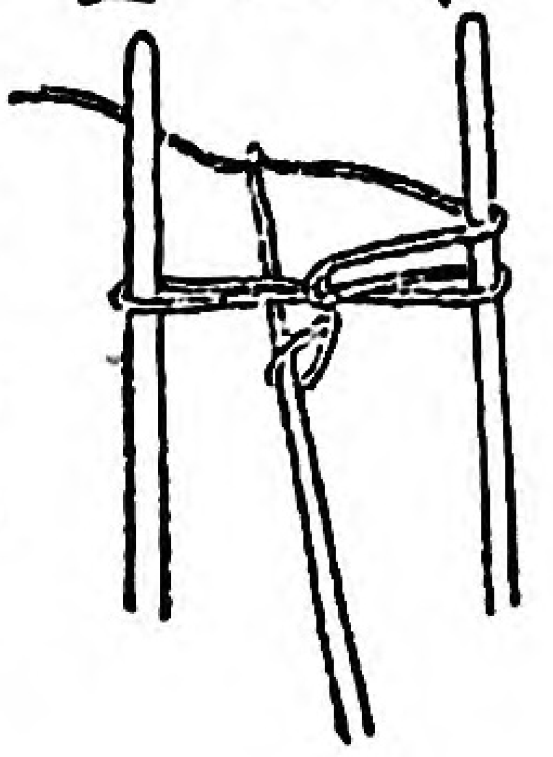
第一圖



第二圖



第三圖

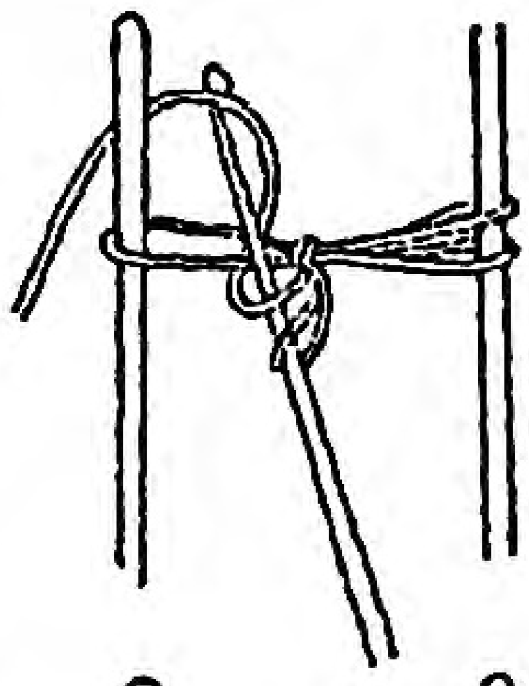


一、先づ白のあな絲を第一圖に示しました樣に、幅一寸三分の曲金に絲を巻きつけて眞中で引き返しに結びます
その時には、長い方の絲が自由に動く樣に結んで置きます。次に第二圖の如く長い方の絲を曲金の向ふに廻し、前にかゝつてゐる二本の絲の下から、金の鉤針で第三圖の樣に引き出し、第四圖の如く、今度は鉤針を二本の絲の上に出して、短編を編みます時のやうにして確りと編みつけます。

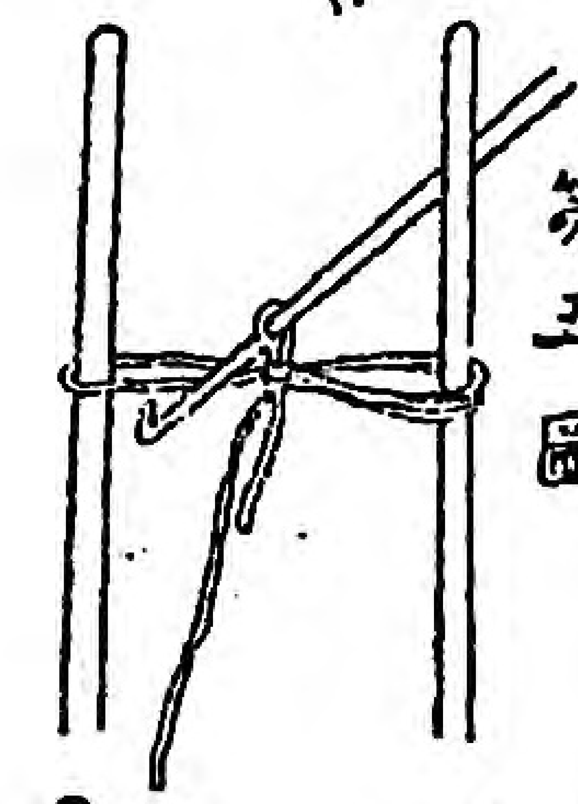
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

これが曲金編の最初の一筋目となるのでございます。

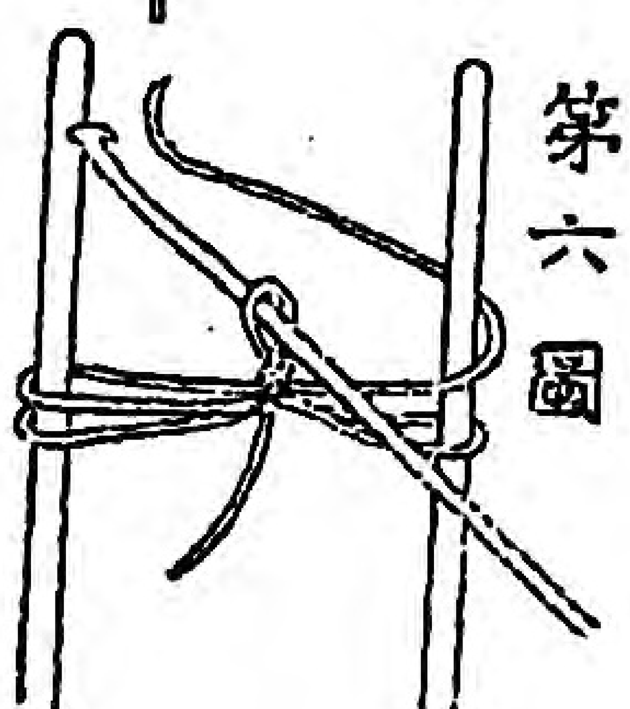
次に第五圖の如くそのまゝ編針を曲金の向ふに出し、絲を曲金の左に卷きながら、曲金を返しますと、第六圖の樣になりませう。それで左の方の二本の絲の下へ鈎針を入れ、最初と同じ樣に、後に廻つてゐる絲を引きぬき、



第四圖



第五圖



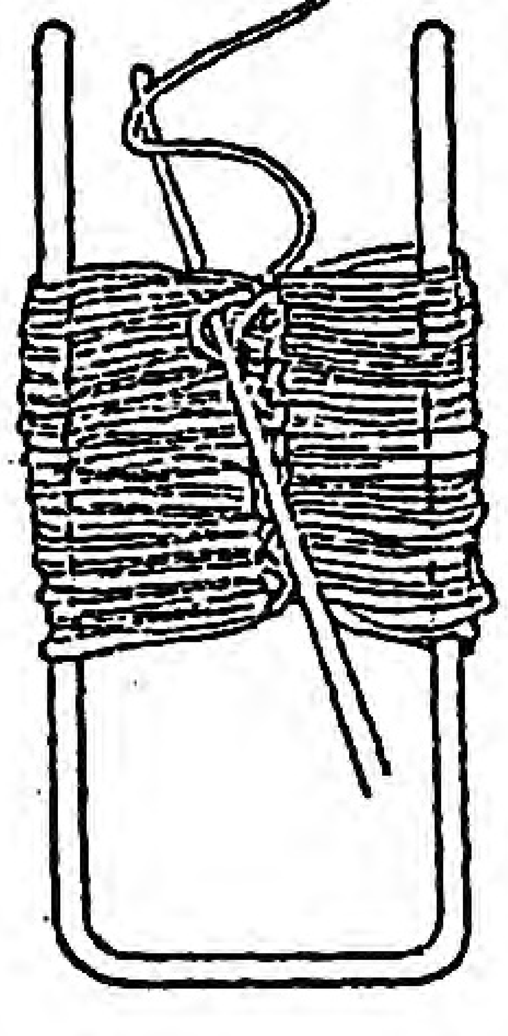
第六圖

今度は上に鈎針を出して編みつけますことは初めと同じです。右の樣にこれを繰り返して左右とも百五十輪が出來るまで編み續けます。つまり、いつも編まれる側は左の方であつて、絲は一番上の二本の絲で、而してそのうち手前の一本はまだ編み付けられてゐない、遊んでゐる絲でありますから、よく注意して下さい。

曲合に一杯になりましたなら、下の方へ押し下げながら、最後まで編みます。而して最後に絲を止めます。その時は鈎針を曲金の後に廻しましたならば、いつもの通りに絲を曲金に掛けずに、曲金を裏返して、第七圖のやうに左側の上の二本の絲を編み付けて止めるのであります。

第七圖

糸の留め方

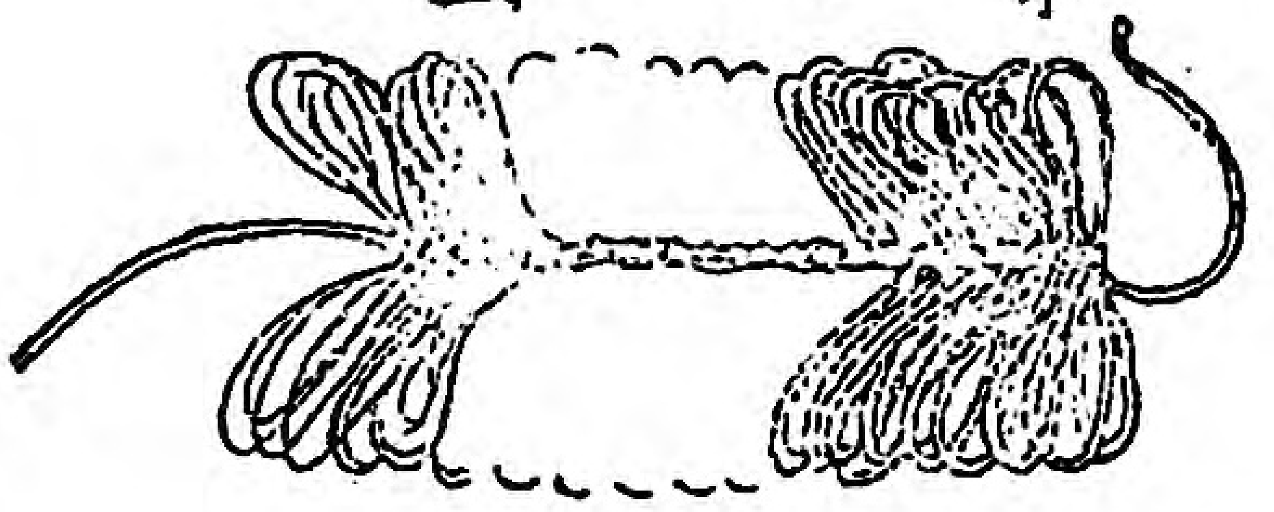


これと同じ方法にして、曲金編を三本作つておきます。曲金からはずしますと、第八圖の如らものになりまして、實物は長さ一尺近くにならうと思ひます

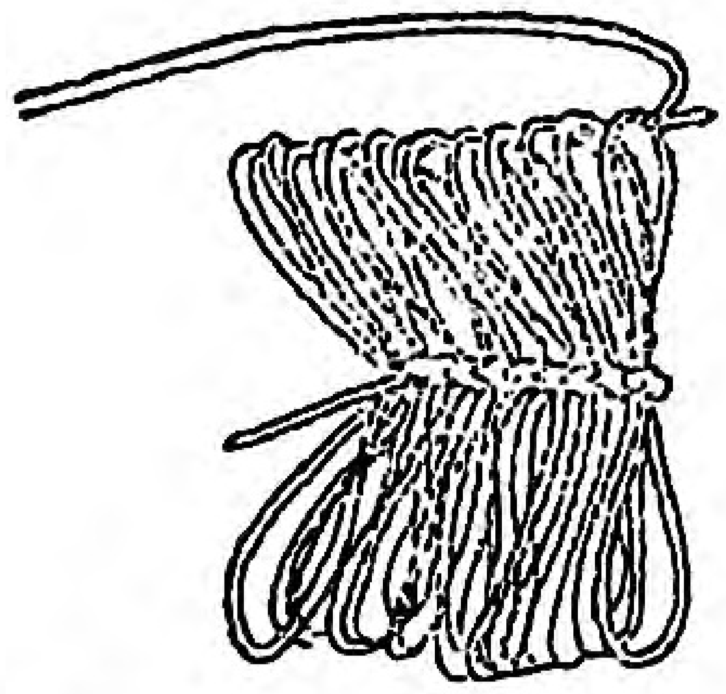
三、次に今編みました曲金編の兩方の輪をこま編で付けてゆきます。即ち第九圖のやうに、第一の輪に曲金編と同じ色のあな絲を引き返しに結びつけ、その輪の中に第十圖の如く編針を通し、次に第二の輪の中から、向ふの絲を引き出し、編針に二つの輪がかゝりましたなら、短編のやうにつけ、今度は第三の輪の中へ鈎針を入れて、段々に編みつけてゆけばよろしいのです。第十一圖から、十三圖までを參照

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

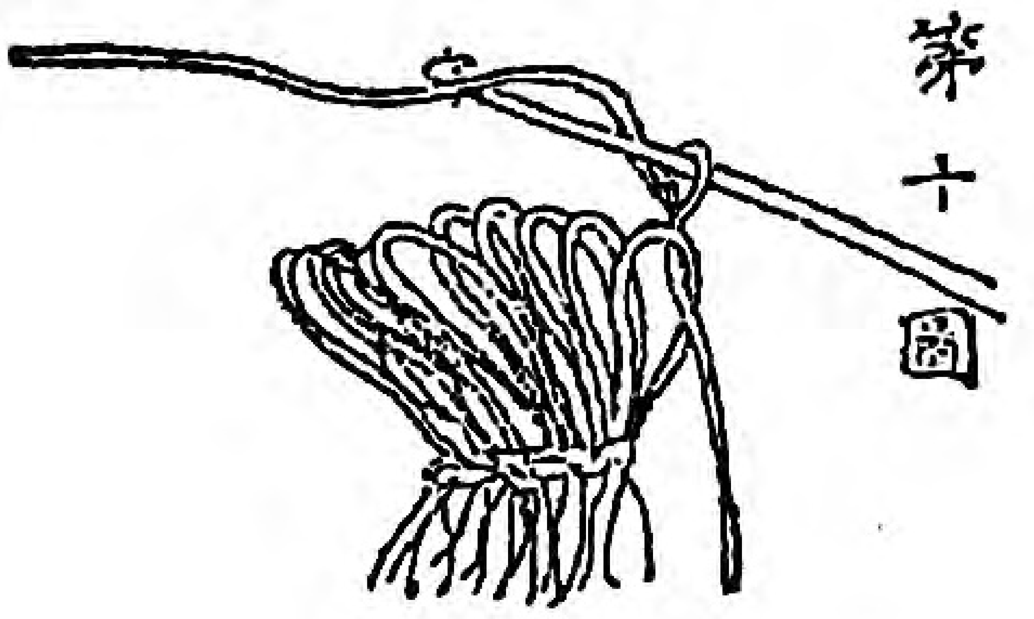
第八圖



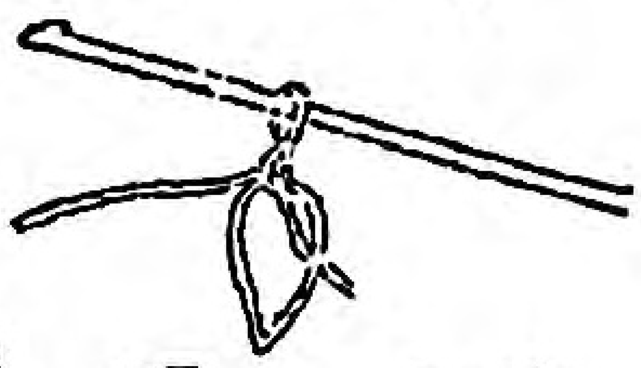
第九圖



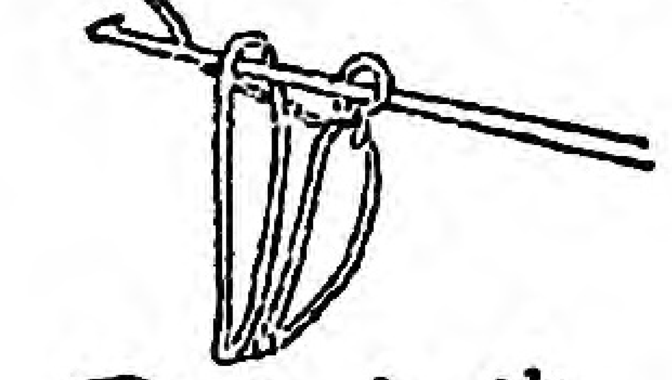
第十圖



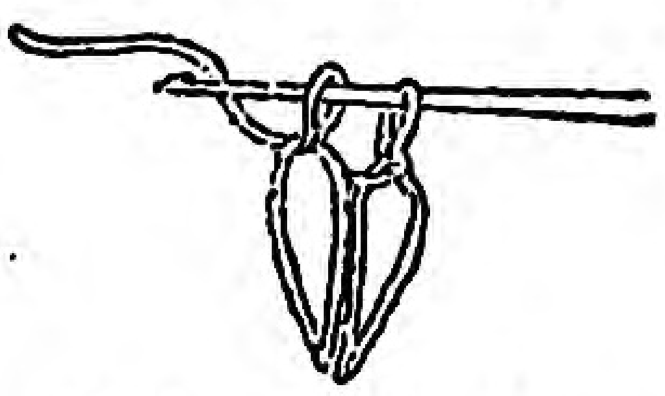
第十一圖



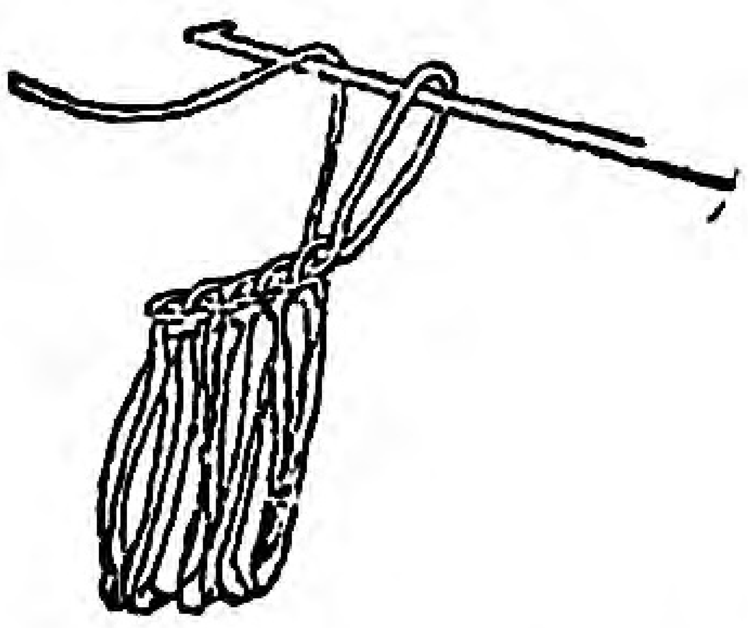
第十二圖



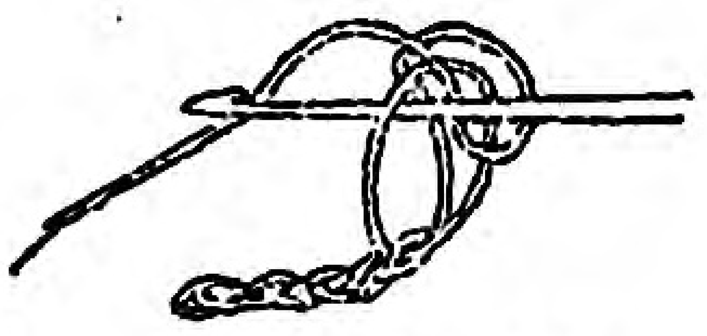
第十三圖



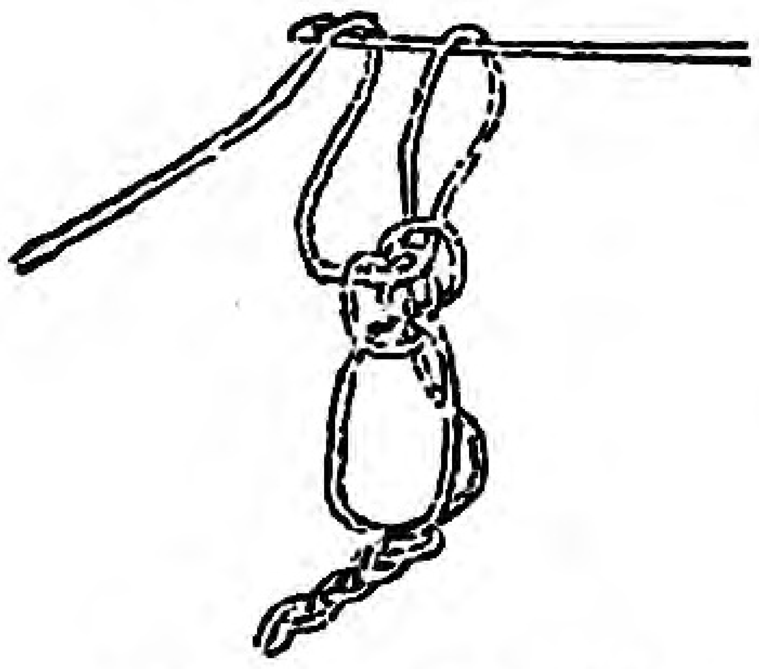
第十四圖



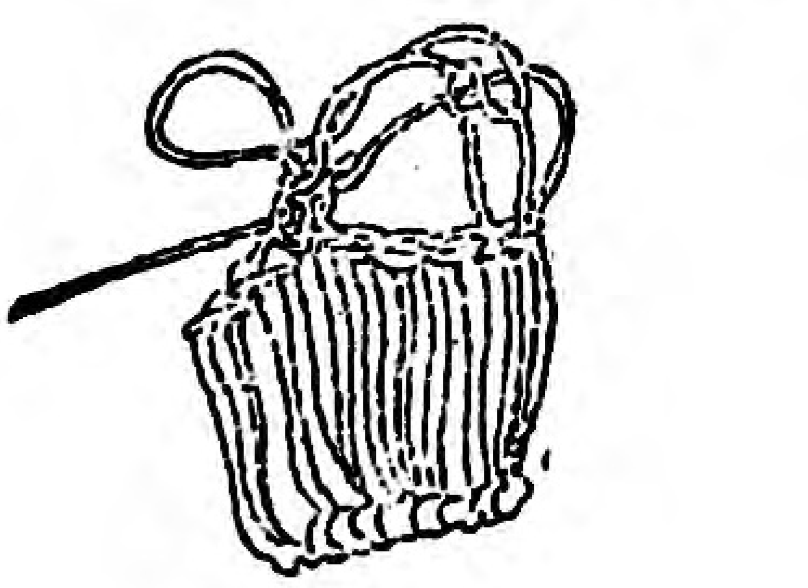
第十五圖



第十六圖



第十七圖



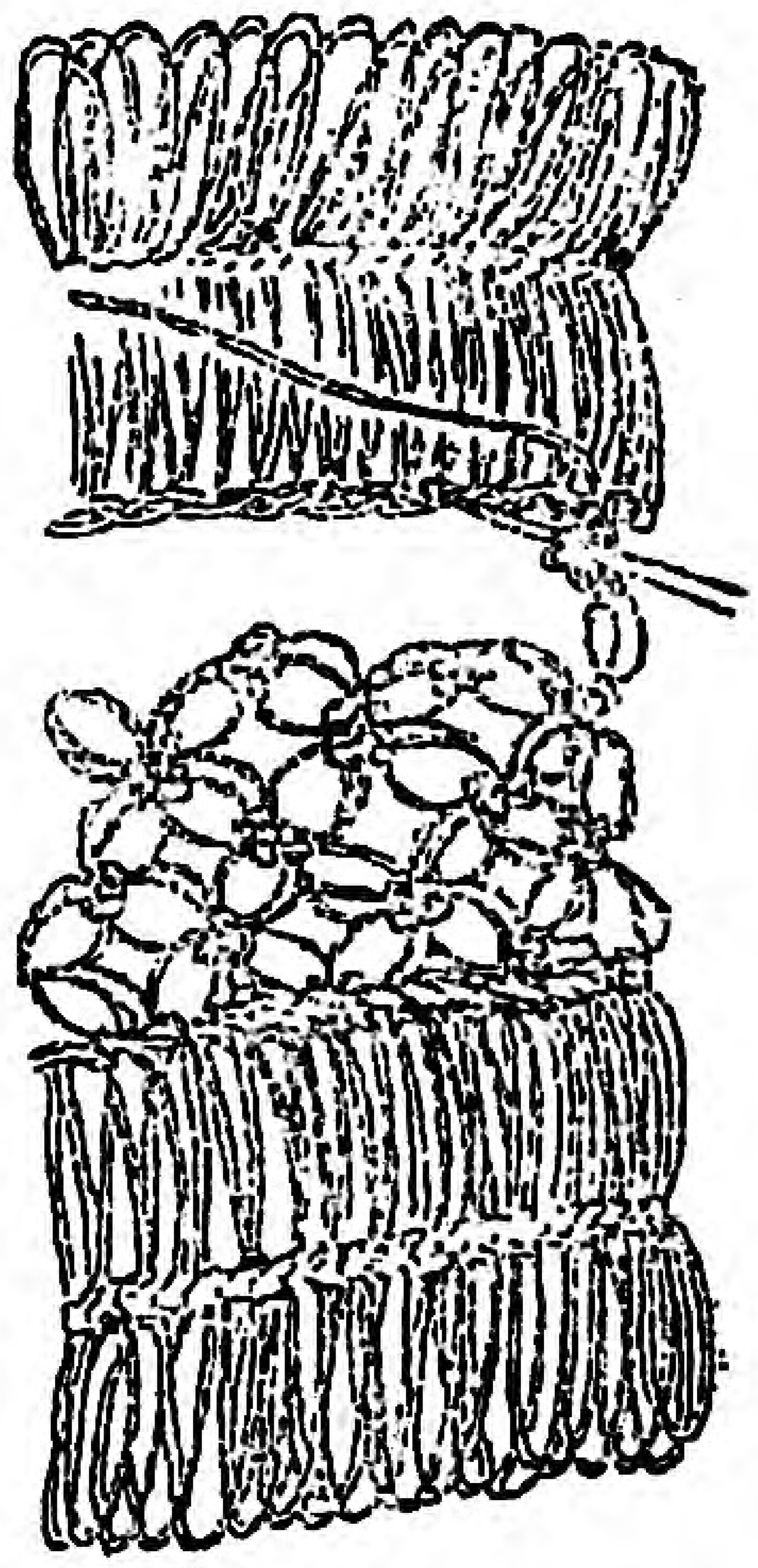
なさいましたならばよく御解りになることゝ存じます以上の様にして三本とも兩方をこまゝ編で編み付けて了ひます。曲金の輪が隨分澤山ありますので、よく編み落しをしたり、撚れたまゝ編み付けたり致しますから注意して下さいませ。

次に第十四圖から、十七圖までに見えます樣に、こまゝ編の初めに大きく輪を一つ編み、次に向つて絲を輪の中にぬきますと、輪の二本と、今の一本とが交りますから、その交つた所へ第十五圖の樣に鈎針を入れてこまゝ編で止め、又大きな輪を作つて、前と同じ樣にしてこまゝ編で止めます。次に第十七圖の如くにこまゝ編五つ目にこまゝ編で止めます。而して二段目からは前段の七寶の頭へ頭へと、こまゝ編で止めてゆきます。これを四段繰り返して、七寶編の五段目になりました時、曲金編を編み付けます。

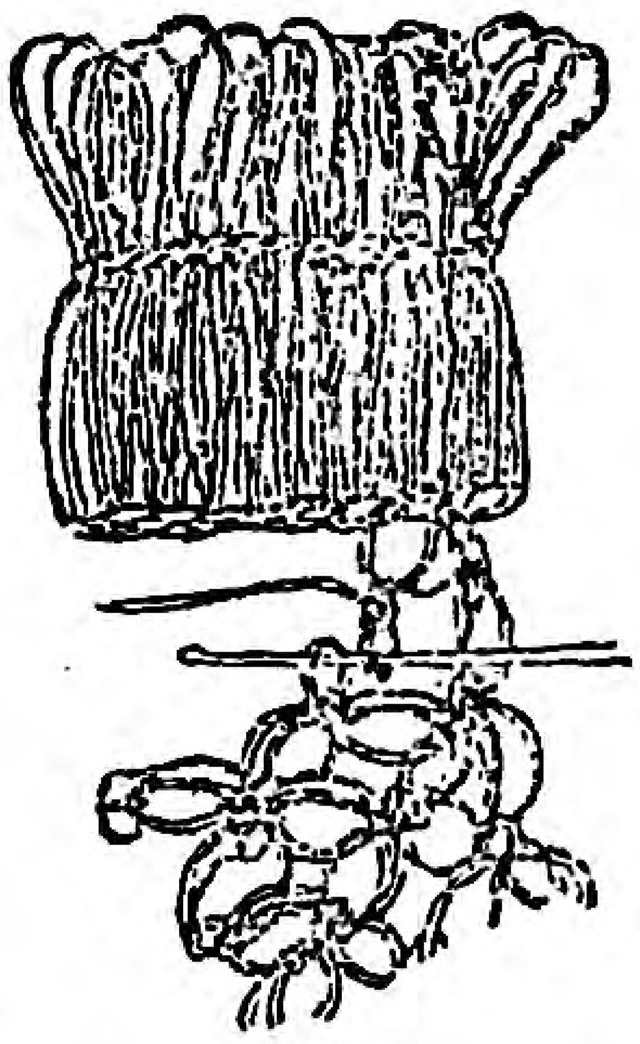
五段目で七寶編を半分編みましたならば、第十八圖のやうに曲金編の最初へこまゝ編で止め、又七寶編を半分編んで、前の段の七寶のこま編で、第十九圖の樣に止めます。斯うしてだん〳〵に曲金編と七寶編とを編み付けます七寶を曲金編に編み付けます時は七寶の初めと同樣に、いつでも五つ目五つ目に止めてゆきます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

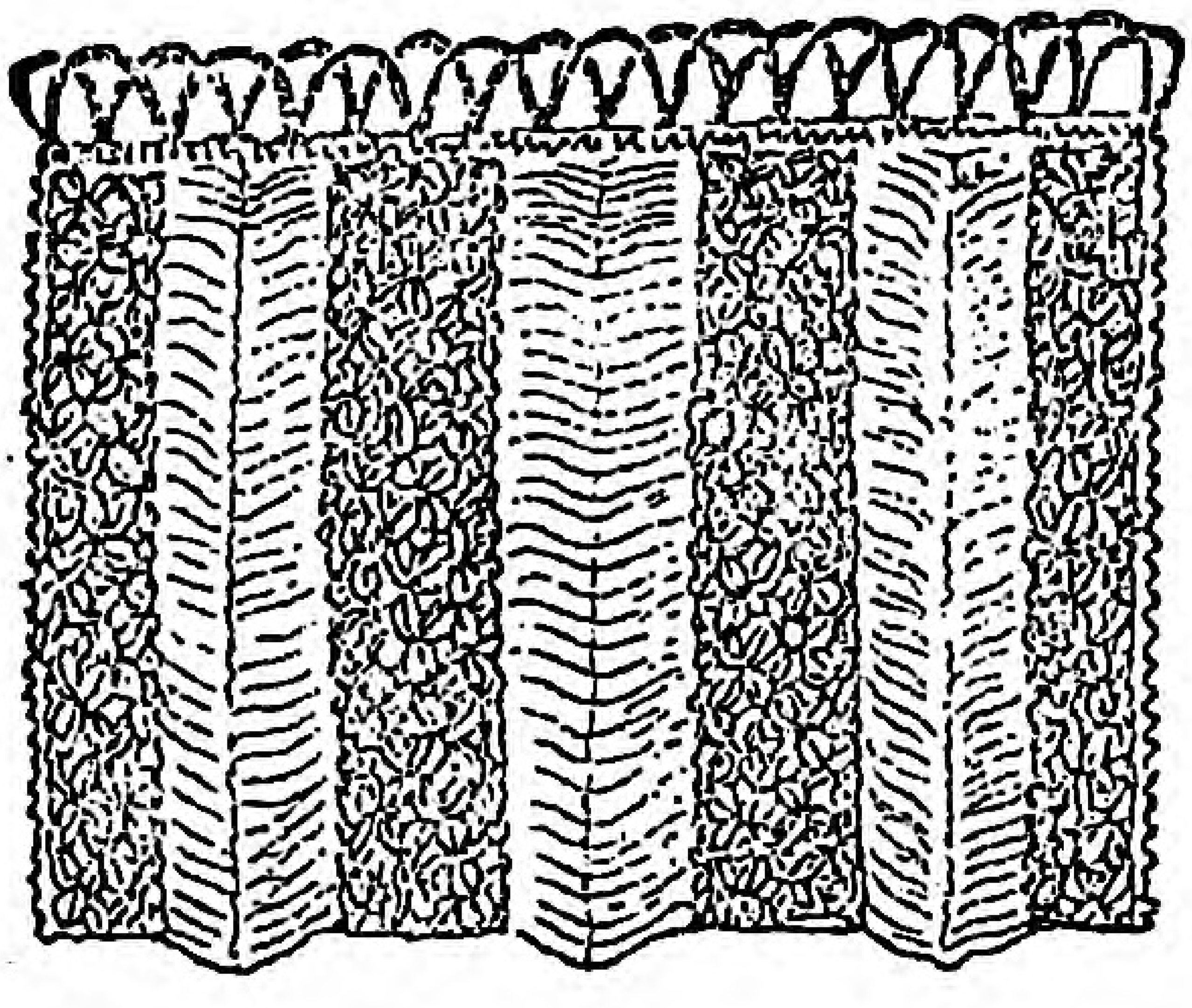
第十八圖



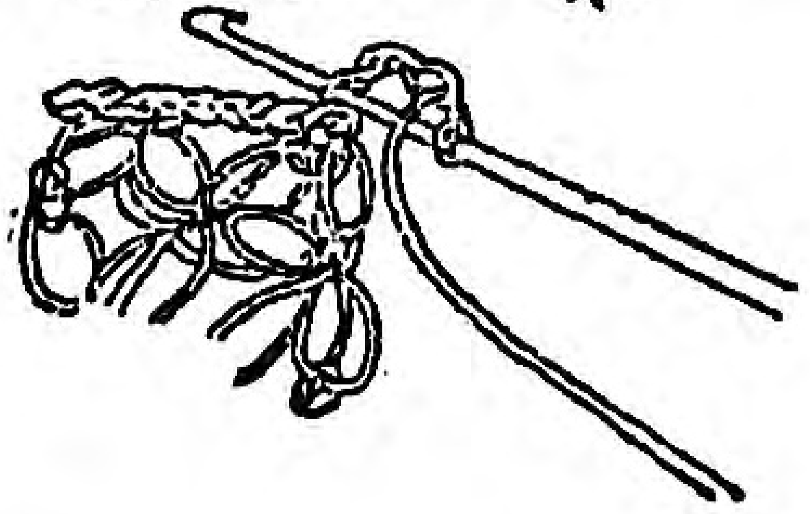
第十九圖



出來上り圖



第二十圖



以上の樣にして三本の曲金編をつなぎ、左右の曲金編へも七寶編を五段づゝいたしまして、眞二つに折つて左右を編んで袋にいたします。

三、袋編の仕方は、先づ七寶と七寶との頭を合せてこま編で止め、次に鎖編を五つして、次の七寶の頭へこま編で止めます。斯うして終りまで編みましたなら裏へ返して、こま編を一段編みます。第三段目には鎖を三つ編んで、その鎖の根元へこま編で第二十圖の樣に止め、一つ置いてこま編で編み付けます。次は又鎖の根元で止め、一つ置いた次へこま編で前と同じやうに止めます。

これを一段いたしますと、袋の一方は出來上りました。他の一方もこれと同樣にいたします。

四、最後に上の飾を作ります。これは一番端へこま編を一つ編んで、鎖を五つなし、七寶の頭へこま編で止め、鎖を五つしては七寶の頭へ鎖で止めます。七寶編の分は全部これでよろしいのですが、曲金のところは、鎖を八つして曲金編の頭へこま編で止め、一廻りして、次に三つ鎖を編んで長編を一廻りいたします。つまりこま編が二つ續くことになります。次にはこの鎖の中に凡を二十ほどこま編を入れて終りといたします。

以上で袋は全部出來上りましたから、裏用布を出し、表袋よりは幅五厘程せまく縫つて、長編の部分へなるべく絲の見えない樣に縫ひつけて紐を通すのでございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

故天野藤男氏君記念事業

故處女會中央部理事天野君前途有爲の才を抱いて神奈川縣平塚病院にて長逝せられ、其後郷里靜岡縣庵原村に於て盛大なる葬儀を行はれたのであるが、故人の功績に對し紀念事業の樣なものを催して故人の靈を慰めたいと云ふので發起人に於て溢般各位に御贊助を乞ふたのであるが、發表日淺きにも不拘左記の如く有志諸賢の御同情を得たのは實に感謝に堪へぬ次第である。

今後層一層御同情ある皆さんの後援に期待し一日も早く初期の目的に到達せん事を偏に希望する次第である本號締切迄に贊同せられたる方々は左の通りである（小込順）

金額	所屬	氏名
金拾圓也	東京市電氣局長	長尾半平君
金壹圓也	愛知縣北設樂郡長	井上一君
金壹圓也	角道獎勵會理事	木戶正榮君
金拾圓也	警視廳外事課長	池田清君
金參圓也	帝國教愛國本部	三輪政太郎君
金壹圓也	長野縣處女會員	北村けさい君
金參圓也	中央報德會講師	村田宇一郎君
金參圓也	同上參事	上村仙七郎君
金參圓也	同上囑託	近江匡男君
金參圓也	內務省社會局	伊藤良藏君
金拾圓也	內務省社會局長	田子一民君
金參圓也	巢鴨家庭學校長	留岡幸助君
金壹圓也	神奈川縣吉濱村	東武臣君
金壹圓也	愛知縣一ノ宮町	眞野義希君
金五圓也	東京芝高輪南町	巖谷季雄君
金貳拾五圓也	東京 侯爵	德川賴倫君
金壹圓也	日本國民禁酒會	下城義三郎君
金貳拾圓也	朝鮮總督府秘書官	守屋榮夫君
金貳圓也	茨城縣處女會員	折木せつ君
金五圓也	群馬縣	天笠かつ君（外八名）
金壹圓也	女子大學櫻風會	仁科節子君
金壹圓也	同	山小欣子君
金貳圓也	兵庫明石市助役	深野一道君
金壹圓也	內務省社會局	柏村眞三君

金額	所屬	氏名
金拾圓也	文部省事務官	乘杉嘉壽君
金參圓也	東京府社會主事	長澤則彥君
金參圓也	內務省社會局	相川良雄君
金五圓也	貴族院議員	北條時敬君
金參圓也	內務省社會局	生江孝之君
金拾圓也	鹿兒島縣知事	中川望君
金拾圓也	內務省事務官	田中廣太郎君
金貳拾圓也	帝國親愛隣館事	山川衣吉君
金五圓也	同	大越小次郎君
金壹圓也	福島縣梁川町	豊島細一郎君
金拾圓也	京都伏見十六社	人見喜三郎君
金五拾圓也	滿鐵會社々長	早川千吉郎君
金參圓也	東京女子高等師範	下田次郎君
金壹圓也	靜岡縣中郷村	大村三枝君
金貳圓也	東京市日本橋	加藤よし子君
金拾圓也	宮內書記官伯爵	二荒芳德君
金貳圓也	日本橋區馬喰町	後藤清太郎君
金壹圓也	靜岡縣庵原郡飯田	高瀨正昇君
金壹圓也	神田區秋山方	渡邊隆二君
金壹圓也	山口	內石尚一君
金壹圓也	北海道	齋藤清川君
金壹圓也	大分	原田千幾君
金五圓也	神田區錦町	宮下軍平君
金壹圓也	愛知縣津島町	山田せい子君
金壹圓也	京橋區采女町	浦島琢郎君
金貳圓也	靜岡縣庵原村	西ヶ谷可吉君
金貳圓也	內務省參事官	後藤文雄君
金拾圓也	日本橋大倉書店	大倉保五郎君
金壹圓也	京都下條內村	飯田虎雄君
金壹圓也	赤坂靑山南町	月田藤三郎君
金壹圓也	長野縣平野村	降旗サトミ君
金五圓也	明治製版所	川田佐門次君
金參圓也	府下西巢鴨町	須田鶴吉君
金壹圓也	長野縣樹村	宮下幸夫君
金壹圓也	神奈川縣橋本村	橋本岐女舍君
金五圓也	內務省衞生局長	潮惠之輔君

金額	所屬	氏名
金參圓也	內務省囑託	今井兼寬君
金五圓也	大阪市役所	鈴木三八君
金壹圓也	東京澁谷町	牛山壽吉君
金貳圓也	內務省社會局	福原誠三郎君
金參圓也	埼玉縣浦和町	岡村準一君
金貳圓也	內務省地方局	高川榮三郎君
金貳圓也	山口縣山口町	篠崎篤三君
金貳圓也	內務省社會局	伊藤隆術君
金壹圓八拾錢	佐賀三田川村	中本田龍水君
金壹圓也	滋賀蒲生郡役所	保木義雄君
金參圓也	處女會中央部	松崎ひろの君
金拾圓也	赤坂區檜町	婦人矯風會君
金壹圓也	青森會田村	小田大興兩君
金貳圓也	埼玉縣三澤村	玉谷又子君
金壹圓也	群馬縣前橋市	齋藤熊夫君
金參圓也	內務省囑託	牧野虎次君
金參圓也	廣島縣千年村	山本瀧之助君
金參圓也	東京博物館長	棚橋源太郎君
金壹圓也	熊本縣坂瀨村	宮崎重三君
金壹圓也	島根縣北原村	玉木福市君
金壹圓也	岐阜縣富之保村	島川敬三君
金壹圓也	東京淺草馬道町	鶴岡米子君
金參圓也	小石川豐川町	田中芳子君
金五圓也	靜岡富士沢郡村處女會	影山勝君
金壹圓也	東京神田南神保町	秋山鹿郎君
金五圓也	東京京橋區山下町	峰田一步君
金參圓也	岐阜縣惠那郡蛭川村	川井兆二君
金壹圓也	日本國民禁酒同盟本部	永山來君
金五十圓也	宮城縣伊具郡東根村	村上得郎君
金貳拾圓也	東京女子醫學專門學校長	吉岡彌生
金五圓也	女子高等師範學校教授	市守ふみ君
金貳拾圓也	山脇高等女學校長	山脇房子君
金貳拾圓也	實業家	高野重三君
金拾圓也	東京本郷元町二ノ六	六川所楠猪君
金五圓也	大妻高等女學校長	大妻コタカ君
金壹圓也	市外千駄谷	黑政てる子君
金壹圓也	福島縣若松市大龍寺	町田要洲子君
金壹圓也	島根縣岐斐村	錦織賢三郎君
金壹圓也	宮城縣栗原農學校	佐藤熊吉君

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一金五圓也	本郷區蓬萊町七	伊藤文子君
一金貳圓也	靜岡縣小山町	朝倉作人君
一金壹圓也	芝區岡尾町	太田儀三君
一金參圓也	日本青年館	座間止水君
一金五圓也	兵庫縣社會課	小田直藏君
一金拾圓也	處女會中央部	福島四郎君
一金壹圓也	埼玉縣新郷村	荒井ろく子君
一金五圓也	四谷區三光町	竹內茂代君
一金貳圓也	小石川區御殿町	青地忠三君
一金圓也	島根縣神原村	錢紙市藏君
一金五圓也	朝鮮總督府	丸山鶴吉君
一金參圓也	日本橋區馬喰町	山岸三之助君
一金參圓也	牛込區藥王寺町	近藤行太郎君
一金參圓也	青山北町六	下田歌子君
一金壹圓也	群馬縣木瀬村	深谷賢俊君
一金貳圓也	淀橋町角筈	安井哲君
一金壹圓也	三重縣廳	奧田大二君
一金五圓也	警察講習所長	松井茂君
一金壹圓也	福岡縣東村山	熊川勇藏君
一金貳拾圓也	日本國民禁酒會	青木庄藏君
一金五圓也	處女會中央部	大江すみ君
一金貳圓也	本郷區丸山新町	棚橋絢子君
一金壹圓也	三重縣富田町	大對しづ君
一金壹圓也	廣島縣賀永村	高田義尹君
一金參圓也	內務省社會局	井上良三君
一金壹圓也	神奈川中津村	柳川經子君
一金壹圓也	同縣佐野川村	大神田ツノ君
一金壹圓也	靜岡縣賀茂郡役所	野中岩藏君
一金壹圓也	本郷駒込林町	石田傳吉君
一金拾圓也	實業之日本社長	增田義一君
一金五圓也	新潟縣柏崎町長	谷川諦巣君
一金拾圓也	神奈川保土ケ谷	工塲處女會君
一金壹圓也	埼玉縣菅川村	仲ツネ子君
一金貳圓也	栃木縣河內郡長	入江操君
一金壹圓也	神田區南神保町	福岡易之助君
一金壹圓也	山口縣王司村	河田茂馬君

合計金五百八拾七圓參拾錢也

日本教育者協會第二回

夏期講習會

會場 東京市外荻窪 有馬農園

期日 自八月一日 至八月六日 六日間

講習要項及び講師

一、教育（四時間）講師 帝國大學助教授 阿部重孝

一、社會（四時間）講師 早稻田大學教授 北澤新次郎

一、思想（四時間）講師 帝國大學教授 吉野作造

一、文藝（四時間）講師 早稻田大學教授 吉田絃二郎

一、科學（四時間）講師 中央氣象臺 藤原咲平

一、哲學（四時間）講師 交渉中

會費及び申込規定

一、會費金四圓 一、申込期日八月二十五日迄

注意―申込手續

1 住所氏名職業を記すこと

2 會費四圓を振替貯金を以て本會事務所宛送附すること

3 會費領收證は會費の受領と同時に送附する

4 會員は講習の第一日に會費領收證を受付に示し會員徽章を受取ること

人員及び宿泊

會員は五十名に限る

但し三十名に限り會場に宿泊の便あり

注意―宿泊希望者は會員申込と同時に實費（一日分二圓）を添付して申込まる事

申込場所

本會事務所宛

東京市神田區鍋町拾壹番地

日本教育者協會

電話神田三九三〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大妻技藝學校第八回夏季講習會

一、會場　東京市麹町區上六番町七番地　大妻技藝學校
電話九段二八〇番二二二五番
振替東京三一六〇九番

和服裁縫　自七月廿二日〔至八月廿五日〕午前七時半より午後三時まで
洋服裁縫　自七月二十二日至七月三十一日　午前七時半より午後三時まで
刺繍　期間、時間、和服に同じ
造花　期間、時間、和服に同じ
編物　期間、時間、和服に同じ
タッチング　期間、時間、和服に同じ
袋物　期間、時間、和服に同じ
摘細工　期間、時間、和服に同じ
絞花　期間、時間、和服に同じ
縫細工　期間、時間、和服に同じ
儀式用折紙水引結方　期間、時間、和服に同じ
壜細工　期間、時間、和服に同じ
生花　自八月四日、至八月廿五日　午後一時より午後五時間まで
盛花　期間、時間、生花に同じ
投入花　期間、時間、生花に同じ
茶の湯　自八月四日、至八月廿五日　午前八時より午前十二時まで
茶煎　自八月四日、至八月廿五日　午前八時より午前十二時まで
割烹　自八月四日〔〕至八月廿五日　普通科午前八時より午前十時まで　高等科午前十時より正午十二時まで
菓子　自八月二日、自八月十五日　午後四時より午後六時まで
作法　自八月二日、至八月十五日　午後四時より午後六時まで
マッサージ　自七月廿二日、至八月廿五日　午前午後隨時個人教授
講習料　五圓
一人凡三十分、十日間修了

絞染夏季特別講習會

例年の個人教授を廢し、左の各項により特別講習會を開催致します
講習料　普通科高等科共金參圓
染料助劑實費、普通科壹圓、高等科一圓五十錢
材料晒木綿一丈シス又は羽二重二（白又は無地新古を選ばず）尺以上五尺まで三本、針鉄、カタン二十番

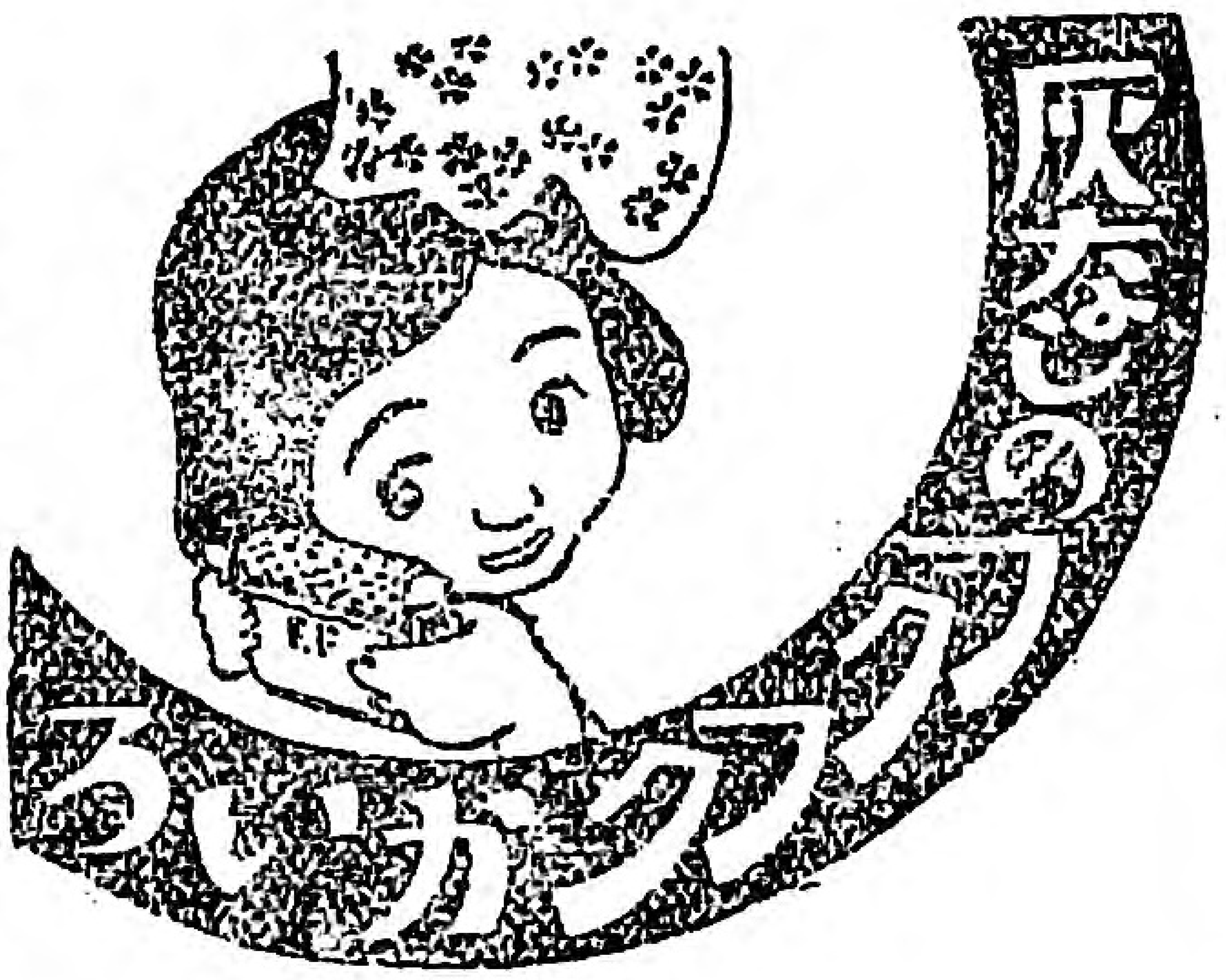
講習料　何れの科も普通科金貮圓八十錢高等科金參圓參拾錢外に雜費凡二十錢
各修了日数　各科共各々豫定はありますが個人教授でありますから勉强次第で早く出來ます
材料　御持ち合せの物は御持參下さい無い方は校内の階成會（校友會名）供給部で御讓り致します。
入會申込　入會金は要しません、個人教授でありますから何時でも入會が出來ます。申込用紙は本校に準備してございますから希望の科目を記入して御入會の日までに御出し下さい。
講習證書　細目の終つた方へは差上ます。
本會の特徴　本校は常に裁縫、手藝を個人的に教授致して居りますから何時でも希望の物を學ぶ事が出來る樣になつて居ります。講習會も此の主義に基き個人教授を致します。講習期間と日々の時間とが永がうございますから、何科目でも希望が出來ます。又他の講習會に御出席の餘暇に來られても或は遲刻、早退、缺席等がありましても期間内に細目の全部を修了することが出來ます。萬一細目の殘つた場合は期間後に教授致します。
夜間講習　八月一日より廿五日間摘細工、壜細工、編物、絞細工、儀式用折紙並に水引結方等の各科は晝間の講習と同樣に教授致します。
寄宿　食費、會費、電燈、風呂等一切で一日金八十錢、夜具自辨（持參なき方は借りる便があります）
本校所在地及注意　遠方の方は當地何れの驛に御着きになりましても御荷物の配達を驛に托されて電車で九段靖國神社横富士見町までの切符を買ひ求められ下車して南に二丁程の坂の途中でございます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

蒙高貴の御買上

夏冬使へる不思議の懐爐

灰なしフクフクカイロ



保温器と醫療器を兼ね而も七ッの不思議を備ふ

保温廿餘時間

七不思議

灰なしにして……科學的

醫療用として……衛生的

消耗僅少にて……經濟的

安全簡單にて……合理的

堅牢優美にて……永久的

價格至廉にて……理想的

點火たら消ぬ……壹晝夜

製造發賣元

カイロ 壹個 金壹圓五拾錢 送料書留金拾八錢

傳熱板 壹個 金貳拾五錢 送料書留金拾八錢

東京市神田區淡路町二丁目四番地

滿韓送料書留金五拾錢

福々堂

電話 神田二九七一番 (長)神田三九〇一番

振替東京一三四五〇番

北海道支店

函館區蓬萊町百五十五番地

福々堂函館支店

電話二二四八番

○御注文の節は「處女の友」の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

處女會中央部編

◈四六判紙裝頗美本

最新刊

これからの處女の爲めに

上下二卷五百餘頁
上、下各冊
定價金壹圓參拾錢
送料各金拾錢

目次概要

（上卷）

開會の辭　山脇高等女學校長　山脇房子

婦人問題概觀（細目九十一節）　成女高等女學校長　宮田修

歐洲處女の節制問題　宮内省御用掛兼内閣内務省囑託　國府種徳

處女の修養（細目二十一節）　三輪田高等女學校教頭　三輪田元道

所感　陸軍中將　堀内文二郎

處女會と補習教育（細目三十節）　文部省社會教育課長　乘杉嘉壽

頽廢思想を戒む（細目十四節）　東京女子高等師範校長　湯原元一

處女の貞操（細目十五節）　基督教婦人矯風會總幹事　久布白女史

處女會について（細目二十三節）　内務書記官　大野綠一郎

處女會の幹部養成（細目十五節）　處女會中央部評議員　山本瀧之助

（下卷）

處女生活改善（細目三十節）　東京女子商業學校長　嘉悅孝子

衣食住の整理及改善（細目二十六節）　東京女子高等師範學校教授　市守ふみ子

食物と健康（細目十六節）　醫學博士　二木謙三

性と結婚（細目六十節）　醫學博士　永井潛

婦人の衛生（細目五項）　東京女子醫學專門學校長　吉岡彌生

本書の内容は目次に示したる如く專門諸大家の尊重すべき研究と、讃嘆すべき金玉の講演とを蒐輯したるもの處女の教養と指導と誘掖に對しては、眞に空前の一大寶典と稱すべきものなり。苟くも日本現代の處女に對する要望と期待とを明白にする外、一般處女―殊に日本處女の特質に就て、細大洩らすところなく論評し言說して餘りあるもの、實に無二に珍書として、本院は茲に至大の滿足と誇りとを以て江湖諸彥に推獎するものなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

地方通信

群馬縣吾妻郡坂上處女會情況

黒岩せい子

私共は坂上婦人會と稱して永い間活動して居りましたが、今年四月改名處女會となりました。會員二百名を有し、會長は村の小學校長、副會長は會員より選びます。本會の重なる事業としては老人慰安副業品々評會開催(毎年三月上旬に行ふ)講話會及講習會を開催して女子に必要なる智德を授くる事毎年十月三十日には青年會及在郷軍人分會小學校と合同して大運動會を擧行當日は村内七十才以上の老人を招待して老人及父兄來賓等會場の世話は各手分けにて接待の勞を取り、尚老人來賓の辨當(四百人)は一切會員の手にて調理し、尚紀念品迄造りて老人に贈るのであります。元來交通不便の此の土地では、山野の自然を友として働くより外に樂しみの無い村民は、年中行事の一として一番樂しみにして居りますが、中にも九十才以上の老人が、七十才の子に手を引かれて來るなぞ、實に美しいものです。此の外青年會と合同にて、社會教育主事や農事試驗場長や、警察署長其の他名士の來村を乞ふて、時折御講話を承る事年に數回、是等は、本會の事業の大半に過ぎませんが、尚會は支部を各大字に置き、五支部に分ち、私共は須賀尾支部員で有ります。

昨年七月青年處女指導員の方が、本村會員の戸別指導に參られし折、御所御發行の處女の友が、實に我等の讀物に適當して居るからと勸められましたので、今日では大分愛讀者が増加して居ります。

御書の尊きみ教へは、必ず私共に大なる力強さを授けて下さる事と思ひます。私共の會では、春秋の諏訪神社祭典に際し、手藝品の販賣をなし、又春の園遊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

會等賣店にて得た利益金で、敬老會をやり一方には老人を慰め、且つは講習にて覺えたる料理や作法の實習を怠りません。

尚昨年六月十日の時の紀念日より時間尊重し、定時を勵行するため、毎月十日午前四時會員一同神社に集合し、社前を掃除したる後、會談一時間にして、各々家路に着きます。尚規約貯金をして紀念事業とし、毎日餘暇を利用して、必ず十頁以上の讀書をなす事になつて居ります。又會員は農繁期中は交る〳〵午前四時起床の知らせをして村内を宣傳して居ります本年も十日の紀念日に宣傳ビラを各戸に配布し、當日を紀念するため、敬齒會を組織し、口中を清淨にするため毎夜(うがい)をする事每朝新呼吸をする事等決議しました。

私どもの集ひ

神奈川縣高座郡相原村小小　霧生孤蝶

純眞な青年と處女の大同團結——それはあらゆる思想の渦巻く農村に、吾々若き人々がお互に仲よく提携し、愛しあつて、團結し、そして共に、修養の完成に勉めると言ふことが、實に美しいものであり、又吾々の理想であります。然し斯うして青年と處女とが、一つに修養する機關のないのを非常に悲しみまして、數人の友と相談して、三年ばかり前、旭同志會と言ふ、修養本意の會を立てゝお互に、勉強して居ります。會員は僅か五十名ばかりですが、皆一致した同志の集ひに、言ひ知れぬ歡喜を味ふことが出來ます。廻覽雜誌は、女子部に本誌を男子部に帝國青年及び青年公論を愛讀して居ります。其他諸種の修養會の開催、又機關誌として、毎月會員投稿の文藝雜誌『曉聲』を發行致して堅實な精心の修養に勉めたいと、心掛けて居ります。

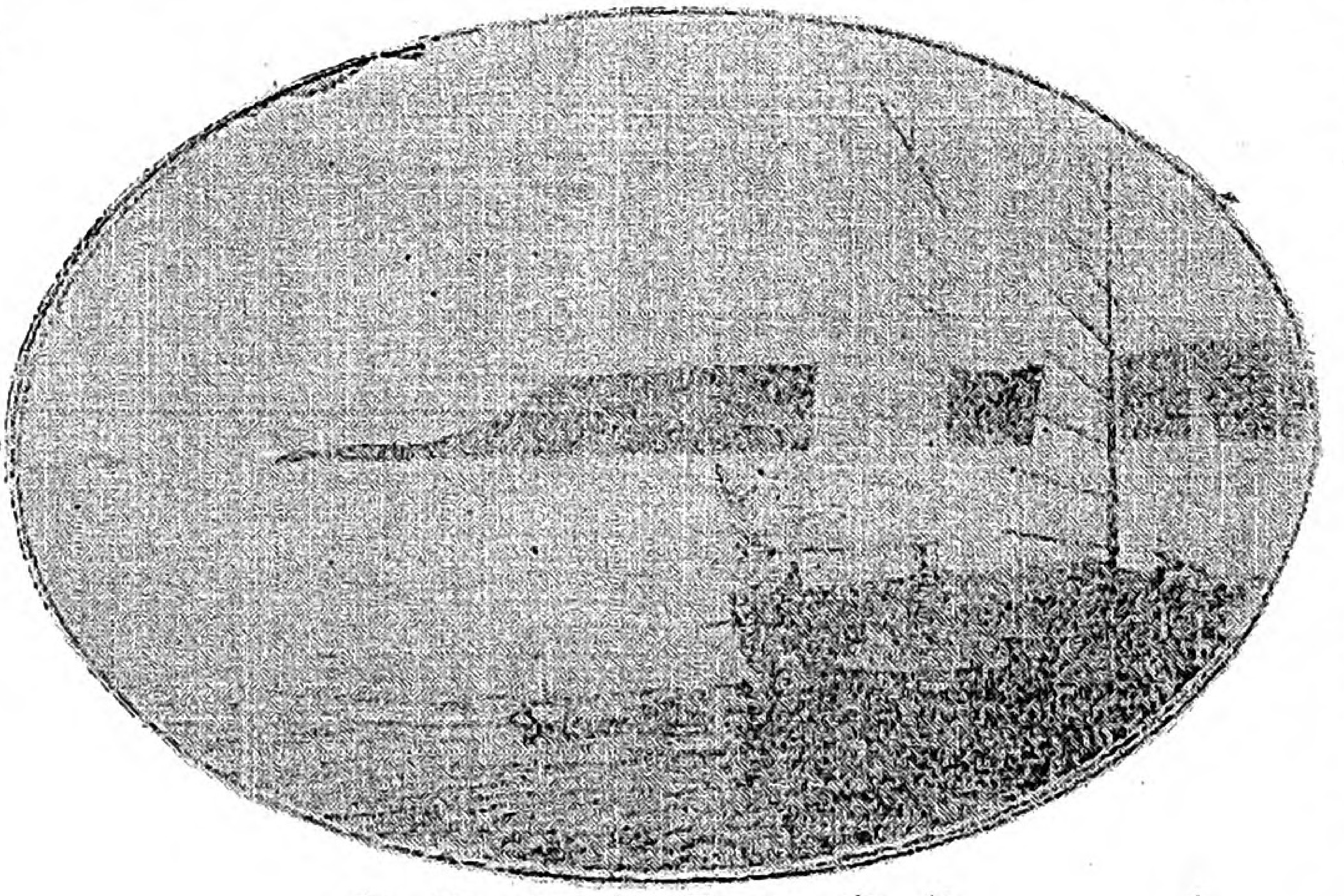
處女會に對する私の希望

福島縣安達郡杉田村　梅津みや子

私が考へますに、目下の處女會なるものは、餘りに自覺して居ない樣に見えます。極端なる言分では、御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

座いますけれども、無意義な點に力こぶを入れて居るのではないかと思はれます。形式に走つて、實質の件はない樣に見受けられます。矢張り、女の短所としての、虛榮にあこがれてゐる傾向を脱しない樣で御座います。所謂、靈的處女會とでも申しませうか。不束なる私には、思ふ事を十分の一も述ぶる事は出來ませんが、目下の地方處女會が、行ふところの靈的活動を、將來主婦として、將人妻として、立たんとする女子の爲めに、涙なきを得ないわけで御座います。處女會の目的が何であるかなど丶、今更、喋々、理屈らしい事は申しませんても、處女會の指導者たる方々は、旣に御心得の事には御座いませうが。併し乍ら本末をあやまりたる方針の下に、將來の幸、不幸を、念頭に置かず、再び來らざる處女の誇を、無意義に暮して居る方々は、誠におはれな御氣の毒な人達と思ひます。今地方處女會の、概況を見ますに、眞の處女會としての目的に向つて自覺ある活動をなしつ丶あるものは、誠に少ない樣に思はれます。例せば旅行をしたとか、御料理の講習を始めたとか、其の他殆ど虛榮、賣名的のみと申しましても、あえて過言ではなかろうと思ふくらゐで御座います。抑も、旅行とか、料理、其の他の賣名的なる行ひを以つて、處女會の目的と誤解する樣では、斯會の發展上、誠に寒心にたえないわけでは御座いませんでせうか。右申しました點も、あながち、惡いと申すのでは、御座いませんけれども、之等を、第二位となし、



月夜の屋島古戰場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

第一位として、眞に處女會の目的としては、主婦として、將來夫と共々に、勞苦をなさんとするについて、如何なる心得がなくてはならぬか、良人をえらぶにしても、如何なる人が好いか、又は應用心理學等の方面より、嫁きたる上について、取る可き方法等、之等を第一位として、指導者たる方が、御敎へ下さらば如何に有益なる事で御座いませう。青年團員と異なり、モト〳〵處女會員なる方々は、長期間に渡つて、活動の自由を有して居るのではなく、僅かに、數年間で御座います。夫も農村にをきましては農閑を利用して集會するので御座いますから、仲々容易なる事では御座いません。此の僅かの年限、否期間を利用する際、單に遊戲的な、無意義なる活動は、大いに排斥したいと思ひます。

敬老會

静岡縣富士郡加島村平垣支部

私共支部の敬老會は四月三十日松永會長樣の御邸宅で開會致しました。

御老人方に樂しい一日を過して戴く、これが本會の趣旨で、物よりも心、耳よりも目と一同方法に苦心しました。

當日は生憎雨天で如何かと案じましたが、區内の御老人二十名は出迎係に手を携へられて喜んでお集り下さいました。

松永支部長の會の趣意を述べての挨拶に、續いて松永村會議員高橋副會長鑓田幹事などの方々の祝辭がありました。

餘興は小學兒童の笹舟鬼が島の無邪氣な遊戲に初まつて、次は私共が熱心に練習しました對話魂の入替の番でした。野の幸の唱歌で紅白の膜は開き、田舍と都會との處女が互に他の境遇を羨望して凡てを交換して見たが滿足が得られない、友人の忠言に醒めて眞劒の自己に立ち歸つた。そこに尊い自己の天地の開けて居ることに氣づくと云ふ筋で、案じた程もなく一同から稱贊の辭を賜つたのは何より嬉しくありました。靜岡

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

からお招きした、萬年照井先生名譽會員松永まう子樣支部長との三面のお琴高砂で笑ひ興じた御老人も緊張しました。再び小學生の日夜の兎星とで御老人方も少年少女の樂しかつた時代の聯想に若返りました、次で靜肅な琴曲萬年先生會長松永久仁子樣支部長の矢張り三面で千鳥を彈奏されました、流れ出る妙なる調を聞漏すまいと一同耳を欹てました。會員佐藤うた子さん活人畫兒島高德は見事の出來ばへですし、番外餘興の會員全部の假想行列の奇拔なことには笑ひこされませんでした。單調と野卑に陷るまいと苦心しました餘興も一同の喝采を博して終りました。

記念撮影、晩餐、紀念品贈呈も濟みまして幹事が謝意を述べて會を閉じました。

「ほんとうに面白かつた。」「生き伸びませうよ。」などと御老人方の御滿足の體を拜見しまして會員は目的を達しましたことを喜びました。

女先生の死

宮城縣刈田郡宮町小學校訓導小野さつき(廿二)氏は去る七日受持の生徒をつれて校外教授のため河邊に行きました。處がその中の三人の生徒が水に溺れたのを見て、急いで飛び込んで二人を助け、殘りの一人を救はうとした時に力が盡きて遂に自らも死にました。

佐々木東京市視學はこの事變を聽いて直ちに同地に行き左のやうな土産話を持つて來ました、「溺死した子供の父は自分の子が眼のあたり息が絶えてゐるのに、それを顧みず、小野訓導の屍體に取り縋つて「先生濟みません」と泣き叫んだ樣は眼もあてられなかつたさうです。又小野訓導のお父さんは急を聞いて「若し生徒だけが死んで娘が生きてゐるやうでは、世間に對して顏向けが出來ないといふので洗足のまゝ現場に駈付ける途中も、行き交ふ人に其の事ばかり尋ねたといふ揃ひも揃つて見上げた心掛の人ばかりだ」といふ事です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

賞 題夕涼み

埼玉縣比企郡平村　平井初子

涼み臺、それは足の折れ椽臺であつた。私は湯浴みの身を腰掛けた。手に持つ團扇も古びてゐる。月の光に處女の友の頁を繰つて見た。澄み渡る大空は水の如く美くしい。秩父連山の上に白き浮雲の見ゆるのも趣きをそへて居る。紫匂ふ武藏の野、靑垣なせる秩父、山流れは清き荒川の山水ことにすぐれたると私は思はず歌つて見た。鉢植への朝顔の白に赤に紫に、蕾の見ゆるも香ぐはしい。明日は早起きに花咲く樣を見ん等と思ひつゝ、歩みて見れば私の手は露にぬれて居た。見渡せば稻の葉末に宿れる玉水は白く光つて、鳴きしきる蛙の聲もさへ〴〵に耳をついて居る。私は何時か川岸に立つて居た。小川は音もさらさらと流れてゐる。風さや〳〵と猫柳のゆるゝと思へば袂は風に拂はれてゐつた蛙の聲も何時しか止んでゐた。

評、ほんとに床しい夕涼みですこと

神奈川　瀬間千鳥

西空を色どつて居た夕燒も、次第〳〵と押しよせて來る夕暗に包まれて、今はまつたく片影も見へなくなつてしまつた。

風呂から上つてあまり暑いので庭に涼みに出ました、東の森の上に浮み出た夕月は淡い光を庭一面に投げて居る。前の靑田の面を吹いてくる風の心地よさ。蛙は絶へずゴト〳〵と鳴いて居る、ピカリピカリと飛び交ふ螢あゝ何と言ふ詩的な夜でせう。空を仰げばスターは清く輝いて居る。處女の心を暗示するかの樣に……………。

只一人自然の愛に抱かれて涼んで居りました。何處からともなくヴアイオリンの音がかすかに響いて來ます。

評、簡單でよく書けて居ます。

賞外

群馬縣　高橋藤波

母が心配して居た蠶の上簇もやうやく終つたので、重荷を下したような心で湯から上つた。姿はさつぱりした浴衣に着換へて裏庭の方へ涼みがてらに散歩した。ふわ〳〵と輕く袂に吹く夕風が湯上りの紅く上氣した顔にふれる時、言ひしれぬ心地よさを感じながら、石だんを上ると乘れて自分が草を取り水を蒔いて樂しんで居た花園の花菖蒲月見草などが、咲亂れて夕べの色につゝまれ美しさが一しほ目立つて見えた。今日一日の忙しい用がすんだかと思ふと、嗚呼よかつた、と疲れた身を石の上におろした。西邊はすつかり夕暗となつて傍を流れる用水の小瀧のみさら〳〵と夕べの靜けさを破ぶつて響く苦しみの後の樂しみは何んとなく快くなつて「山紫水明の我里よ」と處女團歌の一句を思ひ出して思はず口ずさんだ。

岐阜縣　西尾こと子

むさるゝ樣な晝の暑さで下界を照す大陽も、いつしか西山に沈みました。野も山も一面に黄昏れて汗のにじんだシャツを着た農夫の姿も晝とは似ても付かぬ湯上り姿とかわり、見える物は唯開放した家々の燈火ばかり、聞えるは幼子のほたる呼ぶ聲と蛙の聲ばかりです。私も夕飼を終つて廣々とした庭に涼臺を兄さんと二人で持出して、眠るには餘りに惜しまるゝ夏の夕べの景色を家内中で讃美しました。四方の山は木々は見えぬけれ共只一面に黑くて。たまたま聞へくる山時鳥の聲が一層涼しく詩的に感ぜられます。遥か彼方の惠那山の頂上から清く澄んだ月が半分程浮び出ると、今迄私や兄樣の一向に小供の心をそゝらない世話に、不平を抱いてゐた妹が突然に『あら……お月樣』と叫んだのに氣付いて見ると少し赤味がゝつた雲に包まれて次第に昇つて來ます。『何てきれいな月だらう』と思はず感嘆詞を洩しました。なよ〳〵と吹く風の度に傍の八ツ手がかさ〳〵とすれ合つて、妙な形になつて葉影が地に湧くのです。あらゆる物象が晝とは異つた形となつて目に映るので私の心は晝の疲れも何處へやら此の天然の美自然の音樂に包まれてゐると心も悠然として恰も天國に來て、茫々たる野原に一人立つて居るかの樣急に何とも云へぬ心となつて氣付いて見ると兄樣はあたりには見えぬ。

最早そんなにおそいのかと思ひ乍ら空を仰ぐとさつきまでは澄みきつた月が淡絹をはつた樣におぼろ月となつて雲の切目には星がきら〳〵と輝いてゐた。樂しき農家の夕べを思ふと故郷がなつかしく、まして深み行く初夏の此頃過ぎし日故郷での最も興味ある夏の夕涼みを追想して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

毎晩寄宿室のまどからまんまろい月を仰いで故郷の空を慕つて居ます。

群馬縣　上原よしを

初夏の夕陽。滔々と流るゝ小川の水。吹き來る涼風の心地好き。寄來る波の眺め好き小川の端。噫此の涼風は何處へ。流き流れは何處迄。過ぎ行く涼風の惜しまる、此の初夏。噫心地好き小川の端。彼の時此の涼い小川の端で友と語り合いたかつた。後悔先に立たずの此の夕涼み。友は今遠き、彼の工場で汗を流しつゝ働いて居るであらう。夕涼みして居る自分は汗を流しつゝ働いて居る友が思ひやられる。噫此の夕の涼しさを棄て、蒸苦しい家に歸りたくない。

長野縣　北村けさい

月星が淸くてらして居ります、入相の鐘の音靜かに淋しく遠くから聞へて參ります、一日の勞働が終り神に祈りして。夕燒に明日の天氣をトひながら老も若きも打集ひつゝ、夕餉の煙のほの〴〵と立ち上る我が家へと急ぎます。家に歸ると、夕顏棚の下に行水が沸いて居ります、ひとあび浴びてさつぱりとした着物に着換へ夕顏棚の夕涼み。汗を出し働いて疲れて歸つてこそ、眞の難有味が身に泌みます。

奈良縣　西　玉緒

湯上りの體を浴衣に包んで庭に出ると、太陽はすでに沒して、ゆるやかにたちのぼる夕炊の煙が彼方此方に、何處の小母さんか、白い手拭をかぶつて草鞋を背負ひセッセと歸つて來る、さぞかし夕炊の仕度に忙しいのであらう、一日中畠の中で土の香をかいで立ち働いた農夫の心はどんなに愉快だらふ、又淸らかだらう。田の中の蛙が折々茶碗の糸底をすり合せる樣に物重げに鳴いてゐるはゐか、西の山がボーと霞で豐に和いだ空に薄く影をみせてゐるいつの間にきたか私は川邊に立ている、川風薫つてこゝろよく葭間をのぼる螢の光り玉と亂れ星と輝き螢火點々、或は高く或は低くぬば玉の闇路に一條の光をあらはしとび交ふ樣もいと面白い、仰ぐ御空には夕の星二つ三つ輝きて、颯つと川面に渡りて風に灯の花さとゆるゝあゝこゝちよい夏の夕涼み。

神奈川縣　霧生孤蝶

青葉の茂みを洩れて射す光が淡い綠色に流れて澄み渡つた空が高く覗かれる、私は電燈を椽側に持ち出して、晝の汗をぬぐいつゝ天然の美を味ひ、田園生活の樂しみに浴して居りました。時々綠葉の間を縫ふて涼しい氣持ちの良い風が吹いて葉末から雫する音が聞へて來ます。其の風につれて芳烈な淸い白百合の香がプーンと高く鼻をついて來ました。私はこうしてゐる中に眞の涼味を知ることが出來ました、そして眞の涼味は櫻咲く日になく紅葉する日になく白雲舞ふ目になく、實に夏なればこそ涼味あり。と朝顏の花に朝の涼味を知り、蟬の聲に晝の涼風を送り淡き月の浮び出でゝ一家團欒に興は盡きず咲き初めた月見草の花は淋しくも涼しい笑を浮べてゐる。あゝ眞の田園に於ける夕涼みの價値はこゝに得られるのです。

群馬縣　詩律香

ゆあみしてほてる肌をつめたい夜風にふかれながら、ほたる飛ぶ小川のほとりをさまよふた。一面の夏草はつゆにしつとりと包まれて靜かに〴〵にねむつて居る樣だ、空にはすこしくかけはじめた月が下界の夢を守る樣に、慈愛深み顏して見下して居る、小川もちよろ〴〵と可愛い音をたて月を散らしながら流れて居る。こうした神秘的な所に居ると一日汗を流して働いた事もすつかりわすれ、唯々ゆめかうつゝかの樣だ川上の水車はこと〴〵と川瀬の音にまじりて時はきこえなくなつたり又はつきりきこえたりするあゝ靜かだ。かわづの聲も今はきこえない遠くの方でしうじう幾匹も交啼いて居るらしい。

選外佳作

愛知縣鵜飼信義、香川縣十河まつゑ、埼玉縣新井優花、岐阜縣加藤榮、福岡縣山中靜子、茨城縣加賀美つねじ、鹿兒島縣軒雫、福島縣五十嵐磨須子、岐阜縣加藤秋、福島縣瀬谷登代、埼玉縣荒井露久子、岐阜縣忍いし、靜岡縣上杉いく福島縣佐久間まく子、山口縣岩本哀汐、宮城縣小野寺ふじゑ、同縣山口ます子、滋賀縣芝田英子、福島縣榎內いち、愛知縣松井文子、福島縣さくやく、埼玉縣淺見はま子、福島縣香野富子岐阜縣砂場錦野、同縣足立信子、福島縣松本こん子、群馬縣池田榮子、香川縣石川もと子、岐阜縣竹腰よそ枚、同縣日置くの子、福島縣伊藤たつ子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

〔處女俳壇〕

（賞）

島根縣仁多郡温泉村 陶山竹吉

河骨にとんぼとまるや雨の朝

京都府天田郡庵我村 衣川すゞ

撫子をさげて川越す女かな

（賞外）

ほたる狩歸りは遠し隣村　岐阜　梶田とし子
雨晴れてザクロの花に蝶の舞ふ　群馬　橋本登久子
猫抱いて眠る妹や陽うらゝか　埼玉　新井照
樹の下に眠る小犬や夏のひる　神奈川　瀬間千鳥
宵雨去て柳に月の華かな　長野　根橋しなゑ
夕顏や杵場に風呂の煙立つ　同　唐木照
弟のいびき聞きつゝ麥細工　岐阜　服部たか
蟬鳴や果樹園涼し夏の晝　神奈川　霧生孤蝶
里川に雜魚とる子あり日の暑さ　靜岡　椎野はま子
白鷺に籠にわれしは百合の花　福島　榎内いち
馬の背に夢見る馬子の日永哉　東京　浦邊由美香
山蜂を除けて草刈る乙女かな　奈良　西　玉緒
風少しうけてなまめくあやめかな　福島　河原なでしこ
桑の蔭に埃の沈む暑さかな　鳥取　渡邊泉舟
苗取るや手先きはせはしき水の音　三重　葛山靜枝
蟬鳴いて行人絶へし廣野哉　福島　齋藤白蝶
まるまげや忍び伺ふ友の面　岡山　森田房代
蚤逃げ足見せて消えけり　埼玉　鹿島辟子

〔處女歌壇〕

（賞）

天　福岡縣浮羽郡水分村小田　田中靜子

朝夕の露も涼しき夏草のかげにも咲ける朝顏の花

地　鳥取縣日野郡石見村　中村尋代

かるくふむ土の濕の軟らかにこの朝まだき芥子の花さく

人　福島縣大沼郡西川村　馬場きい子

撫子の種は何處におろさんと迷ふ妹の心愛らし

（賞外）

○美の部○

霧深き朝の峠は靜かなり聞ゆるものは馬子の歌のみ　長野縣　加納かれよ
米とぐと釣瓶上ぐれば稲ぬちにの柿の花一つちりて浮びぬ　茨城縣　大久保岩草
月宿る野風呂にひたりうつとりと見入る夜空を流星のとぶ　群馬縣　藤倉きん
夕暮れに足洗はむと我がくみしつるべの水に月うつるかも　岐阜縣　塚本すみれ
いとし子の乳房ふくみて仰ぎつゝ笑ふを見れば物思ひなし　鳥取縣　伊藤清香
薪負ひて家路を辿る賤の女の歌に生まるゝ夕かすみかな　長野縣　鮎澤春於
順禮の御詠歌ひゞく熊野路の松の木の間を河舟の過ぐ　福島縣　ほとゝぎす
雲雀なく廣野の原に今日も出でゝしみ〴〵君と死を語るかな　熊本縣　鳥井正人
果しなき青海原の夕空も眺めてあれば母のこひしき　福島縣　植野しん子
ざく〳〵とまぐさ刈りつゝ朝風を胸一ぱいに吸ひて唄ひぬ　福島縣　遠藤眞津
夕立も今は止みたり地の上にたまりし水に月影すゞし　群馬縣　水野千代子
風吹けば緩る〳〵動く廣き葉の夏淺き畫に桐の花落つ　福島縣　荒海美枝子
日中の仕事を終へて我先きに歸りて夕の膳とゝのへり　山口縣　芳中壽美子
朝夕にたえず見廻る裏畑の生瓜のたけは日毎のびゆく　靜岡縣　宮　美子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

苗代に水見る人や月朧　山形　小關ころゑ
長き日や田螺三尺歩みけり　同　蓼風
五月田のかはづ聞きつゝゆあみかな　滋賀　芝田英子
弟にせがまれて行くほたる狩　福島　香野富子
うは言に我を呼ばるゝ病める友　同　遠藤露聲
逝く兄に燕鳴く今日の別れ哉　同　ほとゝぎす
田植蛇ちら／＼動く若き唄　埼玉　野田かつ代
白薔薇の咲ふるればこゝぼれけり　岐阜　塚本蘇林
岩かげに釣する人やほとゝぎす　鳥取　伊藤淸香
赤だすき乙女揃ひの田植かな　岐阜　西野なか子
坂道や一寸車の後押しぬ　香川　石川もと子
湯上りの思ふことなき夕涼み　奈良　高木小咲
雨霽れて垣根のたうち蝸牛　神奈川　澁谷いま子
御現旨を說く貧僧や澁團扇　山口　田坂傳介
蝶々や田植乙女の後や先　同　芳中壽美子
すげ笠の一度に動く田植かな　福島　五十嵐磨須子
薄暗の川の面に流る田植唄　同　小野如川
月涼しもすそからげて川渡る　神奈川　淸水寡琛丸
三日月の影のうつるや池の面　福島　大竹喜伊子
晩鐘の音に樂しく家路かな　岐阜　足立信子
青桐の葉風涼しき夕かな　神奈川　山口孝子
風薫る軒に一こゑほとゝぎす　佐賀　小百合
弦月をかすめて啼くやほとゝぎす　福島　國井津美子
うの花やほのかに匂ふ夕涼し　同　香野富子
植終へて稻田に光る月の影　埼玉　淺見はま子
螢飛ぶ橋の川邊や夕涼み　三重　西口優月
ひねもすを勵みて涼し湯あみ哉　愛知　松井文子
夕闇に仄かに匂ふ月見草　神奈川　笹野光江
蚊遣り火や障子に響く琴の音　福島　馬場須美枝
夕やけや二つもつれの小蝶哉　岐阜　丹羽芳子
一入に燕殖えたる城下かな　福島　三浦初代

○良の部○

綠濃き若葉のなかに紅の柘榴の花は美しく見ゆ　福岡縣　筑紫英知
ライ病になやめる母をいたはりつゝ夕ぐれ急ぐあはれ幼兒　岐阜縣　忍いし
待ちうけし友の便りの遲かりしつゝがなかれと開き見るかな　香川縣　十河まつゑ
ぬば玉の夜とーなれば母様のいまはのきはのみ言葉の湧く　岐阜縣　鍛冶谷せい
久々の旅行なれぱと老ひし祖母たびの心得何くれと說く　群馬縣　對比地こう
赤き日は森の彼方に沈みけり麥刈終へて歸る乙女子　神奈川縣　瀨間千鳥
さわやかに風は吹けども我が心何かは知らず淚ぐまるゝ　靜岡縣　椎野明子
孤獨てふ淋しさを知るきり深き朝の野道を一人行く時　岐阜縣　丹羽芳子
父ゆきて母のやつれし面影を想ひつ歸る野路の淋しも　神奈川縣　霧生孤蝶
今宵またやつれし友の面影を胸に描きて只一人泣く　愛知縣　松井文子
狹庭べのへいにもたれて咲く薔薇の薄紅に雨は降りつゝ　長野縣　藤松むま
夕つく日背中にうけて廣野原托鉢の僧一人歸り行く　岐阜縣　安藤さゝの
つゝましく神に祈りを捧げつゝ淚ぐみけり夕ぐれの庭　神奈川縣　山口孝子
温き神の御手に抱かれて生をつゞけぬ可弱き此の身　岐阜縣　竹腰よそ枝
とゞろけるわだちは我に近づきぬ昔ながらの師の君のせて　滋賀縣　芝川英子
いたつきの淋しきまゝに名も知らぬ草をあつめて鉢にめづるも　神奈川縣　淸水寡琛丸
雨の日に田の草とりの悲しさに百姓の身をばはかなめるかな　石川縣　松田又治
女なればよろづやさしく床しくもあるべきものと母のたまひし　群馬縣　池田榮子
仰ぎ見る星またゝきぬ靜かなるこの天地に息つけるわれ　福島縣　登美多樹女
そよ／＼と涼しき風に身を添へて螢飛ぶあと友と行きけり　東京府　川口スミ
すご／＼とつかれ顏なる牛見ては足痛む身も漸く忘れぬ　山口縣　白い糸
日は落ちて靜かに暮るゝ吾里を虫の音聞きて淚ぐみけり　福島縣　齋藤白蝶
物思ふ其の日縫ひたるこの晴着きるたびごとに又もの思ふ　埼玉縣　中島花子
我まゝの心ひそかにさはぐ時一椀を乞ふ人を思ひぬ　香川縣　石川もと子
初夏や里の小川のほとりにて螢とるなり夕涼みかな　福島縣　伊藤たつ子
山寺にかそけく鐘のいん／＼とこの夕ばえの物淋しかり　岐阜縣　足立信子
森閑すみし朝の靜けさ蚊帳越しにうら安きかも母の寢顏は　岐阜縣　西尾里志子
己が手に絞り染めたるゆかたをば妹に着せて喜ばれけり　福島縣　矢内愛子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

草刈い歸りに手折る百合の花　岡山　島山ちかよ
ケン〲と小雉子飛び立つ麥畑　無名女
夏の夜や螢飛びかふ二つ三つ　福島　鈴木きよい
眞白な牡丹に空の青さかな　鳥取　中村香代子
高燈籠北にそびゆる讃岐富士　香川　瀬尾ツネ
卯の花の細道行けば小家かな　長野　鮎澤春於
田のふちに草ちらしたり馬の聲　福島　佐久間邦光
雨後の畑踏めば素足にぬくき土　鳥取　中村鈴代
短夜や川瀬の音に殘る月　コヌツク子
亡き兄を訪ひて咲きけるかきつばた　徳島　山本久子
五月雨や青田に浮ぶ蛙かな　福島　津村慶永
寢室の窓のぞき行くつばめ哉　神奈川　柏原とくの
三日月たかすめてとべり宇治螢　群馬　對比地こう
時鳥初夏を告げ飛び去れり　宮城　小野寺ふじゑ
螢呼ぶ聲も調らぎ小犬鳴く　山口　白い糸
雨はれて畑にぎはふ靈時　福島　馬場きい子
出でゝ來し母老いりるよ早苗取　山口　岩本春一
山寺のかれの音ひゞく夏の月　福島　香野八重子
れんげ田に蝶遊ぶ子等の愛らしき　岐阜　成田きやう
桑の木に手拭取られた暑さかな　兵庫　藤本春枝
糸繰ればあたりに白き湯氣の花　埼玉　新井利子
ふくらふの鳴く夜さびしきおぼろ月　同　荒井ろく子
かしらまげイ二三と一年生　福島　瀬谷春代
夕立にぬれし小山の月見草　埼玉　新井はま子
川下に螢と見しは凉み舟　群馬　新井美津
妹と螢取る夜やほとゝぎす　福島　矢内愛
時鳥とほれにひゞく初音かな　埼玉　山登岸子
夕立や宿るとこなし野の小蝶　北海道　古屋松葉
名月に瓜とる人や背戸の畑　東京　青木初子
若葉せる小路を登る椎哉　福島　登美多嘉女
病床の白布に光るほたる哉　愛知　鵜飼信義

母たづね父をたづねて唯一人郷はろ〲と出でし月かも　埼玉縣　仲てる子
病院の青葉の中に唯一人空を仰げばほとゝぎす鳴く　埼玉縣　仲常子
三日月の空に細きをうら仰ぎ心安らに家に入りけり　岐阜縣　塚本瑞子
雨の日やしとゝにぬれてお茶をつむゆかれし姉のかはりと思へば　岐阜縣　塚本紫林
柴の戸を開き出れば蛙なく水田は早も青色の景　福島縣　遠藤よし子
春の水楽の小川の新らしきせきをあふれて音たてゝ行く　島根縣　陶山竹吉
窓のべに光れる星や小供等のよべの螢のあはれなるかも　福島縣　遠藤富翠
海原に波うつ如く田の面の苗なびかせて風渡りゆく　無名女
病室のまど遠にゆらぐ看護婦の白衣を見つゝ病めば悲しも　岐阜縣　西尾こと子
谷深く知る人もなき白百合の浮きは君が心なるらむ　栃木縣　稲葉和代
夕近き菜種の畑に一びきの蝶々は花を慕ひ居るかな　群馬縣　橋本登久子
青々と流は强し荒川の底に音して流るゝ石あり　埼玉縣　岡田保市
たちいそぎ衣とりいるゝがたへよりやがて晴れ行く夕立の雨　福島縣　石川
洗面所に音が看護婦の氷割る音いや高し夜半の靜けさ　すらひの磯千鳥
朗らかな小鳥の聲の聞ゆれば淋しき身にも初夏の氣充つ　鳥取縣　門脇みつ子
いたつきの母にはばかり足音も靜かに踏みて廊下通りし　埼玉縣　鹿島翠子
いらへつゝ鍬のほ先の土をかく妹の姿見ればさびしも　福島縣　古川芳子
豐かさを唄ひながらに早乙女の揃ぐ小笠のならびならびて　神奈川縣　櫻木一文
朝日影刈りにし草を道すがらわれとわが影ふみて歸りぬ　福島縣　齋藤ツか子
しつとりとにじめる汗もすが〲し蕨摘む折をばくり出さんと　岡山縣　森田房代
星月夜小暗き窓に白百の恥かしげける花あかりかな　埼玉縣　新井俊花
片田舎靜けき春の野良仕事夕べの道に山鳥の聲　長野縣　部香
つゆもちし白えんどうのゆかしさにそと寄りそひて口づけて見ぬ　茨城縣　大久保若草
立ち來たる埃に面を向けがたく瞼とじゐて暫し佇む　鳥取縣　渡邊泉舟
色黒く骨たくましく育ちたる里の乙女ぞ賴母しかりける　京都府　衣川すゞ
耕やせるくわをとゞめて汗ふけばふと身に浮ぶ夏の面影　福岡縣　熊川矢水
貴さの汗と思へばうれしくも今日も曠野に小牛を連れて　岐阜縣　加藤榮
シト〲と青葉にそゝぐ五月雨にぬれて歩まん一すぢの道　宮城縣　小野寺ジエ
五月雨のしと〲と降れる夕暮に蛙の聲のにぎやかにする　埼玉縣　西川榮子
鎌持ちて兄に負けじと麥を刈る乙女の額に汗流れけり　埼玉縣　新井はま子
炭を燒く煙匂へる山路の靜けき朝を我一人行く　コヌツク子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あがり田やつよる子祝ふ祖父のそに　岐阜　鍛冶せい
蝶々や花にわかるゝ夏の風　福岡　熊川矢水
農具乾す手下にとんぼとまりけり　福島　蜂田民子
またら雲空行く早し雨あがり　埼玉　大久保宮
草刈りて都の友に手紙かく　福島　荒海美枝子
暮またも見えたり夕の庭　埼玉　北田ちよ子
苗代田に夕日は淡く蛙鳴く　福島　若葉
時雨去り轍に残る濁り哉　鳥取　脇門みつ子
野の路を歌ひつ草刈る乙女哉　福島　サザン花
春雨の夕や秋に虫の入る　山形　島崎みん
呼べど猫猫も答へぬ日永哉　神奈川　古池秋江
夏の夜は早や明け方か鶏の聲　岐阜　松の緑葉
植え終へし田の面に動く月の影　福島　遠藤眞津
乙女子の水面に寫る笑顔哉　香川　安西照子
湯あみして螢追ふなり夏の夕　埼玉　都築芳子
早苗取る乙女の肩にも赤だすき　福岡　田中靜子
初夏やいつぬぎすてし冬衣　群馬　水野千代子
裏山にわらび狩りつゝ野の雀の歌　福島　渡辺すみ子
椽側に一人ほゝ笑む薔薇の花　同　野口文子
初夏やもすそに絡みひとへもの　同　稲村敏子
夕立の行きたるあとや蝉の聲　山口　中森蛍
處女二三新茶をすゝる夕涼み　埼玉　野口よし子
銀月の下には清く月見草　福島　伊藤たつ子
まゆかきも果て、今宵をほたる狩　群馬　藤倉きん
花の中花見る場所に迷ひけり　山口　田坂傳介
たちこちに螢かゝる子や子守り歌　福島　大内さみ子
庭長者鉢に咲く藤誇るかな　鳥取　渡辺愛子
松間より静かに上る闘き月　岐阜　砂場錦野
姉上と亡き父慕ふ墓の前　同　三輪美登
はつ夏や夜更けの床にほとゝぎす　群馬　池田榮子
朝ぎりのはれたる後の朝日かな　福島　松木こん子

青菜をば牛かごに入れて乙女子が野の唱歌ひあぜ道を行く　北海道　古屋松葉
野を終へて夕のしゞまに立ち見れば蛙鳴く田に白鷺の見ゆ　埼玉縣　新井列子
夏の日も夕涼しくなりし頃やみ夜を縫ひて螢飛ぶかな　静岡縣　上杉いく
美しく月も影さす川なみを乙女はしばし見入るなりけり　福島縣　佐久間キク子
はろび取りふきの葉上にのせ置けば朝日にてりて緑に光るも　北海道　原きぬ代
わが飼へる蠶は日毎ふとりゆきはてはわが手に糸となれるも　神奈川縣　相原とくの
この悩み誰に語らんすべもなく五月雨降る夜に我一人泣く　鳥取縣　加納三千枝
子供等の土産にせんと飛ぶ螢三つ四つ狩りぬ田植戻りに　滋賀縣　古株とみ子
麦刈りてしばし憩へば五月空ちぎれ〱の雲光り居り　山口縣　岩木宮汐
青葉かげ久にし友と手を取りつ楽しくかたりぬ日暮るゝを知らず　福島縣　野口文子
雨みて陽はうらゝかに照り栄えぬ晴れて雲なき初夏の朝　埼玉縣　金子たけ
故郷の母は来ましぬ打連れて汀のあやめ見るが楽しき　埼玉縣　大館青燈
不具の身は楽しみもなく唯一人針を運びて小袖縫ひ居ぬ　香川縣　毛利豊野
春の陽のみなぎる空ゆ微風を折々藤の小枝をゆする　福島縣　佐久間添光
さし昇る朝日障子に影さしてトンボ飛びかふ雨晴れの日に　福島縣　榎田すて
おほらかに峰の若葉を揺ぎつゝ風わたる山心ひろしも　福島縣　小沼すみ江
夜もすがら玉と乱れて涼しくも螢飛びかふ川ぞひの宿　香川縣　瀬尾ツネ
美しき夕日ながめて野に立てばかすかにひら〱遠寺の鐘　山口縣　河内白秋
初夏の小川のほとりさまよへば野薔薇香りて心地よきかな　鳥取縣　中村香代子
まつ白きしやぼんの池にすんなりと我指先のぬれて美し　奈良縣　西玉緒
誰よりも早く起き出でわらぢはき朝露ふみて山路のぼりぬ　福島縣　鈴木きよい
立籠めし谷間の霧も薄くしてきゞすの聲に明くる山里　東京府　渡邊由美香
麦を刈る兄の姿はあちこちと黄色き麦に見えかくれせり　埼玉縣　岡田保市
峠茶や我来し道をふり歸り見ればかなたに我家の見ゆ　三重縣　西口侵月

○佳の部○

ひとり居の淋しきまゝに居り立ちて流れ清けき水を掬みみぬ　佐賀縣　小百合
谷間より流れて出づる清水に月のうつれる影の涼しさ　福島縣　岡井津美子
向ふ山のふもとの村に夕あかりきらめくまゝに暮れて行くかも　岐阜縣　田口わか子
青々と若葉繁れる木の間よりつゝじほゝ笑む愛らしき哉　福島縣　大竹米子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ちり／＼と旅の水音も涙なり　山口　若本貴美子
梅雨晴れに遊寺の鐘の響かな　長野　加納かれよ
五月闇蛙鳴く夜のかしましき　福島　大竹米子
初田植早苗手に取ろうれしさよ　長野　藤松むま
若き日の木蔭こひしき小歩時　福島　阿部ふじ子
やむまどにかなしみ居れはにたるとゞ　同　河上久子
夏の夜に妹相手に螢狩り　宮城　宮本つれ
ほたろがりたのしや夏の夕すゞみ　福島　梅津みや
こゝかしこ田植ゝ乙女の赤だすき　福島　飯田すて
うたゝ寐の夢やふりけりほとゝぎす　同　川村の花
すげがさや手先せはしき田植かな　同　渡辺ハル子
庭に咲くあやめの花の愛らしき　同　五十嵐きくえ
乙女子よ樂の道に進めかし　同　黒澤はなよ
五月雨に泥りて朋ゆ群蛙　愛媛　美津美
三日月や聲も淋しきほとゝぎす　埼玉　高岸文子
草むらに光をはなつ螢かな　福島　津村ヒサ子
ゆるやかにさす日に光る若葉山　北海道　原きぬ代
見上ぐればほしの光はかず知れぬ　福島　佐久間きく子
弟の笑顔愛らし旅歸り　埼玉　荒井はる子
じい／＼とせみやかましき我家哉　静岡　富美子
夕月や蛙の聲もにぎはしき　埼玉　西川菜子
一寸した粗忽を詫びる笑しさ　静岡　野山さくら
五月雨にぬれし小蝶の姿哉　長野　伊藤しなの
夏の夜や軒の風鈴音涼し　埼玉　大野とよ子
散りし花桐の枝間に蝶々舞ふ　福島　齋藤ツゲ子
麥の秋今日日曜や兄も居し　埼玉　鹿島さよ
すげ笠の田面にならぶ五月哉　茨城　片岡房子
たんぽゝの花に染る蝶々哉　北海道　小林くま子
凉しさや夕の月もいと清く　茨城　加賀美つれし
夏の宵家内そろつて夕涼み　香川　十河まつゑ
麥畑心地よきかな雲雀鳴く　神奈川　八幡登子

兄さんの暑さの中に麥刈を妹を背負ひつゝ思ひつゝけぬ
一日のつとめ終りて一家中たのしき顔のそろう夕膳
乙女子の麥刈る様を舍の窓にながむる姉に涙わくなり
やめる妹病重しと聞きにけり吹雪の夜の胸安からず
恋の間はひれもす工場に働きてつかれし夜の心安さよ
こもり居て讀書にあきて外見ればほのむらさきの桐の花散る
水泳に友一人失ひし思ひ出かなし又夏の來て
風薫る青葉の影に一人して處女の友をば抱きて眠る
紅くして陽は黒山に入りてより君の瞳は沈みゆきけむ
夕迫る野路を獨り乙女子がくわかごかたに急ぎかへれり
夏の夜に湯より上りてせんすもち唱歌うたふ心うれしさ
朝餉するかまどの煙ゆるやかに空にたなびき時鳥の聲
玉なしてとびかふ宇治の螢火にまたぬ比えいの山のはの月
三とせ前別れし母し戀しさにふみ送らんと筆とりにけり
畚みしてうちは片手に端居せば螢の肩をかすめてぞとふ
つと立ちて我庭先の夕顔を見つめば白き露こぼれけり
春の野に樂しく遊し彼蝶も今はいづくにねむり居るらん
洗物手に持ちしばしゆら／＼と月浮ぶ瀬を見入り居るかな
朝露をふみてけはしき山深し分け入る足の光たふとし
悲しさに窓を開けば淋しくも月影消えて夜ぞ更けにける
初夏を草かみながらに細道行けば足許よりきちくひなのとぶ
かまを手に向ひの岡にまじさかる賤が乙女のうたふ野の幸
いくまがり辿りたれど夕ぐれの路せばまりて若麥のみのるも
そよ／＼と吹く夕風にさそはれてしらずに行くや川のきしべに
賑やかに桑摘む乙女頬かぶり笑みつゝ畑に野の幸の歌
母したひ泣く幼子の聲たえし非野にひらく鐘のさびしさ
昼川夜今宵も來りほう／＼と天氣を告ぐるみゝづくの聲
北酒の味ひ知らぬ乙女等がよひてくるへる人をかなしむ
湖月や池の水の面にうつりしをとびこむ蛙かきちらしけり
そよ／＼と涼しき風を身に受けて歌取る心樂しかりけり
咲きほこる紅ばら胸に抑しあてゝ冷たき我もかくも燃えよと

東京府　藤野こま子
神奈川縣　樋口ゆき子
山口縣　若本貴美子
　矢名女
岐阜縣　砂場錦野
岐阜縣　足立信子
福島縣　松本こん子
　北村けさい
東京府　青木初子
群馬縣　詩律香
静岡縣　野山さくら
鹿児島　軒の雫
山梨縣　中村きみよ
静岡縣　河原崎松子
神奈川縣　岸喜美
香川縣　安西照子
神奈川縣　安西なか子
長野縣　飯島勝
岐阜縣　田口志津恵
神奈川縣　久野紫子
千葉縣　大谷愁子
岐阜縣　中島艶子
埼玉縣　高岸文子
福島縣　香野八重子
福島縣　黒澤花子
徳島縣　山本久子
神奈川縣　佐野光江
福島縣　梅津みや子
岡山縣　島田ちかよ
島根縣　安部もり
長野縣　夕美歌

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友だより

△お暑い事ですね、糸とりや田草とりでどんなにか忙がしい事でせう。天晴なる勤勞主義で働く皆さんを想像して嬉しく思つてゐます(記者)

御挨拶

○私も處女の友愛讀者になりました、どうぞ末永くお導き下さい。高山しずゑ、福島縣耶麻郡星野子、石川縣能美郡川北村下田子松田又治、岐阜縣加茂郡古井村那是製糸小寺幸子、北海道天鹽郡幌内村小林くま子、靜岡縣河原崎松子、福島縣村澤ひで子、岐阜縣武儀野中久保村池戸まさを、福島縣大沼郡沼澤村梁城よしの、山形縣東田川郡遊田とく、岐阜縣吉城郡阿曾布村下之本小瀬まつ子、山梨縣北都留郡大目村高橋中村きみよ、群馬縣新井美津、香川縣毛利豐野、福島縣大沼郡四川村、田部信子、福島縣渡邊信枝、山梨縣小畑すぎ子、岐阜縣付知町品川こう、福島縣河原なでしこ、愛知縣溫泉郡大西白百合、福島縣河沼郡廣瀨村稻村敏子、愛知縣東加藤郡盛岡村戸中松井文子、高知縣吾川郡小川村黑石頭吉

○皆様お變りもありませんか、私は身馴川邊に住む一少女です。いよいよ私達の發奮努力する時となりました、大いにつとめて樂しく時を待ちませうではありませんか、あの涼しい夕ぐれ紙を手にしてかへる心地どんなに氣持ちよいかわかりません(埼玉縣兒玉郡東兒玉村下兒玉　下山類子)

○記者様私は去年の七月號まで御誌を友として居ましたが、ふとした事より異鄕の地に少しの間學び今は家に歸つて又讀者となりました、去年の七月號までは誌友くらぶとしてありましたが、今度六月號を拜見すれば、花の集ひとしてありますが、始めに花の集ひと書くのですかお訝ねします(茨城縣　片岡房子)

△今度は誌友だよりとしました、やはり始めに誌友だよりと書いて下さい(記者)

○諸姉様お變りありませんか、小さい伊賀の盆地にも初夏の訪しがあらはれて居ます、此の田舍に働く私に清き御手紙の一通もお送り下さいませ(三重縣阿山郡山田村　西口盛月)

○いよいよ農村の乙女が一心に働く時節が參りました、私の處では、種々の草木が青葉をふき出して今を盛りと伸びて居ます、お蔭様で私は何時も丈夫で働いて居ります、(埼玉縣入間郡堀津　沼野惠子)

○花散り果てゝ若葉の梢なつかしく相成りました、誌友の皆様この暑さと戰つていつそうふるひませう(福島縣　八重櫻)

○中央部の先生、先日は勝手なお願ひを致しましたのに、野の幸ばかりでなく、婦女訓まで御送り下さいまして有難う存じます。早速御禮申上げ樣と思ひましたが、養蠶多忙にて失禮致しました、どうぞお許し下さいませ(岐阜縣　加藤榮)

○私は片田舍に住む一處女で御座います、一昨年より處女の友愛讀者となつて居ましたが、投書するのは初めてゞ御座います、記者様初め諸姉樣方何分よろしく(福島縣大沼郡五十島きくの)

○誌上のお姉様どうぞお導き下さいませ、次第次第に伸び行く私共の處女會にても、今度會誌若草を發行する事が出來ました、皆さん大いにはげみませう(岐阜縣大野郡大名田村　成田きやう子)

○私の故郷は神奈川縣ですが本年四月から都の學校生活に入りましたが、誌を見る度にあの清い野に出て父母樣と御働き遊ばす皆樣がお懷しうございます、神奈川縣の皆樣どうぞ御身御大切に御勉强の程を(東京　木村喜久子)

○記者先生樣御壯健にお暮し遊ばされますかお伺ひ申上げます、この頃は養蠶で處女の友を見る時間が少なくなりました。さぞかし農家に働く皆樣も同じ事とお察し申上げます皆樣一心に仕事に勵みませう(岐阜縣加茂郡西白川村　田口わか子)

○田園生活や養蠶を遊ばす方々はさぞお忙しいことで御座いませう。私は、養蠶期が暇な時ですから、毎日お洗濯や裁縫をしながら懷しいライフを續けて居ります。誌友の諸兄姉樣、暑さに向ふ折から、折角御身體御大切に、益々御發展あらんことを、祈つて止みません(福島縣三春町發菜多　祭女)

○山深き會津の山里共の山間を流る、清き伊南川の畔で自然の音樂を無斷できいて今迄で送つて來た一處女でありますどうぞ皆さま淋しい無學の私しを御仲間にして御指導下さい終りに記者様誌友の皆様の御健康を祈ります(伊南川畔の朝日にて齋藤白蝶)

○私の村は草深き片田舍にある小

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

さな村でありますが、皆々様御盡力によりまして、美しい處女會を發現いたしました、そして去る四月より處女の友の愛讀者となりました。御親切なる誌友の諸姉様、今後よろしく御交り下さる様御願ひ申上げます（埼玉縣比企郡　平村花子）

○私は故郷をはなれ工場に務める一處女で御座います三月より本誌愛讀者ですが投書はまだ初めてゞ御座います誌友の皆様今後は宜敷く御導き下さいませ（京都府中郡周松村堀石　政方　上羽か代）

○私も處女の友の愛讀者でございます月々有益なる記事をおのせ下さいまして誠に有り難う御座います私の村の處女達も月々多く本誌に見えるやうになつたのでほんとに嬉しう御座います記者様始め誌友の皆様何卒御導き下さいませ（福島縣伊達郡立子山村　引地竹代）

○記者様始め諸兄姉様よ時節柄お變りはありませんかお尋ねいたします、私は無學に、自然を友として働いて居りますが……寂しき者で悲哀に泣いて居ります、どうぞ私を可憐と思召しなされて御音信下さいませ（福島縣　ほとゝぎす）

○今朝から降り出した雨はまだ止みそうもなく降つて居ります養蠶の盛りなのでほんとうに困つてしまひます、記者様始め誌友の皆様御身體大切にお働き遊ばせ（きい子）

○朝に夕に小鳥の歌を友として田圃に親しんでゐる身は一日の仕事終つて姉と共に楽しく文机に向ふ時すべての不平不滿は去られます誌上のみな様御指導下さいませ（埼玉縣北足立郡新郷村　飛非はる子）

○寒い〳〵といふ内暑い〳〵夏となりました記者はじめ皆々様御變はありませんか御伺ひ致します（福島縣　遊旅路）

○記者先生始め誌友の皆様御壯健にて何よりで御座います遠き工場の休暇に宅へ歸つて居る者で御座いますどうぞ末長く御導き下さいませ餘のなつかしさに思はず筆を取りました（兵庫縣氷上郡芦田村口熊又　足立ふみゑ）

○懐しき誌友の皆様我名にちなめる八重櫻の花も散りました、あゝ私も八重櫻の雅號なすてゝ本名に返りませう、若松市の如川様清き誌上で御交りを（福島縣河沼郡府瀬村　松本こん子）

○先生先日は御都面有難く拜見致しました一部の處女の友を八人にて週覧して居りますのは私の所で御座います、この度鈴開様よりの御厚意誠に感謝にたえません、尚御手数様乍ら鈴開様へ御住所御知らせ下さる様御願申上ます（福島縣耶麻郡翁島村　鈴木きよい）

○誌友去らず新友加り――日に月に發展して停止する所を知らず。嗚呼!!名もふさはしき處女の友是を愛讀せらるゝ博學多智の諸兄姉よ、田園の一隅にも本誌と親しむ淺學無才の一處女あるを忘れ給ふな、そして暇の時には楽しきレターを私の机上に投ぜられよ、同村の白百合様お交り下さい同縣の清貴様この清き本誌に訪問遊ばせ終りに記者様並に諸兄姉様の御多幸をお祈りします（鳥取縣日野郡石見村小村容代子）

○私は會津平野中央の田園を共にし淋しき生活を營む一處女であります文化の現代を今や生後二十有餘年も只管無趣味に送り追懐の念禁ずる能はず過去現今母校の校長先生及び諸先生を始め誌友皆々様の賢覽なる御指導を賜はり智力開發す庶幾くは誌友の皆々様此の後益々御愛導の程（福島縣河沼郡勝常村田川　湯村とサ子）

趣味のお室

○「やさしく白き波の上に春の光の老い行くたよりなさ」……夜に移り行く歸路を辿り征ふ夕陽！北歐なシーンをみつめて「逝く春」の歌を唄つてみました「祈りより安息へ」とは先生からのみ音樂……もう本當に初夏生氣あふるゝサンマーシーズン、この活氣にみちた時快活に働きませう（[illegible]　橋本登久子）

○舞鶴城の葉櫻茂る木の間より眞白に見える謝恩塔を仰いでゐる私達處女は、どこまでも清き心で務し、又有難き誌上に名を殘さうではありませんか、同縣の方々の御名が少いので淋しくてなりません（山梨縣巨摩郡貢川村　竹内とみ子）

○寒い寒い北國にも楽しい自然の花園は出來ました、色々の珍らしい小鳥も鳴いて居ります、蝶も舞ひ乍ら花粉のばいかいに一生懸命です、此の自然の音樂や舞踏を見聞しながら私は自然の職業に親しみ居ります（北海道　酒井文子）

○誌友の皆様忙がしい時は參りました、けれども山國の趣味は溢れてゐます、ほんとに田舍の處女は幸福です、石岡よしの様共にふるひませうれ（福島縣　河上久子）

○春はゆく、すが〳〵しい緑の頃身輕な單衣姿の季節となりました、眞白い手拭、赤いたすき、茶つみの若々しい乙女子がいと楽しげに歌ふ姿が彼方此方に聞えます。富國の元となる養蠶、やさしくまじめに働きませら（福島縣　梅津みや子）

○私共の處女會では四月三十日午後一時より會長様のお宅で敬老會を開きました、其餘興として本誌四月號に出て居りました對話「親の入營」や活人畫、假裝行列等致しました、對

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

話は練習の日數が少かつたので案じて居りましたが、割合によく出來て大變老人に喜ばれました、外の餘興も道具が整ひましたので色々奇拔なものが出來て來賓一同大笑ひを致しました、どうぞ私共に適當した對話を載せて下さいませ（富士山麓 野の花）

△これから載せませう（記者）

○山間の山里にも暑い夏は音づれて來ました、青葉がくれに囀る小鳥の聲を聞きながら僕は文章研究しようと考へて居ます、（岡山縣 妹尾要次郎）

○なつかしいシーズンは來ました紛閙を去りて二年目、塵埃の紛閙に沿ふ道徑、右は菜の花の香に左は紫雲英の芳ばしき高香に包まれながらたどり行く心地よさ、皆様の娛樂です（福岡縣 田中靜子）

○青葉若葉の田野に太く呼吸つきながら、鉄取る農村青年處女何んと幸福な方でせう、異郷の空で激しき勞働てふ生命に生きる私は、あの平和な田園が羨やましく思います、益々誌上で奮闘し榮えある文藝の道を辿りませう（山口縣 岩木孫一）

○青葉かくれに、白手拭赤たすきちらつく、故里の空偲んで、處女の友の頁をくつて居ます、汚れた、都會の空氣をはなれて（福島縣 植野しん）

○海拔三千百餘尺の諏訪の高原は逝く春の氣分に包まれて居ります、自然の田園に働きつゝ、誌友の皆様と御交るのを樂しんでゐます、新緑の高原に住む私に御交際して下さい（長野縣 鮎澤孫於）

○春はヴェニスの街の夢、涙に夢もなきぬれて、甘い哀愁に涙を催させる樣なヴアイオリンの音が流れて參ります、サンマーシーズンが、訪づれて來ましたれ、暑い、燒きつく樣な炎天に汗しぼりつゝ働らかればなりませんですね（群馬 大澤ちか子）

○凡てのものにはち切れそうな力のみちた春の日……忙しいひま〳〵にも、繭取る事をたのしんでゐます、心身共に疲れ切つた、一日をかへり見ると、たまらなく愉快です、皆様齊ひませう、この希望に燃ゆる春の日に（高知縣 森田玉子）

○小いにつゝまれた青葉の蔭にほとゝぎすの聲も音づれて、やうやく農繁の時となりました、皆様秋の巡回勸會や、團體旅行を樂しみに働きませう（群馬縣吾妻郡坂上村 蔦波）

青葉に風かほる樂しきシーズンとなりました、記者先生皆々樣の御健康ないのります、山里は田植もすみ、蛍とぶ頃となりました、讀者の皆様ともにふるいませう（里の少女）

○記者諸先生誌友の皆様お變りはありませんか、農繁のシーズンとなりましたのね、私は農村に働く一處女です、田園に純なお持ち遊ばす皆様この農繁期を奮闘し努力し一農婦として社會に立つ樣につとめませうね（岡山縣 森田捨小松）

○來る日も〳〵うつとうしい五月雨の頃、田園の皆様、さぞ御忙がしい事でせう、共に共に勞苦の役の安樂を願つて働きませう、終に淋しい私をお導き下さいませ（岐阜縣惠那郡 白蓮）

○山間なる時鳥なくたのしき村にも處女會の聲をきゝ正會員百三十餘名十四支部に分つて居ます、皆様のお骨折でなつかしい處女の友を四月號より拜讀して居ります（埼玉縣比企郡平村 T子）

○若葉のかげゆかしき夏となりました、私は御誌を愛讀して早や一ケ年餘處女會巡廻に毎月拜見致して居ります、今は蠶、小麥の取入れ時で大多忙であります（岐阜縣 米山照を）

○私は病窓より天を仰いだコバルト色に晴れ渡つたみ空には一二條の白雲が靜かに流れてゐる「桐の花は皆散り果てゝ」アラ小さな思川の歌が何處からの病室から朝の清い空氣を破つて、あゝなつかしい故郷が思ひ出される、老いたる父母は今頃は如何に在すらん、山里にも同じ月も照り冷い風も吹くことであらふ、スヤ〳〵眠る親達は今どんな夢見てゐらつしやるだらふ、夜半の風よ、和はくば我家の窓を打つてくれるな父母の夢を破るなよと、小さくさゝやきながら願つた、靜かに〳〵ダニユーブの歌を小聲で歌ひながら窓をしめたなつかしい福島の皆様よおふるひ下さいませ（さすらひの 磯千鳥）

○變はぬ心の日に花ぶを知りては千々に迫りますれど、如何にも良き師友なきに。今日からは懐かしい姉上様方と、御交り致し御情け縋れる御指導を受くるかと思ひますと。ほんとうに生き返た樣な心地がいたします（福島縣東白川郡 小酒千代子）

○長き春日も早過ぎし、登めよ働け農家の繁忙近づけり、街へや青年處女達よ（山口縣 中邨露花）

○我々は世の進歩に付、今までよりも一そう愛に滿ちたる活働にあせの鏡を作りませう「愛なき人生暗黑なりあせなき社會は墮落なり」と云ふ言語があります、誌友の御健御様方もどうぞ御同意を（福島縣 遊蝶子）

○北相の一隅にも初夏は訪れました、小佛山、相模川さうした自然の風景を眺めながら懐しい光つた鉄？黒い土……を無二の友として極めて呑氣に極めて有意義な、生活をして居る、けれども無理解な「ライフ」の中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に居る今の自分を思ふと言ひ知れぬ寂しさが胸に込上げて來ます野に山に孤獨の私を常に慰めてくれるのは只處女の友あるのみです（神奈川縣津久井郡千木良村　石井生）

〔悲しくて淋しくて心のやり場の無い時程、神聖の友を求める時は有りません、其度に私は此の讃美歌を口にして其やるせ無き心をなぐさめて居ります、

花散失せては　たきゞにうられ
家貧しければ　人にすてらる
たれをかたのみ　何にかたよらん
たゞ神のむすぶ　愛の友あり

私達處女一同は此のうつしよにたぐひの無神のむすぶ愛の友を求め樣では有りませんか（鄰子）

○私は人間と生れて一番責任ある時は青年處女の時代と思ひます、男女相互の親しみを計りたがひに意見の交換をし共に將來の準備の爲青年處女の時代に大いに修養し我が帝國民としてよい人となりましよう（神奈川縣津久井郡佐野川村　岡本芳三）

○地方青年にして或る一部の處女の友を勝入して『僕は眞面目な處女の友愛顧者である宜しく御交際下さい』と云つて純眞な處女の心を誘惑しやうとする青年があります、こんな青年がある事を悲しく思ひます、清い交際でしたら私も望みますけれど（四國の一隅にて　一愛讀者）

○森の蔭りより、時鳥の啼聲ゆる夏の前兆は到來しました。記者樣はじめ皆樣御變りありませんか？此の疲れを、湯に癒し、川邊の螢を追ふのは、一興でございますれ！綠滴き自然の中にて、私は、月々御通ひあそばす皆樣をしのびつゝ、又本誌の完實を喜びつゝ、幸福に日日の務を果してゐます（山口縣美禰郡赤鄕村　芳中孫美子）

○多忙な昨今は綠袖に襷掛の無邪氣な踏姉樣の活動振が偲ばれます、活眼を開いて理想の彼岸に達する迄、勉め勵みませう（伊那の谷にて　一處女）

○日中の暑さと忙はしさからのがれてほつとする、此の頃の街の風情は又格別で、點々と青光を放ちつゝ會川縫ふ螢火、よい待ちて秘かに咲く月見草朝の空に輝く、日の光をおそれてか人知れず萎み行く／＼い花の延命を思ふ時淋しい涙が流れます、今度近村の中溝みな子樣とおつしやる方に誌友となつて頂きましたからよろしく皆樣の御從在を祈りつゝ（信濃　のぎく）

○山鳥がチ、と啼いてたのしそうに梢をとび交ふ毎に、銀の色の樣な露がハラ／＼とこぼれる、雨後の初夏あゝなつかしい初夏、物なべて生き／＼と息吐く力强い初夏が訪れて參りました。人生の花の花とも云ふべき處女時代、麗かにて面白くたのしみ深き青春時代此の期を只々平々として空しく月日を過ぎざる樣大いに勵みませう（福島縣東白川郡　岡井沐美子）

○本年四月二十六日は私共の區の消防發會式でございました、私共處女一同は來賓方の接待役を仰せ付けられました故、心つくしてお接待致しました、おなぐさみとして對話唱歌節二三やりました共中四月號にありました（現の入か〈〉もやりましための中の野の莽の歌を知りませんでしたけれ共或辭に合せて唱ひましたそれから（それにまああの歌を聞いてごらんなさい）と云ふところへ次の樣なのを作つて唱ひましたほんとに下手なものですけれど

いでや勵む野良仕事
そよ吹く風を笠にと受けて
はるかにアルプス望みつゝ
田野にいそしむ清き乙女
清く伸び行く我等が幸ぞ
清く生立つ我等が幸よ

（岐阜縣　鍛冶美せい）

○白い肌に單衣がくつろぎ勝ちで胸のふくやかさが、ともすれば覗かれます。男も女も線がヘッキリして來て、夜の散歩に、又螢火の下に來きの友「御誌」を繙く際、得も云へぬ快感を覺えます、フト一年前の處女の友六月號に目を透しますとアノ思ひ出多き天野先生のみやさしい記事が私のハートを刺しました、噫天野先生今何誌上にましませば（本持庄太郎）

○青い空、青い山、青い野、青い水、なつかしい夏がまためぐつてまゐりました、綠の爽醸涼しいところに詩集を繙くとき、心は深々としてはてしなき、而も樂しき境にさまよひます、誌友の皆樣、若き美しき叫びをおきかせ下さい、大井河岸の貧しき私にもおたよりを！（静岡縣志太郡德山村　椎野明子）

○青春若葉の舞ふ、小鳥の樂祭、地上の生物は夏の光輝に包まれてゐます悲哀との戰ひも歡喜との共鳴も總てが人類進歩の行進曲を高唱してゐます、青春の血に燃ゆる若い私達に共鳴下さる方は純眞な叫びである詩歌をお惠み下さい――切手十錢に送料貳錢を封入小込者には文藝誌「春光」を進呈します、お便りなお待ちしてゐます（鳥取縣日野郡石見村春光詩社　渡邊泉岳）

○記者樣私は悲感的な處女です、されど御誌の無限につゞく愛の力に漸く人生の春に目醒ました、厚く御禮申上ます、六月號で御目にかゝつた千木良村の石非樣青春の血に燃ゆ處女のハートはそうした惱の虫に苦しめられます。共に慰め合ひませう（名倉村　森の島）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○「月と日は常も休まず過ぎ行くに哀れ吾が楽まだ歩みなく」冬から春へそれから更らに青葉の夏へと、タイムの流れに寸暇なく、されど振顧る過去に何の創造をも認めない哀れさ、たとへそれが牛の如く遅々たる歩みでもよい、杜の青春の機を逃せず、希望の彼岸に前進しなければならぬ(山口縣　岩本春一)
○閑かな夢を破つて遠く暁の梵鐘、「あゝ時の記念日」むつくり起きて顔の寐さして集る在郷、青年團處女會學校兒童神に祈りをさゝげて時の鈴皿を響ひました、正に午前四時、東空は静かに〳〵明けて参りました木々の梢になく山鳩の聲、あゝ記念すべき六月十日？(埼玉　荒井ろく子)
○鈴虫松虫の野に心ゆくまで酔ひる頃は近づきました。埼玉の皆様、益々御才能をおふるい下さいませ。私は秩父の山蔭に淋しき一人です(埼玉縣比企郡平村　新井利子)
○皆様恐い〳〵夏が又めぐつてまいりました、みどりの葉に强い日光の輝きはゆる夏が……あつさと戰はなければなりません、まけない様に互に氣をつけませうね群馬の皆様ます〳〵御振も遊ばせ、每號〳〵と發展しつゝある文壇をうれしく拜見致して居ります(群馬縣　詩律香)

睦み合ひ

○この夏も涼しい山里で暮す私はどんなに幸福でせう、私はこんな山にも杣野様を忘れた事はありません貴女様の身の上を案して居ます。お互に自愛して好きな文藝の愛に生きませう、斗南半島の一女様上京は如何遊ばしたか――)渡邊愛子)
○鳥取縣の二宮様に共鳴する乙女です、眞實になぜ世間の人達は私達の煩悶を理解して下さらんのでせう、私はそれが悲しいのです。二葉様を始め、誌友の皆様共にはげみ、如何なる誘惑にも打勝ちませう、愛知縣の野田やむひと様、すぎし日はお文有難う御座いました、此の後もお交り下さいませ、私は今まで小菊と申して居りましたが本名をお知らせ致します(北海道虻田郡倶知安町官川　原きぬ代)
○いつしか螢とぶ夏となりました、山根ふさの様、安部つぎ子様、吉田春子様、同縣にておなつかしう御座います、お差支へなくば御交り下さい(島根縣　多々和菊野)
○埼玉縣の荒井ろく子様何やかと御上達ですね、お羨やましう御座います、今後お交り下さいませ(京都府　山口しげ子)
○私は昨年十月から處女の友愛讀者です、皆様の和歌、作句など、如何にも感心致しました、私もこれからどし〳〵投稿致しまして、皆様と御一緒に振ひませう。同縣の石川様、十河様、安西様。水詩様、香西様どうぞよろしく御指導下さいまし(香川縣善通寺町大麻　仲尾ツネ)
○田村の花様、私は男子です、三春へは参つた事もありません、神田附江様農村の處女に眞の處女でないのが多數あるやうです、何卒貴女のやさしい手で一人でも善道に導いて下さい(福島縣　小野如川)
○北海道の原様、山形の白花様ほんとに嬉しう存じます、會津若松の如川様よい、書物を皆様におすゝめですね私も心の力は拜讀して居ます(香川縣　石川もと子)
○岐阜縣の梶田とし子様、五月號にて優しき御言葉賜り、夢かとばかり喜びました、有難く厚く御禮申上げます(岐阜縣西白川村　西野なか子)
○埼玉縣の母子草様おなつかしうございます(埼玉縣　衣笠貞子)
○長野縣の塩田小蝶様、同縣でおなつかしうございます、どうぞ御住所をお知らせ下さいませ(長野縣上水内郡津和村字菅沼　宮尾茂代)
○砂場都野様、丹羽芳子様同縣でおなつかしうムいます、お交り下さいませ(岐阜縣益田郡上原村　田口しづゑ)
○記者様先日は絵葉書をお送り下さいまして誠に有難うございました、宮城縣の皆様おふるい遊ばせ、小野寺フジエ様、同縣でお懐かしう御座います、お差支へなくばお交り下さい(宮城縣本吉郡御岳村　千葉かつみ)
○滿天下の諸姉様、お障り御座いませんか、私も此の暑い日、田に出て働いて居ります、香川の十河様毎度御手紙ありがたう、誌上にて厚く御禮申上げます(三重縣阿山郡山田村　西口要左)
○猪苗代の山茶花様、先日のわらび狩りのスタイル尤物と云ふ所ね、姉さんかぶりの初々しさに美しきみ聲で「鳥も通はぬ……」と追分節のお上手さ……都の葉舟様にお目にかけたらさぞ古郷なつかしの思ひに涙をこぼさるゝ事でせう、あゝ懐かしの葉舟様よ(猪苗代町　荒川たま子)
○お慕はしき門脇かれ子様、昨今はどちらにいらつしやいますか、過日築谷さんにお目に掛りまして伺ひましたら、御歸郷遊ばしてゐらつしやるとの事で、波村の方へお便り致しましたのに何のお返しもなく、お案じしてゐました松崎先生左記の處に嫁ぎました、どうぞ御安心下さい(鳥取縣米子紺屋町　船越しげ子)
△おめでたうございます、どうぞ幾久しくお榮えをいのります(記者)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○私は山口縣の一寒村に自然を友とする處女でございます、誌上の皆々様何卒御導き下さい、中森霧様同郡隣村でおなつかしうございます、（山口縣阿武郡　原田よし子）

○記者様はじめ誌友の皆様この暑さにお障りもあらせられませんか、熊本の島井正人氏の御上達には誠に驚かざるを得ません、九州の誌兄姉様益々お交ひ下さい、かく申す私は怠り勝ちになりました、けれど一處女の友の前途を祈りつゝ（福岡縣浮羽郡水分村小田　行徳奈緒香）

○山形縣奥山米子様神奈川縣の井上米子様御同名にてみなつかしう御座います、遠い磐梯山の麓よりはろかに御遊び申して居ります、何卒御導の程を同縣の野口文子様、三執季子様、度々みやさしき御手紙有り難う御座います（福島縣猪苗代　大竹米子）

○北海道の藤本春子様、御なつかしう御座います、私も貴女と同じ様な身の上ですお互に慰め合ませう、（兵庫縣多可郡杉原谷村字三谷　藤本春惠）

○宮城縣のみな様、少し位ふろつては如何。なつかしい處女の友を手にする度に嘆いて居ります。六月號なんかちつともれ――！お願ひです。ふるつて下さいませ。福島縣の田村の花様おしたひ申して居りますおさしつかへなくば御住所を（宮城縣栗原郡鶯澤村　小野寺フジエ）

○門脇かれ子様

ただ川をへだてゝ遠し雲の峰

私くしは貴女と吉野川へだてゝ住む病弱の一青年で御座います私くしの町にも小さい製糸場があります。

鳥取靜香様

藝術に生る處女や夏茂り

强く生るには宗敎の信仰が良いと思ひます、藝術よりも吾藝術の信仰よりも、私くしも同境遇にある者です（奈良縣　小咲）

○茂り合ふみどりの木蔭なつかしいシーズンとなりました、靜岡縣の風間富士子様、此の頃ちつともお見えにたりませんが如何なさいましたか、どうぞ前の様にお交ひ下さいませ（富士山　燕野の花）

○おぼろげな月淋しく空にかゝりそゞろに物うき夜！なつかしき君よりの音づれ「取る手も遅しと開き見れば、いつに變らぬみ心は身にしみて心ゆくまであかず眺め入りました、あゝ水仙の花様、あの雲ゆく方が戀しいわ若います室が――誌友の皆様お交ひ遊ばせ（鳥取縣　伊藤清香）

○四月號や五月號にては御親切に不束な子を御呼び下さいました宮城の保理妙子様、同縣の中村抱香様私こそ何卒御愛読の程を……かれ子様清香様、酒井様、赤鳥様、御言葉有難う永久にね（鳥取縣上大澤　門脇みつ子）

○岐阜の西野なか子様東都の八千代様信濃の伴在たつ子様、遠い信濃の地より御なつかしい御名を御呼びいたして居ります、無學な私ですが御交際を願ひます青葉の下で汗をしぼる時が又おとづれてまゐりましたのね（福島縣河沼郡勝常村中ノ目　高畑せき子）

○福島縣の遊原よし子様、埼玉縣の仲よし子様、岐阜縣の丹羽芳子様、北海道の武井よし子様同名で御懐かしう御座います今後誌上にてよろしく御指導下さいませ（埼玉縣の都築芳子）

○福島縣の鈴木千代子さん、東京府の西海千代子さん、同名で御なつかしう御座います此の後も丈夫で勉强しませう（埼玉縣秩父郡金澤村　田中千代子）

○日々暑さきびしくなつて參りました、鳥取縣の渡邊愛子様、中村小夜子様、鳥取の白菊様、以前誌上で御言葉下さいまして有難う存じます、私こそ何卒よろしくれ（鳥取縣渡村　染谷あや子）

○綠の布を敷きつめた様に草の中でデソシートな模樣を彩なしてる月見草、つゝましやかにいつも私の讃美をまつて下さいます、お、待宵草よ……利根邊を彷徨ふ時私の疲れは去つて皆様のみの上にと……思いば高本紫子様どうぞネみ言葉有が從うネ、女子寮様にもいつか中川様にも此後のみ便り待ちます（群馬縣佐波郡剛志　楠本登久子）

○もう夏の氣分がみなぎつてゐますれ、瑞穗様さくら草様、しほれ草様、みつゑ様、彩光様、其後如何さつぱりお見えになりませんれ、田村てい子様おふるい遊ばせ（福島縣田村の花）

○淡き曙光の美は刻々にうすれ行き、街燈の人のハートの如くやけつくごとき眞晝に向ふ十時頃で御座います、なつかしいちか子様のみ姿を胸にゑがきつゝ、綠の茶園に茶摘みで御座いますか、好きな讃美歌を口ずさみつゝ（夕美歌）

○砂場鋪野様御別れ申しましてより一向御無沙汰ばかりして居ります、四月號の誌上で御地の命のめざましき進歩に感密いたしましたどうぞ誌上にて御様子御知せ下さい（可児郡御嵩町　鈴木千代）

○埼玉縣の高岸文子様、御言葉有難う御座います、貴女様の優れし御文才かげながらお慕ひ申して居りますの、どうぞ誌上でおん交り下さいませ、私のお慕いする田村の花様。苺の花様猪苗代のササン花様。しづ〳〵。御導き下さい（福島縣耶

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

麻郡翁島村　野口文子）

○鳥取といふ活字のふえてゆくのが目にみえて……嬉しうございます、雅な雛つきの白百合様白露様ます〲御自重してお振ひ遊ばしませ一九二二、六、七日鳥の聲と小川の響きとに耳を傾けつゝ記す（鳥取縣日野郡石見村　中村君代）

○東京の菜舟様いつも〲御盲楽有難う御座います、重い病者の枕邊に日を送る吾子様、此の田舍にてお祈りして居ります、月々の中央部の發展陰ながらお喜びして居ります、（ふくしまの　さゝん花）

○島根縣の安部つぎ子様大原の吉田はる子様、わたしも今年の一月から本誌の愛讀者となりました、どうぞよろしく、誌上で詳しく住所をおしらせ下さい（島根縣飯石の鍋山にて　藤原朝枝）

○南波榮美子様御言葉有がたう、貴女も同縣ですつてね、誌上で同縣の方を見うけるとうれしくてなりません、どうか末長くお交りを、伊藤須香様其後御無沙汰を致しました、お許し下さい、貴女のお作の和歌俳句いつも大へんお上手に出きて居るのでおうらやましう御座います、どうかお教へ下さい（兵庫縣　黒田幸子）

誌上の響き

○地方通信の各地處女會の盛んなのを讀みまして、ほんとうにお羨やましう御座います、私共の村の處女會は、生れまして三年にもなりましたが、會長様を失ひ、母たる校長様は轉任されました、不幸な會ですから、遅ればせにでも人並になり度いと心ある者ばかりあせつて居ます、（京都府竹野郡徳光村　給田はな子）

○六月號手にした時どんなに嬉しかつた事でせう、私は今學生の身でございますから處女會には入會致して居りませんけれど、汚れのない、淨い處女でございます、數多い雜誌の中で、眞面目で有益な御誌を友とする私はどんなに幸多い事でせう、（紅桜）

○私事初旅で、つらき事ばかり、故郷思はぬ日は一日もないのですが、處女の友にありし歌を思ひ出し、氣を取りなほして居ります、

雨にたへ嵐にたへし後にこそ
松の位も高く見えけれ

ほんとうに私にとつては無二の教訓です（山口縣　岩本貴美子）

○六月號乘杉嘉壽先生の力説はいかに心臟を動かした事でせう、吾等と感情に流れた社會和厳して行く農村の前途を考へますと實に情ないではありませんか（岐阜縣　一靑年）

○六月號の「お嫁れのお室」欄のクィーム様の御意見——私はあんまり共鳴は出來ません、未知の人間志の交際が必らずしも惡いこととは云はれません交際は智識の交換ともいゝます草深い田舍に居て毎日〲仕事にのみ追はれて居る乙女が何によつて現代的の新らしい智識が得られませうか異國の情緒を知り合ふ許りでもどんなに有益だか知れません失禮ですが私はお説には反對いたします（群馬縣　幽谷の花）

○貴話女の操は同じ地に住む身には一しほ感深う拜見いたしました共當時私は未だ幼なくて悉しい事は存じませんでした兄や姉等に手を引かれてあの川邊に立つた事は思ひ出します段々長ずると共に少しづゝ御話しも聞きましたあの駒澤なる人は兩三前哀れにも死去しましたお時さんは愈々壯健で三人の子供の發育に熱心に今も尙相不變働き續けてゐます、一心に（福岡縣　一處女）

○記者様私のやうな者まで、役割さして、下すつて、誠に有難う御座いました。讀んで、見て、一人で、恥かしくなりました。記者様時節柄御身大切になさる樣蔭ながら、御祈り申上げます（福島縣伊達郡五條村　香野八重子）

○御誌友文壇歌壇の號一號と發展のすばらしい事……各地處女會の日に月に向上なさる御奮鬪ぶり、見るだに私共處女達の胸を高なり致します、益々努力致しませう、愛する處女會の爲に同村の皆々様お奮ひの程……（在岡山縣小田郡吉田村　萩澄の花）

○私は農村に住む一處女で御座いますが處女の友を手にするのを何よりの樂みとして持つて居ります、地方の處女會の模様や、和歌、俳句などが數多く御載せ下さいますので、喜んで讀んで居ります、私はかげながら御誌の御盛運をお祈り致します、（福島縣伊達郡立子山村　阿部富士子）

○幾千代かけて忘れることの出來ぬ天野先生の御逝去なされて、幾月も經ぬに又、突然五月二十九日午前九時田所理事の御逝去との悲報に接しまつたく驚いてしまひました、しばらくの間は失望と落膽とで頭が變になつてしまひました（埼玉縣北埼玉郡騎西町　岡田保市）

○毎月おもらし下さいます季節の料理は農村の處女にどんなにためになるでせうカツポウ講座録にはくはしくありますが、どれも〲あまり元がかゝりひまもつひやすようになり（どうぞ）もよういで御座いませんので農村むきでない様に思はれますどうぞ農村むきの手輕なお料理をたくさん教へていたゞきたうございます（福島縣　梅津みや子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○編輯だより

▽お暑い事ですれ、一言ふまいと思へど今日の暑さ哉」人の顔さへ見れば暑い暑いとこぼしながら、愛する處女の友の編輯には暑さも忘れて努力して居ます。

△東京府下すゞらんといふ方は熱心な本誌愛讀者ですが今度御自分の處女の友代金一ヶ年分を半年分にして殘りの半年分は福島縣翁島の處女會に送る分として、週覽雜誌のため部数が少くて困つて居る人のために便利を計らうとして下さいました。又四月五月六月と處女の友があるゆゑ、之を愛讀者で、餘儀ない事情のために買つて居られぬ人にあげ度いと申されました。編輯部でもすゞらん様の篤志に感心して居ます。

△本誌七月號本會理事田所梯猶氏の永眠といふ記事の弔詞の處に友人總代とありますのは堀尾金八郎氏の事です。お名前を書き落しましたのでこゝに補記いたします。

考へ物解答

六月號考へ物は「あさ露にぬれしかほべのほたる草」といふので、朝顔といふのが正解でした。例の通り抽籤の結果左の方々が當選しました。

長野縣 吉澤靜、茨城縣 根本かう、長野縣 桂加納かれよ、千葉縣 川口たか子、茨城縣 加納まさよ、栃木縣 恩田新平、秋田縣 高橋サダ、宮城縣 千葉かつみ、岐阜縣 成田きやう子、熊本縣 赤城さかえ、新潟縣 火淵秋堂、新潟縣、小島みつ子、兵庫縣 黒田幸子、和歌山縣 四御田中タネ、奈良縣 神田八重子、奈良縣 四御幸、岡山縣 森田作子、三重縣 荒木多滿子、岩手縣 畠山セツ、山口縣 岩崎タケ子、京都府 片山カフ子、山口縣 小原糸代子、神奈川縣 鈴木アイ子、靜岡縣 湖川俊子、愛媛縣 大西とよ子、廣島縣 小川君子 大阪府 前田喜久子、島根縣 岡本勝子、東京府 松井せい 香川縣 眞島榮子、岐阜縣 西尾里志子、高知縣 黒石絹喜、埼玉縣 田中千代、埼玉縣 沼恵子、山梨縣 木塚春子、靜岡縣 室伏靜子、北海道 村住貞子、愛知縣 松井文子、岡山縣 妹尾貞、福島縣 阿久津千代子、福島縣 四村キタ子、福島縣 須田歌子、群馬縣 新井美津

考へ物新題

「秋の野に咲きたる花をおよびをりかきかぞふれば○草の花」

右の○印に漢字を入れて下さい。

締切八月廿日限り、東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所宛。

毎月一回一日發行

定價表

冊数	定價	郵税
一冊	貳拾錢	一錢
六冊	壹圓二十五錢	郵税とも
十二冊	貳圓三十錢	同

註文規定

○註文はすべて前金のこと
○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○郵券代用は必らず一割増のこと
○前金切の時は帯封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十一年七月廿七日印刷
大正十一年八月一日發行

編輯人兼發行人兼印刷人 東京市本郷區元町二ノ六六 松崎ひろの

印刷所 東京市神田區小川町三十六 成巧社印刷所

假事務所 東京市本郷區元町二ノ六六 處女會中央部

發行所 東京市本郷區元町二ノ六六 處女の友發行所 振替東京六一九〇番 電話小石川五八〇八番

大地賣捌方 東京堂、北隆館

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

第十二回倉持主催

講習會員大募集◎地方會員のため寄宿舍の設備あり

會長 棚橋絢子先生

婦人技藝教授法夏期講習會

會則御入用の方は御申込次第進呈
教授細目書は近日印刷の上進呈す

婦人技藝講習會を通じての唯一最高の定評ある倉持主催の婦人技藝教授法夏期講習會は、技藝材料問屋として本店が技藝の普及發達に盡さんとする微意表現の一なり例年會期發表と共に熱望者の殺到的申込は旬日ならざるに定員を越ゆ、本店たるものの何を以て此の感激の眞意を表すべきか唯世の激賞推稱に對してそむかざるのみ、本年度第十二回に當り時勢の潮流にふさわしき最新の女子技藝の大家たる金澤靜子女史を加へ造花に水引結びに數科目を増す

現代の婦人技藝の大家一堂に集まるの感あり、乞ふ内容の一讀を而して一日も早く申込まれ今夏の休暇を有効に利用し技藝の發達に盡力せられん事を

□開會期間 大正十一年七月廿七日より八月十日まで滿十五日間（一日九時間）

□會場 東京本郷區眞砂町卅五番地錦秋高等女學校

□會費 一名金五圓但本科十科目を全修するも十科目中の一科目を撰定するも金五圓とす

□申込規定 申込書に金壹圓を添へ申込む事但申込金壹圓は會費五圓に換算するものなり

教授科目と講師

中村式袋物十二種、	中村興湖先生
村井式袋物十三種、	村井秋翠先生
日本刺繍十二種、	白井竹堂先生
摘み細工八種、	佐田豐山先生
造花十五種、	加藤良策先生
タッチング編物 フランス刺繍 リボン刺繍 數種	金澤靜子先生
水引結方	野口孝國先生
履物三種	倉持桃枝先生

會長	棚橋絢子先生
顧問	鳩山春子先生
同	嘉悦孝子先生
同	宮田修先生
同	菟道春千代先生
教授監督	高宮金治先生
會醫	松田孟吉先生
會主	倉持精市

申込所

東京市本郷區弓町十七番地
婦人技藝材料問屋 倉持精市本店
振替東京一七二一一番
電話小石川二四二五番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

習字初學のちかみち

第三回新學期

總裁　小野鵞堂

顧問　大家數名
會長　神郡晩秋

かな專習講義録

六ヶ月卒業

内容　鵞堂流かな專習漢字崩方
　　　楷書手ほどき口語文宣傳

見本　申込次第進呈

東京四谷左門町十　大日本かな專習會

內務省囑託　天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢
送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町
丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

賜天覧台覧

天野藤男著　內務文部兩大臣其他序

指導經營研究實績　青年團處女會

定價二圓五十錢
送料十二錢

◎好評六版◎

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目
振替東京三三三〇〇番
丙辰出版社

婦人生活改善整容會推薦の
さかゑ姉妹品

御存じですか

新時代の產物

活動的御婦人に

文部省囑托久留島武彦先生指導
美粧倶樂部山本久榮女史考案

のさかゑ髷に用ふる

さかゑバンド

ピンが入らない
決して髷が解けない
體裁がよくて
使用が簡便

婦人用

さかゑ頭髮ブラシ

—消毒や掃除が充分に行届いて出來ます
—木櫛と違い髮ざわりよく毛髮の發育を助けます
—髮を美しくなめらかにフケと埃をよく取ります

帝國政府處定の
原毛消毒濟同業
組合の品質檢査
に合格濟

さかゑ櫛

—何んな消毒や掃除も思ふ樣に出來ます
—丈夫で取扱に心配なく破損の憂がありません
—豐富な材料を以て機械で造るから安く出來ます

今スグお求め遊ばせ

マーガレット商店

東京市赤阪區田町一丁目　電芝五八四五番
大阪市東區内淡路町壹丁目　電本三五七九番

衣服改良 裁縫講習錄

子供洋服 婦人男子洋服 佛蘭西編物 實物の型紙により

家庭獨習生徒募集（入學の好時機）

これからの時代には洋服が家庭で出來るやうにならねばなりません。本會では和服よりも洋服の裁縫を家庭に座ながら、だれにでも自由に出來るやうに專門知名の顧問講師が講習錄によりて親切に講義されております。既に內地全國は申す迄もなく朝鮮、臺灣、滿洲、支那、米國等にも多數の會員がありますが中でも參萬七千人の本會の獨習生は既に專門家を凌ぐ程の技術を得られ、多數の禮狀を寄せられ非常のお悅びです。これがため各地の新聞雜誌は筆を揃へて本會獨特の教授法を賞讃し、每日の入會申込者は多數なので中には主婦や教師は勿論、洋服裁縫の專門家もあります。就きましては本會講習錄が斯くまで社會改善上皆樣に有益であるとの世評に奮激しまして、この機會に御入會の方には、實物型紙壹萬組を限り無代で差上げることに致しました僅か六ヶ月間に御家庭で樂々と、急所や奥の手を御會得することが出來ますし、わからぬところは手紙で御質問にお答へしますから此際すぐに本會の入學規則書內容見本を御請求なされ御入會の上實益を得られんことを希望します。（見本規則書はハガキにて住所姓名をハッキリ書いてお申込になれば無代進呈します）

顧問

東京女子高等師範學校教授 文部省教科書調査會委員 北澤種一
和洋裁縫女學校々長 堀越千代子
山脇高等女學校々長 山脇房子
東京府立第一高等女學校長 市川源三
成女高等女學校長 宮田修
東京女子高等師範學校教授 神田順子
東京府立第三高等女學校長 小林盈
東京府立第五中學校長 伊藤長七

東京小石川區大塚仲町卅六 大日本衣服改良研究會 電話小石川二九九九 振替東京五七一〇九〇

高等裁縫通信學校

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

新學期九月五日より

奥田裁縫女學校 生徒募集

研究科 定員五十名 期間四ヶ月

規則書入用の方は二錢切手封入申込の事

東京市小石川區大塚町 電話小石川四九六三

奥田艶子著

新しき裁縫 前編

五版出來

菊版、表裝優美、二百頁餘
定價一圓八拾錢 送料拾三錢(書留)

新しい時代には新しい準備が入ります今までの婦人は形式な裁縫の爲めどれだけ莫大な時間と勞力とを空費したか知れません、奥田式裁縫の發現は吾々婦人にとつて大きな福音であらねばならぬ。本書は新しい裁縫の仕方について奥田艶子先生が懇切明瞭に説明されたもので、内容は改めて贅するまでもなく度々新聞雜誌にも紹介せられて既に定評がある筈です、三月上旬初版發行以來申込者多數にて忽ちの中に四版を賣盡し一般の御希望に添ふ事が出來ませんでしたが玆に五版を發行して廣く皆樣にお薦めする事となりました。

發行所

東京市小石川區大塚町
奥田裁縫女學校出版部
電話小石川四九六三
振替貯金口座東京五六二九六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

月刊雜誌 帝國青年

（定價）一部二十錢送料一錢▲半年分前金送料共一圓二十錢▲一年分同二圓三十錢

◎青年團員必讀の模範雜誌◎
◎青年團員指導者の研究舞臺◎

▲修養——青年の發奮を促し修養に資すべき文字
▲研究——青年團の新しき研究と發展進歩の方法
▲智識——農商工各方面の新智識新時代常識解説
▲娯樂——趣味豊富の講談立志談小說と滑稽文藝
▲消息——全國各地青年團の消息通信と寫眞版

謹告

青年團中央部（帝國青年發所行）は財團法人日本青年館成立と共に其目的事業を同じうするを以て同館と合同する事となり青年館は中央部の事業一切を繼承したり

最新 陸上競技

規則解説及び練習の方法

定價七十五錢——送料四錢

◀內容概目▶

◎トラックフキルド▼競走及跳躍投擲總則▲競爭規則▲ハードル▲リレーレース▲競爭練習法（長距離短距離ハードル）▲跳躍規則▲高跳▲幅跳▲跳躍練習法（基本練習走幅跳走高跳棒高跳ホップステップジャンプ）▲投擲規則▲砲丸投▲圓盤投▲ハンマー投▲槍投▲投擲練習法▲混合競技規則▲五種競技▲十種競技▲五種十種練習法▲計測規則▲同成績の場合▲競技種類◎附競泳規則◎野球規則◎庭球規則▲練習法◎蹴球規則——以上各規則に一々詳細なる解説を附し練習法と準備法とを懇切にしたるが本書の特色

青年訓話 軍神乃木

大久保四州著 定價五拾錢 送料四錢

乃木將軍の高潔なる心事……
それはたしかに讀む者の襟を正さしめる

乃木將軍の血あり涙ある行ひ……
それはたしかに讀む者を發奮させる

最新刊 自治的青年團 幹部の要領

◎田子一民校閲
◎廣畑庄太郎著

定價五拾錢——送料四錢——

著者の長い間の實驗から生れた書物で青年團の幹部としての心得を親切に簡潔に實際的に而も周到に組織的に叙述してある處女會幹部の好參考書である

財團法人日本青年館

東京青山明治神宮外苑內
振替口座東京六〇七七八

暑中御見舞

大正十一年八月

處女會中央部理事（イロハ順）

甫守ふみ子　大江すみ子　嘉悅孝子
吉岡彌生　田子一民　乘杉嘉壽
山脇房子　增子懷永　福島四郎
高野重三　國府種德　跡見李子
宮田修　三輪田元道　下村壽一

家庭學校副校長
小鹽高恒先生著

家庭の覺醒

社會の改善も、町村の改良も、要は其根基たる家庭の改良より始めざるべからず。著者は家庭學校副校長として不良兒童の教育に其生涯を獻げつゝある篤志家なり。多年の經驗より不良兒の生ずる原因は主として家庭に在ることを知り、家庭の覺醒の急務することを痛感し、茲に本書を成せり。世の子女を有する人は勿論、苟も家庭に留意する人には是非本書を一讀あれ。

價六拾錢
送料四錢

山崎延吉先生著
(文部省通俗圖書認定)

增補九版

戰後準備叢書第貳編 婦人の覺醒

附表 女房の善惡鏡(圖表)

內容一般

▲女の一心▲公私二諦(公方面。私方面)▲婦人の三役(家政。育兒。趣味)▲婦人の四德(婦容。婦言。婦德、婦行)▲婦人の五惡(附宗教の必要)▲女の六大事(自覺。修業(學)就職。結婚。母務。姑勤)▲婦女に對する七大要求(研究。常識の涵養。能率の增進。體育。趣味○養成。社交。經濟的なる事)

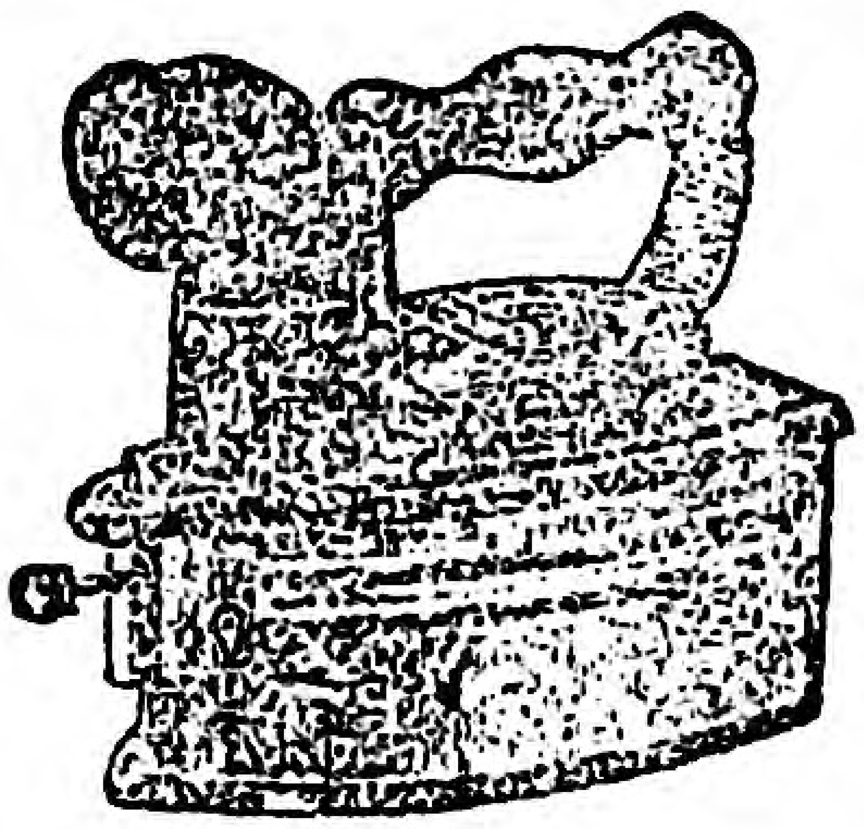
價三十錢
送料二錢

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

新案
特許

家庭ニナクテナラヌ寶火のし



一全部ニツケル鍍金なれば錆の出る虞れなく體裁優美にして堅牢精確なり。

一火の起り最も能く火力調節自在にして灰の飛ぶ憂ひなし

一蓋は蝶番にして蓋止は新案の自動的なれば火傷する恐れ更らになし。

一總量重くして底は船形なれば布帛の滑り能く完全に皺伸しが出來ます。

定價金四圓五十錢　送料三十五錢

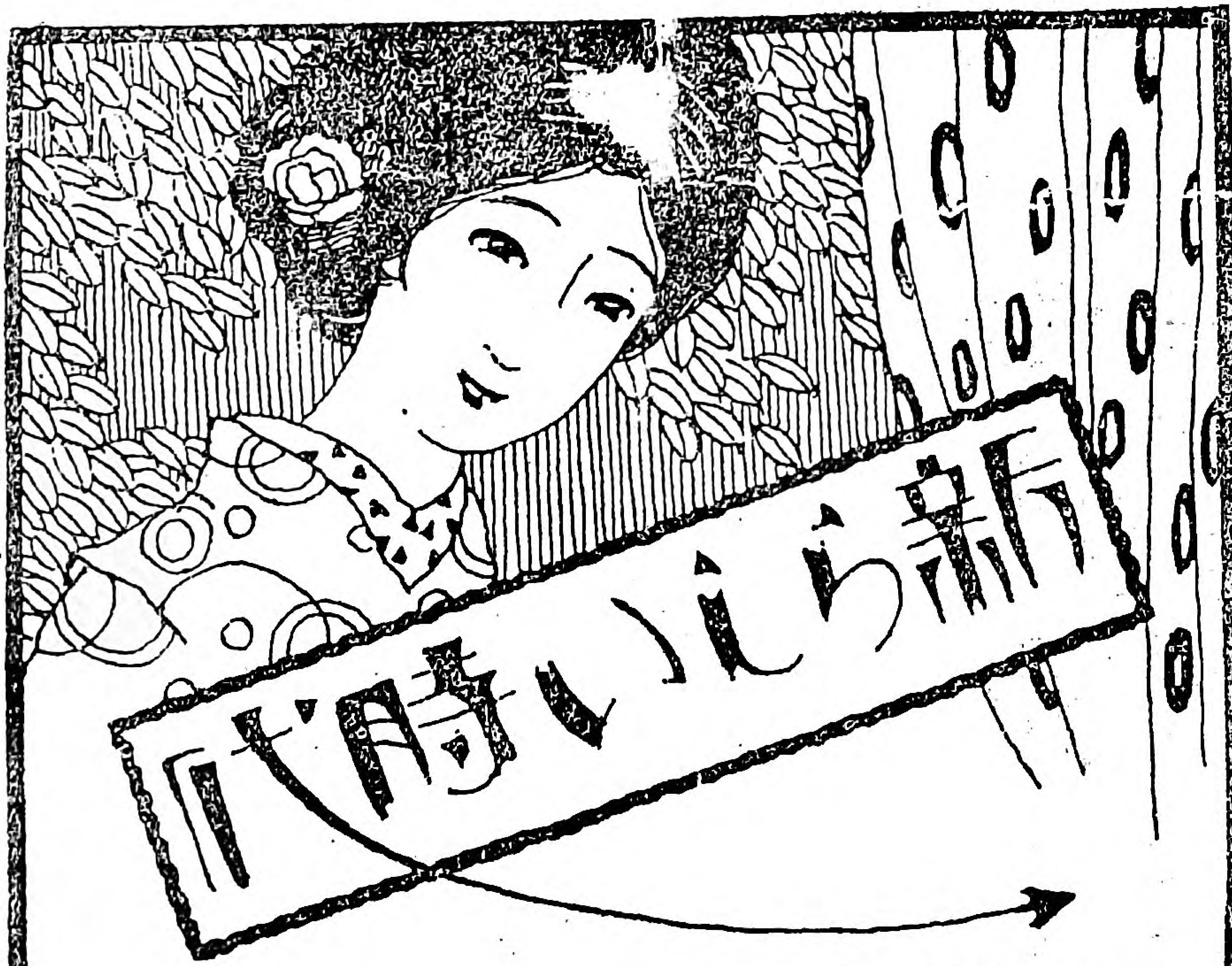
發賣元

東京市日本橋區人形町通り

島津金七商店

電話濱町七七六番　振替東京一〇九一一五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



に遁れない丈の修養は是非必要であります。高等女學校に行けない方々の爲に拵へたのがこの

新制 高等女學校講義録

（十五ケ月で卒業出來る）

であります。内容見本規則等はお申越し次第無代でお送りします。

會長 貴族院議員子爵 菊花高等女學校長 清岡長言
顧問 實践女學校長 下田歌子
顧問 女子醫學專門學校長 東京至誠病院長 吉岡彌生
學監 日本女子商業學校長 嘉悦孝子
講師 專門の大家先生 三十八名執筆
月謝 壹圓貳拾錢 毎月二回發行

東京市麹町區土手三番町廿壹番地
日本女子商業學校内

大日本婦女教育會

電話番町四三四八番 振替東京五三八六四番

◎處女と主婦の寶典◎

最新刊

山脇高等女學校長 山脇房子
日本女子商業學校長 嘉悅孝子
東京女醫專門學校長 吉岡彌生
共著

處女より主婦となる迄

日本文化の向上と否とは處女と主婦自身の問題にあり

目次概要

第一 修養篇——第一章人の一生は修養の一歩、第二章理想としたい富士の神山(以下十章まで細目六十三節)
第二 日常生活篇——第一章家庭生活の改善、第二章世帶の持ち始めと共に盛(以下十章まで細目七十六節)
第三 衛生篇——第一章家庭に於ける一般ノ衛生、第二章處女期の衛生(以下十章まで細目七十九節)

三六判 天金假美本
定價 金貳圓卅錢
送料 十二錢

眞に處女と主婦とをして國民の母たる美德と實質とを得させようとするには、何よりも先づ處女と主婦とに適合した最良の讀物を與へなければならぬ。本書は此の原則的要約によつて、現今女子教育界の泰斗たる三女史が、若き婦人のために精神の修養、生活の改善及衛生の三方面に亘り、平素の薀蓄を披瀝せられたもので、處女たり主婦たり將又一般女子たるもの〻最良絶好の讀物たるは言ふまでもない。取材適切、文章平易、加ふるに一々婦性の深祕に觸れ、親切叮嚀に有らゆる事項を解說詳叙す。此一本を熟讀玩味せば、眞に最善の處女たり優良の主婦たることが出來る。敢て世の處女主婦諸氏及び其が教養指導の任にある諸彥に推薦す。

發兌元 東京市本郷區動坂町一三七番地 振替貯金東京一四二四三番 日比書院

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十一年七月二十七日印刷納本
大正十一年八月一日發行(毎月一回一日發行)
一部定價 金二十錢
東京市本郷區元町二ノ六六
處女會中央部
處女之友發行所